

H20-④-6

柱状図(0.00m~30.00m)

H20-④-6

孔 口 標 高	T. P.	33.16m	掘 削 長	35.00m
---------	-------	--------	-------	--------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R (%)	Q (%)	D (%)	コ ア 採 取 率 (%)			記 事
												最 大 コ ア 長 (cm)	R	Q	
	32.64	0.52	①	砂	褐	④	100								0.00~0.52m
	32.12	1.04		砂混じりシルト	にぶい黄橙		100	3	0						・細粒砂である。 ・植物根を含む。
	30.90	2.28		砂	浅黄		100								52~1.04m
	30.48	2.70		砂混じりシルト	黄橙		100	8	0						・砂混じりシルトである。 0.04~2.26m
	28.00	5.16	②	花崗斑岩	淡赤橙	CL'	100	6	0						・砂礫である。 ・径2~12cm程度の花崗岩類の礫と粗粒砂の基質からなる。
					黄橙		100	7	0						2.26~2.70m
					にぶい黄橙		100	9	0						・シルト混じり砂である。
					黄橙		100	7	0						2.70~5.16m
					にぶい黄橙		100	4	0						・花崗斑岩である。
					黄橙		100	5	0						● 3.76~4.09m (f-④-6-1破砕帯)
					黄橙		100	1	0						・破砕部である。
					黄橙	D'	100	5	0						・橙色の固結礫状部からなる。
					黄橙		100	5	0						・走向・傾斜はN60° W78° Sである。
					黄橙		100	5	0						・フィルム状の粘土を挟在する。
					黄橙	CL'	100	5	0						・上端境界の傾斜は76°、下端境界の傾斜は72°である。
					黄橙		100	3	0						5.09m
					黄橙		100	5	0						・幅6mmの石英脈を挟む。
					黄橙	D'	100	5	0						5.16~35.00m
					黄橙		100	12	12						・アフライトが主体である。
					黄橙	CL'	100	3	0						・花崗斑岩との境界は漸移的である。
					黄橙		100	3	0						● 7.94~9.00m (f-④-6-2破砕帯)
					黄橙		100	3	0						・破砕部である。
					黄橙	D'	100	5	0						・赤褐色の固結礫状部からなる。
					黄橙		100	5	0						・走向・傾斜はN71° W79° Sである。
					黄橙		100	5	0						・フィルム状の粘土を挟在する。
					黄橙		100	5	0						・上端境界の傾斜は75°、下端境界の傾斜は75°である。
					黄橙		100	8	0						10.65~11.10m
					黄橙		100	5	0						・変質している。
					黄橙		100	5	0						・礫状~灰白色粘土が網目状に分布する。
					黄橙		100	5	0						4.73~14.94m
					黄橙		100	3	0						・変質している。
					黄橙		100	7	0						・マンガンと灰白色粘土が網目状に分布する
					黄橙		100	6	0						● 14.94~14.98m (f-④-6-3破砕帯)
					黄橙		100	6	0						・破砕部である。
					黄橙		100	4	0						・左ずれ正断層センスである。
					黄橙		100	7	0						・主に淡橙色の固結粘土状部からなる。
					黄橙		100	7	0						・淡桃色の未固結粘土状部：累計幅0.3cm
					黄橙		100	7	0						・走向・傾斜はN55° E69° Sである。
					黄橙		100	6	0						・上端境界の傾斜は48°である。
					黄橙		100	6	0						14.98~15.27m
					黄橙		100	4	0						・変質している。
					黄橙		100	11	11						・灰白色粘土とマンガンが網目状に分布する
					黄橙		100	7	0						16.90~18.00m
					黄橙		100	7	0						・変質している。
					黄橙		100	7	0						・黄白色シルト状を呈する。
					黄橙		100	7	0						18.00~18.43m、26.50~27.91m
					黄橙		100	7	0						・花崗斑岩である。
					黄橙		100	7	0						18.51~18.53m
					黄橙		100	7	0						・変質している。
					黄橙		100	7	0						・灰黄色礫混じり粘土状を呈する。
					黄橙		100	7	0						22.10~22.13m
					黄橙		100	7	0						・変質している。
					黄橙		100	7	0						・土砂状を呈する。
					黄橙		100	7	0						23.38~23.59m
					黄橙		100	7	0						・変質している。
					黄橙		100	7	0						・灰白色粘土が網目状に分布する。
					黄橙		100	7	0						24.26~24.40m
					黄橙		100	7	0						・変質している。
					黄橙		100	7	0						・灰白色粘土が網目状に分布する。
					黄橙		100	7	0						25.20~25.50m
					黄橙		100	7	0						・流理がみられる。
					黄橙		100	7	0						● 25.70~25.80m (f-④-6-4破砕帯)
					黄橙		100	7	0						・破砕部である。
					黄橙		100	7	0						・淡橙色の固結礫状部からなる。
					黄橙		100	7	0						・走向・傾斜はN18° E77° Wである。
					黄橙		100	7	0						・フィルム状の粘土を挟在する。
					黄橙		100	7	0						・上端境界の傾斜は78°である。
					黄橙		100	7	0						27.50~27.91m
					黄橙		100	7	0						・変質している。
					黄橙		100	7	0						・割れ目が密集している。

- 1-314(分類c)①
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-315~1-317(分類d)②
記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
- 1-318(分類c)③
表現を統一したため。
- 1-319(分類b)④
報告書の記載漏れを修正したため。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

H20-④-6

柱状図(0.00m~30.00m)

H20-④-6

孔 口 標 高	T. P.	33.16m	掘 削 長	35.00m
---------	-------	--------	-------	--------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)		記 事
										最 大 コ ア 長 (cm)	最 大 コ ア 長 (cm)	
	32.64	0.52		砂	褐		100					0.00~0.52m ・細粒砂である。 ・植物根を含む。 0.52~1.04m ・砂混じりシルトである。 1.04~2.26m ・砂礫である。 ・径2~12cm程度の花崗岩類の礫と粗粒砂の基質からなる。 2.26~2.70m ・シルト混じり砂である。 2.70~5.16m ・花崗斑岩である。 ●3.76~4.09m(f-④-6-1破砕帯) ・破砕部である。 ・橙色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN60° W78° Sである。 ・フィルム状の粘土を挟在する。 ・上端境界の傾斜は76°、下端境界の傾斜は72°である。 5.09m ・幅6mmの石英脈を挟む。 5.16~35.00m ・アフライトが主体である。 ・花崗斑岩との境界は漸移的である。 ●7.94~9.00m(f-④-6-2破砕帯) ・破砕部である。 ・赤褐色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN71° W79° Sである。 ・フィルム状の粘土を挟在する。 ・上端境界の傾斜は75°、下端境界の傾斜は75°である。 10.65~11.10m ・変質している。 ・礫状~灰白色粘土が網目状に分布する。 14.73~14.94m ・変質している。 ・マンガンと灰白色粘土が網目状に分布する。 ●14.94~14.98m(f-④-6-3破砕帯) ・破砕部である。 ・左ずれ正断層センスである。 ・主に淡橙色の固結粘土状部からなる。 ・淡桃色の未固結粘土状部：累計幅0.3cm ・走向・傾斜はN55° E69° Sである。 ・上端境界の傾斜は48°である。 4.98~15.27m ・変質している。 ・灰白色粘土とマンガンが網目状に分布する 6.90~18.00m ・変質している。 ・黄白色シルト状を呈する。 18.00~18.43m、26.50~27.91m ・花崗斑岩である。 18.51~18.53m ・変質している。 ・灰黄色礫混じり粘土状を呈する。 22.10~22.13m ・変質している。 ・土砂状を呈する。 23.38~23.59m ・変質している。 ・灰白色粘土が網目状に分布する。 24.26~24.40m ・変質している。 ・灰白色粘土が網目状に分布する。 25.20~25.50m ・流理がみられる。 ●25.70~25.80m(f-④-6-4破砕帯) ・破砕部である。 ・淡橙色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN18° E77° Wである。 ・フィルム状の粘土を挟在する。 ・上端境界の傾斜は78°である。 27.50~27.91m ・変質している。 ・割れ目が密集している。
	32.12	1.04		砂混じりシルト	にぶい黄橙		100	3	0			
	30.90	2.26		砂礫	浅黄		100					
	30.48	2.70		シルト混じり砂	橙		100	8	0			
	28.00	5.16		花崗斑岩	淡赤橙	CL'	100	6	0			
					黄橙		100	7	0			
					にぶい橙		100	9	0			
					にぶい橙		100	7	0			
					淡橙		100	4	0			
					淡橙	D'	100	5	0			
				淡橙	CL'	100	1	0				
				淡橙		100	5	0				
				淡橙	CL'	100	5	0				
				黄橙		100	3	0				
				橙	D'	100	5	0				
				淡黄		100	3	0				
	15.16	18.00	花崗斑岩	淡橙	CL'	100	12	12				
	14.73	18.43		淡橙		100	3	0				
				淡橙	D'	100	5	0				
				淡橙		100	8	0				
				淡橙	CL'	100	5	0				
				灰白		100	5	0				
				灰白		100	3	0				
				灰白		100	7	0				
				灰白		100	6	0				
				灰白		100	4	0				
	6.66	26.50	花崗斑岩	淡橙		100	7	0				
	5.25	27.91	アフライト	浅黄	CL'	100	6	0				
				にぶい黄橙	CM'	100	4	0				
				にぶい黄橙	CL'	100	11	11				

1-317(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
1-319(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

H20-④-6

柱状図(30.00m~35.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)		記 事
										最大 コア 長 (cm)	R Q D [%]	
		-1.84 35.00	+	ア プ ラ イ ト	に ふ い 黄 橙	① CL'	100	8	0	●	①	31.87~32.12m ・変質している。 ・割れ目沿いに灰白色粘土が分布する。
		100					7	0				
		100					5	0				
		CM'					100	11	11			
		CL'					100	19	30			

1-319(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

H20-④-7

柱状図(0.00m~30.00m)

H20-④-7

孔 口 標 高	T. P.	43.46m	掘 削 長	45.00m
---------	-------	--------	-------	--------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)			記 事
										最 大 コ ア 長 (cm)	R	Q	
		①		シルト質砂	黄褐	③	100	4	0				0.00~2.00m ・シルト質砂である。
	41.46	2.00		花崗斑岩	黄橙	D'	100	5	0				2.00~3.47m ・花崗斑岩である。 ・土壌化が著しい。
	39.99	3.47		アプライト	淡橙	CL'	100	6	0				3.47~6.70m ・アプライトである。 ・花崗斑岩との境界は漸移的である。
	36.76	6.70		花崗斑岩	淡橙	CL'	100	8	0				6.70~7.47m ・花崗斑岩である。
	35.99	7.47		アプライト	淡橙	CL'	100	10	10				7.47~9.03m ・アプライトである。
	34.43	9.03		花崗斑岩	淡橙	CL'	100	13	13				8.85~8.95m ・レンズ状に花崗斑岩を挟む。
	33.40	10.06		淡赤橙	淡橙	CM'	100	7	0				9.03~10.06m ・花崗斑岩である。
				淡橙	淡橙	CL'	100	11	11				10.06~34.00m ・アプライトである。
				淡橙	淡橙	CL'	100	13	13				10.84~16.84m ・幅1~10mmの石英脈を多数挟む。
				淡橙	淡橙	CL'	100	12	12				
				淡橙	淡橙	CL'	100	9	0				
				淡橙	淡橙	CL'	100	21	33				
				淡橙	淡橙	CM'	100	13	23				
				淡橙	淡橙	CL'	100	9	0				
				明褐灰	明褐灰	D'	100	7	0				18.14~18.68m ・変質し、灰白色粘土が網目状に分布する。
				淡橙	淡橙	CL'	100	7	0				
				淡橙	淡橙	CM'	100	8	0				
				淡橙	淡橙	CL'	100	8	0				
				にぶい黄橙	にぶい黄橙	D'	100	15	15				22.75~23.53m (f-④-7-1破碎帯) ・破碎部である。 ・主ににぶい黄橙色の固結礫状部及び灰白色の固結粘土状部からなる。
				淡橙	淡橙	CL'	100	6	0				・暗褐色の未固結粘土状部：累計幅0.3cm ・走向・傾斜はN53° W80° Sである。
				淡赤橙	淡赤橙	CL'	100	10	10				・上端境界の傾斜は75°、下端境界の傾斜は58°である。
				にぶい橙	にぶい橙	CM'	100	22	55				
				淡橙	淡橙	CH'	100	14	27				
				淡橙	淡橙	CM'	100	13	36				
				淡橙	淡橙	CM'	100	15	25				

- 1-320(分類c)①
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-321(分類d)②
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)
- 1-322(分類b)③
報告書の記載漏れを修正したため。

H20-④-7

柱状図(0.00m~30.00m)

H20-④-7

孔 口 標 高	T. P.	43.46m	掘 削 長	45.00m
---------	-------	--------	-------	--------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)			記 事	
										最 大 コ ア 長 (cm)	R	Q		D
10	41.46	2.00	シルト質砂	黄褐			100	4	0	0	0	0	0.00~2.00m ・シルト質砂である。	
	39.99	3.47	花崗斑岩	黄橙	D'		100	5	0	0	0	0	2.00~3.47m ・花崗斑岩である。 ・土壌化が著しい。	
	36.76	6.70	アプライト	淡橙	CL'	100	6	0	0	0	0	0	3.47~6.70m ・アプライトである。 ・花崗斑岩との境界は漸移的である。	
						100	8	0	0	0	0	0		
	35.99	7.47	花崗斑岩				100	10	10	0	0	0	6.70~7.47m ・花崗斑岩である。	
	34.43	9.03	アプライト	淡橙	CL'	100	13	13	0	0	0	0	7.47~9.03m ・アプライトである。	
						100	7	0	0	0	0	0		
	20	33.40	10.06	花崗斑岩	淡赤橙	CM'		100	6	0	0	0	0	8.85~8.95m ・レンズ状に花崗斑岩を挟む。
		10.06~34.00m	アプライト	淡橙	CL'	100	11	11	0	0	0	0	0	9.03~10.06m ・花崗斑岩である。
						100	13	13	0	0	0	0		
10.84~16.84m		アプライト	淡橙	CL'	100	12	12	0	0	0	0	0	10.06~34.00m ・アプライトである。	
					100	9	0	0	0	0	0			
10.84~16.84m		アプライト	淡橙	CL'	100	21	33	0	0	0	0	0	10.84~16.84m ・幅1~10mmの石英脈を多数挟む。	
					100	13	23	0	0	0	0			
18.14~18.68m		アプライト	明褐灰	淡橙	CL'	100	9	0	0	0	0	0	0	18.14~18.68m ・変質し、灰白色粘土が網目状に分布する。
						100	7	0	0	0	0	0		
18.14~18.68m		アプライト	明褐灰	淡橙	CL'	100	8	0	0	0	0	0	0	0
	100					8	0	0	0	0	0			
22.75~23.53m	アプライト	にぶい黄橙	淡橙	CL'	100	15	15	0	0	0	0	0	●22.75~23.53m(f-④-7-1破碎帯) ・破碎部である。 ・主ににぶい黄橙色の固結礫状部及び灰白色の固結粘土状部からなる。	
					100	9	0	0	0	0	0			
22.75~23.53m	アプライト	にぶい黄橙	淡赤橙	CM'	100	6	0	0	0	0	0	0	・暗褐色の未固結粘土状部：累計幅0.3cm 走向・傾斜はN53° W80° Sである。	
					100	10	10	0	0	0	0			
22.75~23.53m	アプライト	にぶい橙	淡橙	CM'	100	22	55	0	0	0	0	0	・上端境界の傾斜は75°、下端境界の傾斜は88°である。	
					100	14	27	0	0	0	0			
22.75~23.53m	アプライト	にぶい橙	淡橙	CM'	100	13	36	0	0	0	0	0	①	
					100	15	25	0	0	0	0	0	①	

1-322(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記事	コア採取率		岩盤区分	岩盤分類	孔内水位(測定日)	(標準貫入試験) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ピット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)																
												(%)	最大コア長 (cm)				N 値 ~ 深度	N	(N)	(N)																												
30		9.46	34.00	ベグマタイト アブライト	淡緑	IVg	cg	γ	3	δ	cg	25.22~25.27m: 節理に沿ってマンガンが濃集する。 26.00m: シーム。傾斜69°。幅0.4cm程度。灰白色粘土からなる。 26.78~29.15m: コアは硬質で、ハンマーで金属音を発することが多い。	0	50	100	CM'	26.21 26.78 27.22									142	ダブルコアチューブ/ダイヤピット	20.0	100	0.0	泥水 ₂	2																
		8.83	34.63	ベグマタイト アブライト	赤褐	Vg						28.61~28.64m: 変質帯、上盤83°。下盤81°。幅0.4cm程度。節理密集部からなる。周辺の節理を切っていない。 29.15~37.53m: コアはやや硬質で、ハンマーでぶい金属音を発することが多い。	0	50	100																		CM'	30.85 30.85								120						
		9.46	34.00	ベグマタイト アブライト	淡緑	IVg	cg					32.83~32.93m: 節理に沿ってマンガンが濃集する。 32.93m: シーム。傾斜76°。幅0.3cm程度の灰白色粘土からなる。周辺は同系統の節理が発達している。 34.00~34.83m: ベグマタイト。径5~20mm程度の石英の斑晶が配列する。傾斜60~80°程度。 35.25~39.12m: 傾斜40°及び70°程度の節理がみられる。 35.57~35.92m: 変質を受け、一部淡青灰色を呈する。 36.07~39.30m: コアの表面が褐色化している。 36.29~36.37m: 径2~10mm程度の石英の斑晶が密集する。 37.53~45.00m: コアは硬質で、ハンマーで金属音を発することが多い。 38.13m: 流理がみられる。傾斜30°程度。 38.35~38.65m: 礫状にベグマタイトが分布する。径5~20mm程度の石英。長石からなる。 39.12~45.00m: 傾斜20°及び75°程度の節理がみられる。一部節理に沿って褐色化している。 39.49~39.56m: ベグマタイトの細脈を多数挟む。傾斜20°程度。 39.73~39.95m: ベグマタイト。径10~60mm程度の石英、長石からなる。傾斜20~50°程度。 40.73~40.85m: ベグマタイト。径5~20mm程度の石英、長石からなる。礫状に分布する。 41.19~45.00m: 花崗斑岩。径1~7mm程度の石英、長石、径3mm以下の黒雲母の斑晶を5~10%程度含む。 42.79~43.30m: 節理に沿ってマンガンが濃集する。 44.20~44.74m: 節理に沿ってマンガンが濃集し、斑点状に沈着する。	0	50	100																																	
3.73	39.73	ベグマタイト アブライト	明褐	IVg	cg	38.35~38.65m: 礫状にベグマタイトが分布する。径5~20mm程度の石英。長石からなる。 39.12~45.00m: 傾斜20°及び75°程度の節理がみられる。一部節理に沿って褐色化している。 39.49~39.56m: ベグマタイトの細脈を多数挟む。傾斜20°程度。 39.73~39.95m: ベグマタイト。径10~60mm程度の石英、長石からなる。傾斜20~50°程度。 40.73~40.85m: ベグマタイト。径5~20mm程度の石英、長石からなる。礫状に分布する。 41.19~45.00m: 花崗斑岩。径1~7mm程度の石英、長石、径3mm以下の黒雲母の斑晶を5~10%程度含む。 42.79~43.30m: 節理に沿ってマンガンが濃集する。 44.20~44.74m: 節理に沿ってマンガンが濃集し、斑点状に沈着する。	0	50	100	CM'	43.00 45.00									100																												
3.51	39.95	ベグマタイト アブライト	明褐	IVg	cg	38.35~38.65m: 礫状にベグマタイトが分布する。径5~20mm程度の石英。長石からなる。 39.12~45.00m: 傾斜20°及び75°程度の節理がみられる。一部節理に沿って褐色化している。 39.49~39.56m: ベグマタイトの細脈を多数挟む。傾斜20°程度。 39.73~39.95m: ベグマタイト。径10~60mm程度の石英、長石からなる。傾斜20~50°程度。 40.73~40.85m: ベグマタイト。径5~20mm程度の石英、長石からなる。礫状に分布する。 41.19~45.00m: 花崗斑岩。径1~7mm程度の石英、長石、径3mm以下の黒雲母の斑晶を5~10%程度含む。 42.79~43.30m: 節理に沿ってマンガンが濃集する。 44.20~44.74m: 節理に沿ってマンガンが濃集し、斑点状に沈着する。	0	50	100																						CM'	43.00 45.00									85							
2.73	40.73	ベグマタイト アブライト	淡緑	IVg	cg	38.35~38.65m: 礫状にベグマタイトが分布する。径5~20mm程度の石英。長石からなる。 39.12~45.00m: 傾斜20°及び75°程度の節理がみられる。一部節理に沿って褐色化している。 39.49~39.56m: ベグマタイトの細脈を多数挟む。傾斜20°程度。 39.73~39.95m: ベグマタイト。径10~60mm程度の石英、長石からなる。傾斜20~50°程度。 40.73~40.85m: ベグマタイト。径5~20mm程度の石英、長石からなる。礫状に分布する。 41.19~45.00m: 花崗斑岩。径1~7mm程度の石英、長石、径3mm以下の黒雲母の斑晶を5~10%程度含む。 42.79~43.30m: 節理に沿ってマンガンが濃集する。 44.20~44.74m: 節理に沿ってマンガンが濃集し、斑点状に沈着する。	0	50	100	CM'	43.00 45.00									50																												
2.61	40.85	ベグマタイト アブライト	灰黄褐	IVg	cg	38.35~38.65m: 礫状にベグマタイトが分布する。径5~20mm程度の石英。長石からなる。 39.12~45.00m: 傾斜20°及び75°程度の節理がみられる。一部節理に沿って褐色化している。 39.49~39.56m: ベグマタイトの細脈を多数挟む。傾斜20°程度。 39.73~39.95m: ベグマタイト。径10~60mm程度の石英、長石からなる。傾斜20~50°程度。 40.73~40.85m: ベグマタイト。径5~20mm程度の石英、長石からなる。礫状に分布する。 41.19~45.00m: 花崗斑岩。径1~7mm程度の石英、長石、径3mm以下の黒雲母の斑晶を5~10%程度含む。 42.79~43.30m: 節理に沿ってマンガンが濃集する。 44.20~44.74m: 節理に沿ってマンガンが濃集し、斑点状に沈着する。	0	50	100																						CM'	43.00 45.00									50							
2.27	41.19	ベグマタイト アブライト	明褐	IVg	cg	38.35~38.65m: 礫状にベグマタイトが分布する。径5~20mm程度の石英。長石からなる。 39.12~45.00m: 傾斜20°及び75°程度の節理がみられる。一部節理に沿って褐色化している。 39.49~39.56m: ベグマタイトの細脈を多数挟む。傾斜20°程度。 39.73~39.95m: ベグマタイト。径10~60mm程度の石英、長石からなる。傾斜20~50°程度。 40.73~40.85m: ベグマタイト。径5~20mm程度の石英、長石からなる。礫状に分布する。 41.19~45.00m: 花崗斑岩。径1~7mm程度の石英、長石、径3mm以下の黒雲母の斑晶を5~10%程度含む。 42.79~43.30m: 節理に沿ってマンガンが濃集する。 44.20~44.74m: 節理に沿ってマンガンが濃集し、斑点状に沈着する。	0	50	100	CM'	43.00 45.00									85																												
-1.54	45.00	明褐	明褐	IVg	cg	38.35~38.65m: 礫状にベグマタイトが分布する。径5~20mm程度の石英。長石からなる。 39.12~45.00m: 傾斜20°及び75°程度の節理がみられる。一部節理に沿って褐色化している。 39.49~39.56m: ベグマタイトの細脈を多数挟む。傾斜20°程度。 39.73~39.95m: ベグマタイト。径10~60mm程度の石英、長石からなる。傾斜20~50°程度。 40.73~40.85m: ベグマタイト。径5~20mm程度の石英、長石からなる。礫状に分布する。 41.19~45.00m: 花崗斑岩。径1~7mm程度の石英、長石、径3mm以下の黒雲母の斑晶を5~10%程度含む。 42.79~43.30m: 節理に沿ってマンガンが濃集する。 44.20~44.74m: 節理に沿ってマンガンが濃集し、斑点状に沈着する。	0	50	100																						CM'	43.00 45.00									50							
		明褐	明褐	IVg	cg	38.35~38.65m: 礫状にベグマタイトが分布する。径5~20mm程度の石英。長石からなる。 39.12~45.00m: 傾斜20°及び75°程度の節理がみられる。一部節理に沿って褐色化している。 39.49~39.56m: ベグマタイトの細脈を多数挟む。傾斜20°程度。 39.73~39.95m: ベグマタイト。径10~60mm程度の石英、長石からなる。傾斜20~50°程度。 40.73~40.85m: ベグマタイト。径5~20mm程度の石英、長石からなる。礫状に分布する。 41.19~45.00m: 花崗斑岩。径1~7mm程度の石英、長石、径3mm以下の黒雲母の斑晶を5~10%程度含む。 42.79~43.30m: 節理に沿ってマンガンが濃集する。 44.20~44.74m: 節理に沿ってマンガンが濃集し、斑点状に沈着する。	0	50	100	CM'	43.00 45.00									50																												

H20-④-7

柱状図(30.00m~45.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										最大 コア 長 (cm)	R	Q	
				アブライト	淡橙	CM'	100	9	0				<p>①</p> <p>34.00~34.63m ・ペグマタイトである。</p> <p>34.63~39.73m ・アブライトである。</p> <p>36.29~36.37m ・径2~10mm程度の石英の斑晶が密集する。</p> <p>38.13m ・流理がみられる。</p> <p>39.73~39.95m ・ペグマタイトである。</p> <p>・径10~60mm程度の石英、長石からなる。</p> <p>39.95~40.73m ・アブライトである。</p> <p>40.73~40.85m ・ペグマタイトである。</p> <p>・径5~20mm程度の石英、長石からなる。</p> <p>40.85~41.19m ・アブライトである。</p> <p>41.19~45.00m ・花崗斑岩である。</p>
				アブライト	淡橙	CL'	100	8	0				
				アブライト	淡橙	CL'	100	7	0				
		9.46	34.00	ペグマタイト	赤褐	CL'	100	13	13				
		8.83	34.63	ペグマタイト	赤褐	CL'	100	12	12				
				アブライト	淡橙	CL'	100	17	17				
				アブライト	明褐	CM'	100	11	22				
				アブライト	明褐	CM'	100	10	10				
				アブライト	明褐	CM'	100	27	58				
		3.73	39.73	ペグマタイト	明褐	CM'	100	13	13				
		3.53	39.95	アブライト	明褐	CM'	100	18	31				
		2.73	40.73	アブライト	淡橙	CM'	100	8	0				
		2.63	40.95	アブライト	淡橙	CM'	100	10	10				
		2.23	41.19	アブライト	淡橙	CM'	100	10	10				
				花崗斑岩	灰黄褐	CM'	100	20	39				
				花崗斑岩	明褐	CM'	100	19	37				
		-1.54	45.00	花崗斑岩	明褐	CM'	100	19	37				

1-322(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コアカ形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D L [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入) 試験 (N値~深度) 図		原位置試験 (孔内水平距離)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチップ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)						
														N	値																	
					浅黄橙	Eg Vg cg			3	●42.86~42.97m: 破砕帯 (r-b8-34-2) 破砕幅は5.2cmである。 粘土混じり角礫状を呈し、にぶい橙色の固結した礫状部からなる。上端境界の傾斜は62°、下端境界の傾斜は25°である。岩片間に幅1~2mmの白色の粘土脈が分布する。 42.97~46.32m: 傾斜10~40°の割れ目が主となる。一部で割れ目沿いに砂状化している。	9 (0)	D'							3/30	115				100								
					明褐灰	Dg Vg cg			2		10 (0)									125				0.1	泥水 10	10						
					明褐灰	Eg Vg cg			3	46.32~46.37m: 上下端の傾斜25°の割れ目間で著しく軟化している。 ●50.24~51.87m: 破砕部 破砕幅は149.3cmである。 50.24~50.25m: 灰褐色の粘土状を呈する。未固結の粘土状部からなり、幅は0.8cmである。傾斜は70°である。 50.25~50.97m: 角礫質粘土状を呈し、にぶい黄褐色の固結した礫状部からなる。下端境界の傾斜は45°である。径10mmまでの石英・岩片を含む。50.60~51.50mの岩片間には、白色の粘土脈が多数分布する。 50.97~51.50m: 暗灰白色の割れ目の密集部からなる。下端境界の傾斜は70°である。 51.50~51.71m: 粘土質角礫状を呈し、にぶい黄褐色の固結した礫状部からなる。 51.71~51.75m: 灰白色の固結した粘土状部からなる。下端境界の傾斜は75°である。下端側に少量の粘土化した岩片を含む。 51.75~51.87m: 粘土混じり角礫状を呈する。にぶい黄褐色の割れ目の密集部からなる。下端境界の傾斜は65°である。白色の粘土が網状に分布する。 52.11~53.45m: 著しく軟化している。岩組織と割れ目はほぼ消滅する。	10 (0)	CL'										4/1				150			0.1	泥水 10	3	
					明黄褐	Dg Vg cg			3	54.51~54.82m: 角礫化し、土砂状を呈する。マンガン汚染で黒褐色化している。 55.04~56.81m: 径5~100mmに角礫化している。基質の一部は粘土化部や白色の粘土脈が分布する。	10 (0)										90			26.0		0.1	泥水 10	1				
					明黄褐	Eg VIg dg			3	56.81~58.31m: 傾斜10~40°の割れ目が主となる。一部で70~80°の割れ目が斜交し径5mm前後に角礫化している。	10 (0)	D'								105												
					花崗斑岩	Dg Vg cg			δ	58.31~59.92m: 割れ目沿いに砂状化。幅1~2mmの粘土脈を挟む。	10 (0)	CL'								90												
					明黄褐	Eg VIg dg			3	62.16~62.67m: 粘土脈が網状に分布する。 62.50m: マンガン汚染により黒褐色化した粘土脈が分布する。最大幅は12mmである。	10 (0)	D'								85												
					明黄褐	Dg Vg cg			3	62.67~72.00m: アブライトである。 62.67m: 傾斜50°のシャープな割れ目を境に岩相が変化している。 62.67~64.51m: 傾斜20~30°と、これに交差する直線的な60~70°の割れ目が分布する。	10 (0)	CL'									75											
					明黄褐	Eg VIg dg			2	66.07~66.17m: 割れ目交差部で角礫化している。	10 (0)	D'								65				26.0	150							
					明褐灰	Dg Vg cg			2	66.81~66.91m: 上端の傾斜40°と下端の傾斜63°の割れ目に囲まれ著しく軟化している。白色の粘土脈を挟む。	10 (0)	CL'								50				36.0	200							

H24-B8-34

柱状図(30.00m~60.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D [%]	記事
		14.89		砂礫	灰白黄褐色 明オリーブ 灰		100				
		31.51			にぶい 橙	D'	100	3	0		31.51~62.67m ・花崗斑岩である。 ●31.76~33.24m ・破碎部である。 ・主ににぶい黄橙色の固結礫状部からなる。 ・にぶい橙色の未固結粘土状部：累計幅4.0cm m ・走向・傾斜はN11° W82° Eである。 ・上端境界の傾斜は80°，下端境界の傾斜は33°である。
					橙	D'	100	1	0		
					褐灰	CL'	100	3	0		
							100	3	0		
					にぶい 橙	D'	100	2	0		
							100	2	0		
							100	3	0		
					浅黄 橙		100	3	0		
							100	5	0		
					明褐 灰	CL'	100	6	0		
							100	5	0		
							100	8	0		
							100	4	0		
							100	3	0		
					明黄 褐	D'	100	4	0		●42.86~42.97m(f-b8-34-2破碎帯) ・破碎部である。 ・にぶい橙色の固結礫状部からなる。 ・走向・傾斜はN4° E79° Eである。 ・フィルム状の粘土を挟在する。 ・上端境界の傾斜は62°，下幅境界の傾斜は25°である。
							100	3	0		
							100	4	0		
							100	2	0		
							100	3	0		
							100	4	0		
							100	4	0		
							100	3	0		
							100	3	0		
							100	4	0		
							100	3	0		
							100	4	0		
							100	3	0		
							100	4	0		
							100	10	10		
							100	4	0		
							100	4	0		
							100	3	0		
							100	3	0		
							100	3	0		
							100	3	0		

1-323(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo. 5

事業・工事名

ボーリング名	Br-5		調査位置				北緯		
発注機関				調査期間			東経		
調査業者名				主任技師			現場人		
孔口標高	7.09 m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 270° 西 180° 南 0°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	ハンマー落下用具
総掘削長	70.00 m	度	0°	向	0°			試験機	ポンプ
								エンジン	

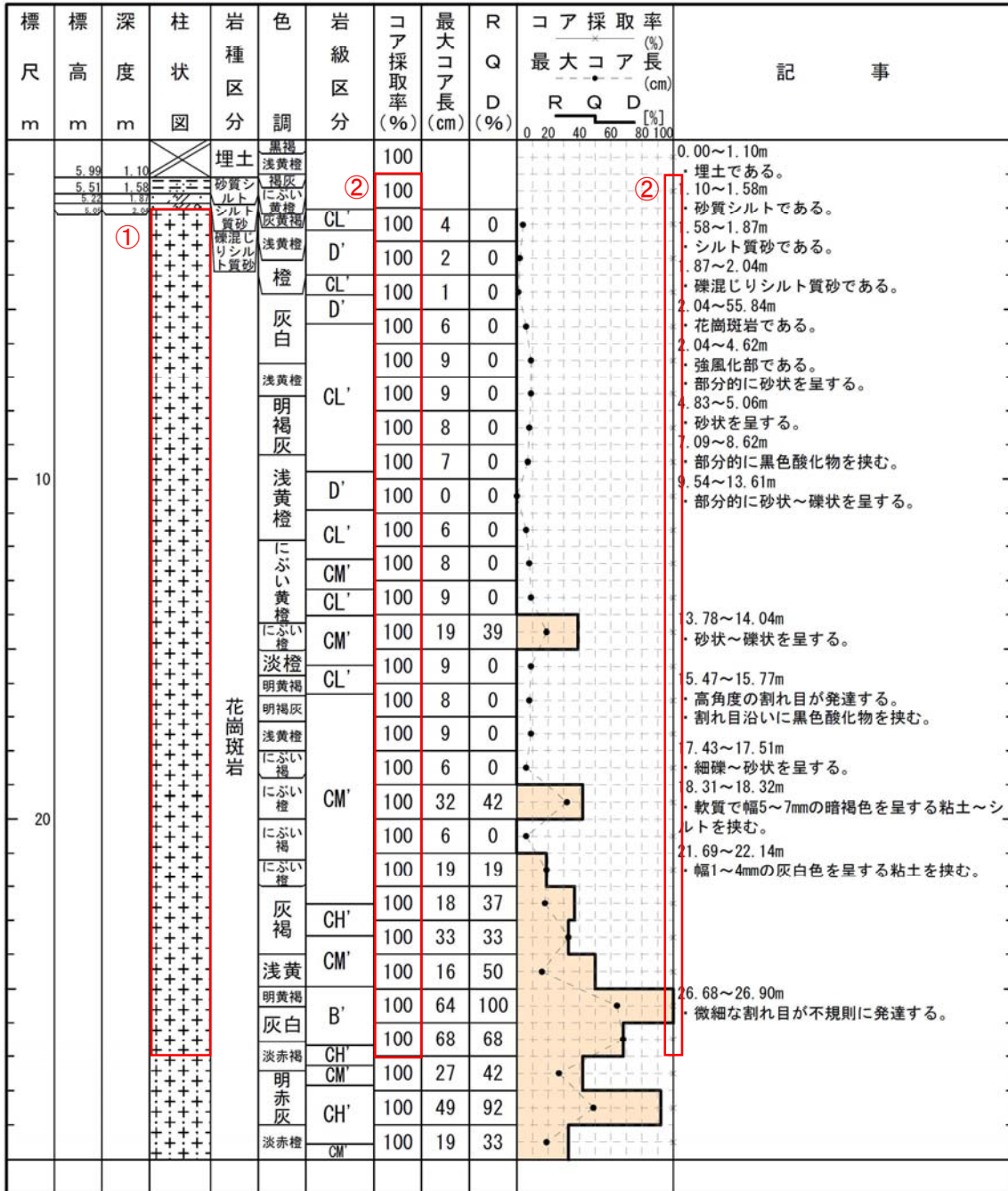
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 ← cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入 (試験)		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)	
														(N値)	(深度)												
5.99	1.10	1.10	埋土	埋土						0.00~1.10m: 埋戻土。0.00~0.31m: 細~中粒砂を主体とする。埋戻土。草根を混入する。0.31~1.10m: 径2~80mmの垂角~垂直円柱主体。	CL'										115 / ケーシング	0.0	0		試掘		
5.51	1.58	1.58	砂質シルト	砂質シルト						1.10~1.58m: 砂質シルト。細粒砂を主体とし、均質。径3mm程度までの石英礫が点在する。	D'										100 / ケーシング	9.8	0.1	清水10	10		
5.22	1.87	1.87	シルト質砂	シルト質砂						1.58~1.87m: シルト質砂。1.58~1.65m: 径2~5mmの角~垂角礫及び腐植物を混入する。	D'										100 / ケーシング	9.8	0.1	清水3	3		
5.05	2.04	2.04	砂質シルト	砂質シルト						1.87~2.04m: 雑混じりシルト質砂。礫径は最大5mm程度。2.04~5.04m: 花崗斑岩。2.04~2.68m: 強風化部。割れ目に沿って黒色酸化物を挟む。	D'											100 / ケーシング	4.9	0.3	清水5	5	
			明礫灰	明礫灰						2.68~4.02m: 強風化して部分的に砂状を呈する。4.02~4.62m: 割れ目に沿って黒色酸化物が濃集する。長石類は風化して粘土化する。4.63~5.06m: 砂状を呈する。	CL'											100 / ケーシング	4.9	0.3	清水5	5	
			明礫灰	明礫灰						6.09~6.65m: 幅1~2mmの褐色粘土を挟む。7.09~7.21m, 7.51~7.59m, 7.85m, 8.60~8.62m: 黒色酸化物が濃集する。	CL'											100 / ケーシング	4.9	0.3	清水5	5	
			明礫灰	明礫灰						9.05~10.17m: 傾斜60~90°の開口した割れ目が発達し、割れ目に沿って黒色酸化物が濃集する。	D'											100 / ケーシング	9.8	0.3	清水5	5	
			明礫灰	明礫灰						10.95~12.05m: 割れ目が約10cm間隔で発達し、部分的に礫状を呈する。	CL'											100 / ケーシング	4.9	0.3	清水5	5	
			明礫灰	明礫灰						13.41~13.42m, 13.58~13.61m: 礫状を呈する。13.62m: 幅2mmの淡黄灰色粘土を挟む。	CL'											100 / ケーシング	4.9	0.3	清水5	5	
			明礫灰	明礫灰						13.78~14.04m: 砂状~礫状を呈する。	CL'											100 / ケーシング	4.9	0.3	清水5	5	
			明礫灰	明礫灰						15.47~15.53m: 傾斜60°程度の割れ目が密集する。	CL'											100 / ケーシング	4.9	0.3	清水5	5	
			明礫灰	明礫灰						15.53~15.77m: 黒色酸化物を挟む傾斜80°の割れ目が発達する。	CL'											100 / ケーシング	4.9	0.3	清水5	5	
			明礫灰	明礫灰						15.77~16.05m: 砂状~礫状を呈する。	CL'											100 / ケーシング	4.9	0.3	清水5	5	
			明礫灰	明礫灰						17.23~17.25m: 傾斜20°程度の割れ目に沿って褐色及び黒色酸化物を挟む。一部角礫状となる。	CL'											100 / ケーシング	4.9	0.3	清水5	5	
			明礫灰	明礫灰						17.25~17.44m: 傾斜70°と30°の割れ目が交差して発達し、岩片状を呈する。	CL'											100 / ケーシング	4.9	0.3	清水5	5	
			明礫灰	明礫灰						17.43~17.51m: 細礫状~砂状となる。	CL'											100 / ケーシング	4.9	0.3	清水5	5	
			明礫灰	明礫灰						18.31~18.32m: 粘土~シルトを挟む。軟質で暗褐色を呈す。幅5~7mm。	CL'											100 / ケーシング	4.9	0.3	清水5	5	
			明礫灰	明礫灰						21.69m, 22.14m: 幅1~4mmの灰白色粘土を挟む。	CL'											100 / ケーシング	4.9	0.3	清水5	5	
			明礫灰	明礫灰						24.49~24.56m, 24.70~24.76m: 粗粒になり、長石、石英、黒雲母の斑晶が明瞭となる。微細な割れ目に富む。	CH'											100 / ケーシング	4.9	0.3	清水5	5	
			明礫灰	明礫灰						26.68~26.90m: 微細な割れ目が不規則に分布する。	CH'											100 / ケーシング	4.9	0.3	清水5	5	

H27-Br-5

柱状図(0.00m~30.00m)

H27-Br-5

孔 口 標 高	T. P.	7.09m	掘 削 長	70.00m
---------	-------	-------	-------	--------



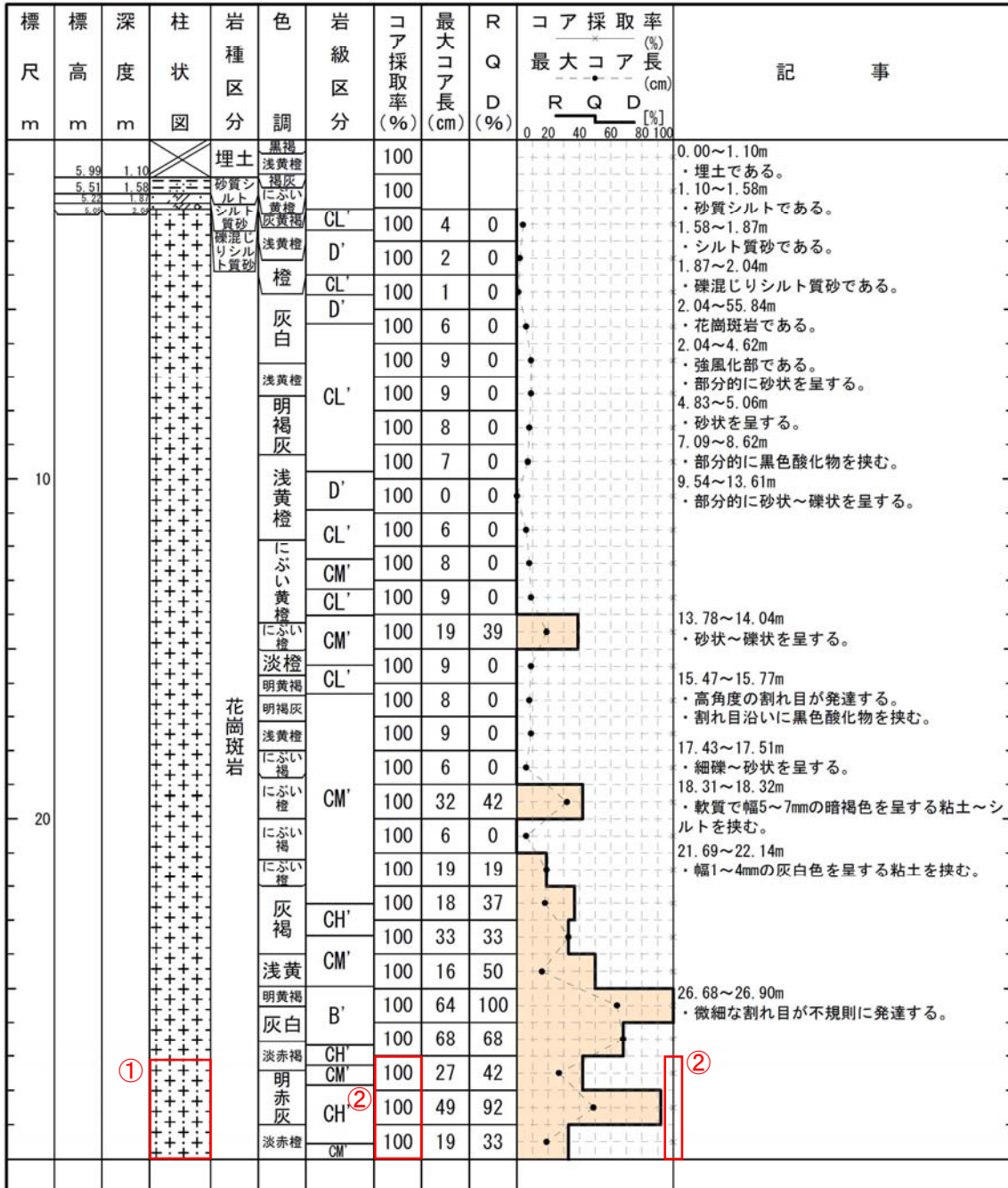
- 1-324(分類c)①
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-325(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

H27-Br-5

柱状図(0.00m~30.00m)

H27-Br-5

孔 口 標 高	T. P.	7.09m	掘 削 長	70.00m
---------	-------	-------	-------	--------



- 1-324(分類c) ①
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-325(分類b) ②
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記号	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D ↳ [%]	岩級区分	標準貫入 (N 値 ~ 深度) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給送水圧 (kN · MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L / 分)	排水量 (L / 分)																																	
														(N 値)	(図)																																												
30			[図]	花崗斑岩	淡赤橙	IV g	bg	β	1			27.27~27.60m: 幅10mm程度で砂状~細礫状を呈する。	CH'	0	0				4/14	78			28.4	0.3	清水 ₂	0	0																																
																												27.43~27.52m: 砂状~礫状を呈する。	CH'	42	44	92																											
																												29.02~29.64m: 開口した割れ目が発達し、黒色酸化物を挟在する。一部径0.5~10mmの角礫状を呈す。	CH'	27	28	33																											
																												30.57~30.67m: 割れ目が集中し、一部礫状~岩片状を呈する。	CH'	1	1	1																											
																												40			花崗斑岩	黄橙	IV g	bg	γ	1			31.45~31.78m: 微細な割れ目が不規則に発達する。	CM'	0	0				4/16	75			18.6	0.3	清水 ₁	0	0					
																																																							31.78~32.20m: 傾斜70~80°の割れ目及び微細な割れ目が発達する。	CM'	1	1	1
																																																							32.56~32.84m: 傾斜30~70°の割れ目が交差する。上部に幅1mmの淡緑灰色粘土を挟在する。	CM'	1	1	1
																																																							33.25~33.83m: 密着した割れ目が発達し、灰白色の鉱物脈を挟む。	CM'	1	1	1
																																																							35.55m: 幅1~2mmの褐色粘土を挟在する。傾斜75°程度。	CL'	1	1	1
																																																							36.79~37.25m: 割れ目が良く発達する。	CM'	1	1	1
																												50			花崗斑岩	淡赤橙	IV g	cg	γ	2			37.80~38.97m: 傾斜50°の平行な割れ目が1~10cm間隔で発達する。	CM'	0	0				4/16	101			28.4									
																																																							39.52~39.84m: 傾斜60~90°の割れ目が発達する。	CM'	1	1	1
39.69m: 幅8~20mmの石英脈を挟在する。	CH'	1	1	1																																																							
41.32~41.44m: 不規則な割れ目が発達する。	CH'	1	1	1																																																							
42.05~42.40m: 高・低角度の割れ目が交差する。	CM'	1	1	1																																																							
42.48m: 幅0~5mmで細礫状を呈す。42.77~42.82m: 岩片状を呈する。	CM'	1	1	1																																																							
60			花崗斑岩	淡赤橙	IV g	bg	α	2			44.03~44.18m: 傾斜70°の割れ目が集中する。	CH'	0	0				4/17	47			48.0	180	0.3	清水 ₂	0	0																																
																												45.36m: 幅10~15mmで礫状を呈す。	CH'	1	1	1																											
																												47.25~48.00m: 割れ目に沿ってフィルム状の灰白~淡緑灰色粘土を挟在する。	CL'	1	1	1																											
																												48.00~48.31m: 傾斜40~50°の割れ目に沿って幅1~3mmの淡緑灰色粘土を挟在する。	CM'	1	1	1																											
																												49.32~50.23m: 幅1~4mmの淡緑灰色粘土を挟在する。	CL'	1	1	1																											
																												●50.48~51.16m: 破碎帯。50.48~50.50m: 疎鬆じり粘土状破砕部(Hc-2)。上部の傾斜78°。幅5~15mmの疎鬆じり灰白色粘土。50.50~51.14m: 角礫状破砕部(H1)。幅1mm以下の黄灰~灰白色粘土を挟在する。51.14~51.16m: 粘土状破砕部(Hc-1)。幅10~20mmの緑灰色粘土。下部の傾斜75°。	CL'	1	1	1																											
53.76~54.35m: 網目状に割れ目が発達し、岩片状を呈す。	CL'	1	1	1																																																							
60			花崗斑岩	黄灰	IV g	cg	γ	3			55.84~56.04m: アブライト、やや変質している。割れ目に沿って1~3cmの角礫状を呈す。	CL'	0	0				4/21	101			9.8	0.4	清水 ₂	0	0																																	
																											56.04~70.00m: 花崗斑岩。	CM'	1	1	1																												
																											56.31~58.09m: 不規則な割れ目が発達する。	CM'	1	1	1																												
																											60.17~61.24m: 密着した微細な割れ目が発達する。	CH'	1	1	1																												
																											60.67~60.70m: 傾斜75°の割れ目に沿って一部砂状化する。	CH'	1	1	1																												
																											61.26~61.97m: 高角度の割れ目が発達する。	CL'	1	1	1																												

H27-Br-5

柱状図(30.00m~60.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記事	
										最大 コア 長 (cm)	R Q D [%]	D		
		①	花崗斑岩	淡赤橙	③	CM'	100	9	0	●	●	●	30.57~30.67m ・割れ目が多く、礫状~岩片状を呈する。	
				黄橙	CM'	100	19	27	●	●	●	●	31.45~31.78m ・微細な割れ目が発達する。	
				淡赤橙	CL'	100	9	0	●	●	●	●	31.78~32.20m ・高角度の割れ目及び微細な割れ目が発達する。	
				にぶい橙	CM'	100	17	39	●	●	●	●	33.25~33.93m ・密着した割れ目が発達する。	
				淡赤橙	CM'	100	11	21	●	●	●	●	・灰白色の鉱物脈を挟む。	
				橙	CH'	100	18	30	●	●	●	●	39.69m ・幅8~20mmの石英脈を挟む。	
				灰白	CM'	100	34	78	●	●	●	●	41.32~41.44m ・不規則な割れ目が発達する。	
				にぶい橙	CM'	100	8	0	●	●	●	●	42.77~42.82m ・割れ目が多く、岩片状を呈する。	
				褐灰	CH'	100	18	61	●	●	●	●	44.03~44.18m ・高角度の割れ目が発達する。	
				にぶい橙	CM'	100	19	30	●	●	●	●	45.36m ・割れ目が多く、礫状を呈する。	
				オリブ灰	CH'	100	19	66	●	●	●	●	47.25~50.23m ・割れ目に沿って灰白~淡緑灰色を呈する粘土挟む。	
				灰褐	CL'	100	36	64	●	●	●	●	●	50.48~51.16m (f-br-5-1破砕帯) ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・主に橙色の固結礫状部及び灰白色の固結粘土状部からなる。 ・灰白色の未固結粘土部：累計幅0.8cm ・走向・傾斜はN46° E78° NWである。 ・上端境界の傾斜は78°、下端境界の傾斜は75°である。
				にぶい橙	CM'	100	25	25	●	●	●	●	55.84~56.04m ・アブライトである。 ・やや変質している。 ・割れ目が多く、1~3cmの角礫状を呈する。	
				にぶい橙	CL'	100	9	0	●	●	●	●	56.04~70.00m ・花崗斑岩である。	
				明赤灰	CL'	100	7	0	●	●	●	●	60.17~61.24m ・密着した微細な割れ目が発達する。	
				明黄褐	D'	100	5	0	●	●	●	●		
				にぶい橙	CM'	100	6	0	●	●	●	●		
				にぶい橙	CL'	100	8	0	●	●	●	●		
				にぶい橙	CL'	100	7	0	●	●	●	●		
				青灰	CM'	100	4	0	●	●	●	●		
			アブライト	CL'	100	7	0	●	●	●	●			
			花崗斑岩	にぶい橙	CM'	100	4	0	●	●	●	●		
			花崗斑岩	にぶい橙	CH'	100	6	0	●	●	●	●		
			花崗斑岩	にぶい橙	CH'	100	14	67	●	●	●	●		
			花崗斑岩	にぶい橙	CM'	100	6	0	●	●	●	●		
			花崗斑岩	にぶい橙	CH'	100	14	67	●	●	●	●		
			花崗斑岩	にぶい橙	CM'	100	26	59	●	●	●	●		

- 1-324, 1-327 (分類c) ①
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-326 (分類d) ②
記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)
- 1-325 (分類b) ③
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記号	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D ↳ [%]	岩級区分	標準貫入 (N 値 ~ 深度) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給送水圧 (kN · MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L / 分)	排水量 (L / 分)												
														(N)	(値)																							
30			[Image]	花崗斑岩	淡赤橙	IV g	bg	β	1			27.27~27.60m: 幅10mm程度で砂状~細礫状を呈する。	CH'	0	0				4/14	78			28.4	0.3	清水 ₂	0	0											
																												IV g	cg	δ	2	27.43~27.52m: 砂状~礫状を呈する。	CH'	50	100	42	44	92
																												Bg	IV g	β	1	29.02~29.64m: 開口した割れ目が発達し、黒色酸化物を挟む。一部径0.5~10mmの角礫状を呈す。	CH'	50	100	26	28	33
																												Bg	IV g	β	1	30.57~30.67m: 割れ目が集中し、一部礫状~岩片状を呈する。	CH'	50	100	10	11	13
																												Bg	IV g	β	1	31.45~31.78m: 微細な割れ目が不規則に発達する。	CH'	50	100	10	11	13
																												Bg	IV g	β	1	31.78~32.20m: 傾斜70~80°の割れ目及び微細な割れ目が発達する。	CH'	50	100	10	11	13
																												Bg	IV g	β	1	32.56~32.84m: 傾斜30~70°の割れ目が交差する。上部に幅1mmの淡緑灰色粘土を挟む。	CH'	50	100	10	11	13
																												Bg	IV g	β	1	33.25~33.83m: 密着した割れ目が発達し、灰白色の鉱物脈を挟む。	CH'	50	100	10	11	13
																												Bg	IV g	β	1	35.55m: 幅1~2mmの褐色粘土を挟む。傾斜75°程度。	CH'	50	100	10	11	13
																												Bg	IV g	β	1	36.79~37.25m: 割れ目が良く発達する。	CH'	50	100	10	11	13
																												Bg	IV g	β	1	37.80~38.97m: 傾斜50°の平行な割れ目が1~10cm間隔で発達する。	CH'	50	100	10	11	13
																												40			[Image]	花崗斑岩	淡赤橙	IV g	cg	δ	2	
Bg	IV g	β	1	39.69m: 幅8~20mmの石英脈を挟む。	CH'	50	100	10	11	13																												
Bg	IV g	β	1	41.32~41.44m: 不規則な割れ目が発達する。	CH'	50	100	10	11	13																												
Bg	IV g	β	1	42.05~42.40m: 高・低角度の割れ目が交差する。	CH'	50	100	10	11	13																												
Bg	IV g	β	1	42.48m: 幅0~5mmで細礫状を呈す。	CH'	50	100	10	11	13																												
Bg	IV g	β	1	42.77~42.82m: 岩片状を呈する。	CH'	50	100	10	11	13																												
Bg	IV g	β	1	44.03~44.18m: 傾斜70°の割れ目が集中する。	CH'	50	100	10	11	13																												
Bg	IV g	β	1	45.36m: 幅10~15mmで礫状を呈す。	CH'	50	100	10	11	13																												
Bg	IV g	β	1	47.25~48.00m: 割れ目に沿ってフィルム状の灰白~淡緑灰色粘土を挟む。	CH'	50	100	10	11	13																												
Bg	IV g	β	1	48.00~48.31m: 傾斜40~50°の割れ目に沿って幅1~3mmの淡緑灰色粘土を挟む。	CH'	50	100	10	11	13																												
Bg	IV g	β	1	49.32~50.23m: 幅1~4mmの淡緑灰色粘土を挟む。	CH'	50	100	10	11	13																												
50			[Image]	花崗斑岩	明赤橙	IV g	cg	ε	4			●50.48~51.16m: 破碎帯。	D'	50	100	6			4/18	52			4.9	0.3	清水 ₂	0	0											
																												Bg	IV g	β	1	50.48~50.50m: 疎鬆じり粘土状破砕部(Hc-2)。上部の傾斜78°。幅5~15mmの疎鬆じり灰白色粘土。	CH'	50	100	10	11	13
																												Bg	IV g	β	1	50.50~51.14m: 角礫状破砕部(H1)。幅1mm以下の黄灰~灰白色粘土を挟む。	CH'	50	100	10	11	13
																												Bg	IV g	β	1	51.14~51.16m: 粘土状破砕部(Hc-1)。幅10~20mmの緑灰色粘土。下部の傾斜75°。	CH'	50	100	10	11	13
																												Bg	IV g	β	1	53.76~54.35m: 網目状に割れ目が発達し、岩片状を呈す。	CH'	50	100	10	11	13
																												Bg	IV g	β	1	55.84~56.04m: アブライト。やや変質している。割れ目に沿って1~3cmの角礫状を呈す。	CH'	50	100	10	11	13
																												Bg	IV g	β	1	56.04~70.00m: 花崗斑岩。	CH'	50	100	10	11	13
																												Bg	IV g	β	1	56.31~58.09m: 不規則な割れ目が発達する。	CH'	50	100	10	11	13
																												Bg	IV g	β	1	60.17~61.24m: 密着した微細な割れ目が発達する。	CH'	50	100	10	11	13
																												Bg	IV g	β	1	60.67~60.70m: 傾斜75°の割れ目に沿って一部砂状化する。	CH'	50	100	10	11	13
																												Bg	IV g	β	1	61.26~61.97m: 高角度の割れ目が発達する。	CH'	50	100	10	11	13
																												60			[Image]	花崗斑岩	明赤橙	IV g	cg	γ	3	
Bg	IV g	β	1	60.17~61.24m: 密着した微細な割れ目が発達する。	CH'	50	100	10	11	13																												
Bg	IV g	β	1	60.67~60.70m: 傾斜75°の割れ目に沿って一部砂状化する。	CH'	50	100	10	11	13																												
Bg	IV g	β	1	61.26~61.97m: 高角度の割れ目が発達する。	CH'	50	100	10	11	13																												
Bg	IV g	β	1	61.26~61.97m: 高角度の割れ目が発達する。	CH'	50	100	10	11	13																												
Bg	IV g	β	1	61.26~61.97m: 高角度の割れ目が発達する。	CH'	50	100	10	11	13																												
Bg	IV g	β	1	61.26~61.97m: 高角度の割れ目が発達する。	CH'	50	100	10	11	13																												
Bg	IV g	β	1	61.26~61.97m: 高角度の割れ目が発達する。	CH'	50	100	10	11	13																												
Bg	IV g	β	1	61.26~61.97m: 高角度の割れ目が発達する。	CH'	50	100	10	11	13																												
Bg	IV g	β	1	61.26~61.97m: 高角度の割れ目が発達する。	CH'	50	100	10	11	13																												
Bg	IV g	β	1	61.26~61.97m: 高角度の割れ目が発達する。	CH'	50	100	10	11	13																												

H27-Br-5

柱状図(60.00m~70.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分②	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	記 事	
												R Q D [%]
		①		花崗斑岩	にぶい橙	CH'	100	17	79		②	60.67~60.70m ・高角度の割れ目に沿って一部砂状化する。
		CL'				100	16	33	61.26~61.97m ・高角度の割れ目が発達する。			
		B'				100	72	85				
		CM'				100	18	20				
		CH'				100	19	54				
		CM'				100	5	0				
		CL'				100	6	0				
		CL'				100	13	20	66.25~67.40m, 68.05~69.07m ・硬度の割れ目が発達する。			
		浅黄橙 灰白				100	6	0				
		浅黄褐				CH'	100	19	59			

- 1-324(分類c)①
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-325(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 / 測定月日	標準貫入 () 試験 (N 値 ~ 深度) 図					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチップ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)		
															N	値	0	10	20												30	40
		62.91	70.00	花崗斑岩	にがい種	Bg	IIIg	γ			66.25~67.40m: 傾斜60~80°の割れ目を主体とする。 68.05~69.07m: 高角度の割れ目が発達する。	0	CM'		0	10	20	30	40	50								28.2	0.3	清水 ₂	0	
						Bg	IIIg	γ					18	CH'																		
						Bg	IIIg	γ					18	CH'																		
						Bg	IIIg	γ					18	CH'																		
						Bg	IIIg	γ					18	CH'																		
						Bg	IIIg	γ					18	CH'																		
						Bg	IIIg	γ					18	CH'																		
						Bg	IIIg	γ					18	CH'																		
						Bg	IIIg	γ					18	CH'																		
						Bg	IIIg	γ					18	CH'																		
						Bg	IIIg	γ					18	CH'																		
						Bg	IIIg	γ					18	CH'																		
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			
						Bg	IIIg	γ				18	CH'																			

H27-Br-5

柱状図(60.00m~70.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	R Q D [%]	記事
		①	+	花崗斑岩	にぶい橙	CH'	100	17	79			60.67~60.70m ・高角度の割れ目に沿って一部砂状化する。
						CL'	100	16	33			61.26~61.97m ・高角度の割れ目が発達する。
						B'	100	72	85			
						CM'②	100	18	20			
						CH'	100	19	54			
						CM'	100	5	0			
							100	6	0			
							100	13	20			66.25~67.40m, 68.05~69.07m ・硬度の割れ目が発達する。
							100	6	0			
							CH'	100	19		59	

- 1-324(分類c)①
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-325(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.

6

事業・工事名

ボーリング名	Br-6		調査位置					北緯		
発注機関					調査期間			東経		
調査業者名				主任技師			現場人			ボーリング者
孔口標高	2.61 m	角	180° 上	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試験機	ハンマー 落下用具
総掘削長	100.00 m	度	下 0°	向	0, 0°			エンジン		ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コアラ形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入 (N値~深度) 図				原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)						
																0	10	20	30																	
	-2.06	4.67		埋土	灰黄						0.00~4.67m: 埋戻土。 0.00~0.39m: 碎石。 0.39~4.67m: 中~粗粒砂及び細礫を主体とする埋戻土。												4/11	17	ダブルコアチューブ/ダイヤモンドビット	0.0	0	0	0	0						
	-5.22	7.83		シルト混じり砂	暗緑灰						4.67~7.83m: シルト混じり砂。炭質物、貝殻片が混じる。細粒砂を主体とする。 6.83~7.75m: 石英の細礫を多く含む。												4/13	25	ダブルコアチューブ/ダイヤモンドビット	0.0	0	0	0	1						
	-9.44	12.05		シルト質砂	淡黄						7.83~12.05m: シルト質砂。極い砂からなる。シルトを含む細粒~中粒砂を主体とする。一部に細礫を含む。 8.80~9.75m, 9.92~10.03m: 炭質物を含む。 11.60m: 炭質物が密集する。														4/14	115	ダブルコアチューブ/メタルクラウン	0.0	0	0	0	5				
	-17.76	20.37		玉石混じりシルト質砂	灰黄						12.05~20.37m: 玉石混じりシルト質砂。花崗斑岩の風化礫や硬質礫を不均質に含む。歪角~歪門礫で、最大径35cm。径2~9cm程度のものが多い。大礫は硬質で、細~中礫は軟質。基質は細~中粒砂を主体とし、良く締まっている。 12.27m: 径4cm程度の赤褐色の木片を挟む。 13.60~13.90m: 風化花崗斑岩礫。 15.48~15.58m: 細礫が密集する。 15.85~16.00m: 硬質な花崗斑岩の玉石。 16.00~16.51m: 風化した中礫及び玉石を含む。 17.12~17.52m, 18.53~18.87mには玉石を、17.60~17.80m, 18.23~18.37mには風化礫を含む。																		4/15	220	ダブルコアチューブ/メタルクラウン	0.0	0	0	0	6
				花崗斑岩	淡黄						20.37~100.00m: 花崗斑岩。 20.37~22.34m: 砂状を呈し、原岩組織は不明瞭となる。 20.62~20.88m: 幅0.5~2mmの褐色の砂を挟む。 23.53~24.32m: 割れ目が交差して格子状を呈する。 23.67m: 幅2mmの緑褐色粘土を挟む。 26.29~27.10m: 微細な割れ目が卓越する。																	4/16	94	ダブルコアチューブ/ダイヤモンドビット	0.0	0	0	0	5	
					淡黄																			4/17	45	ダブルコアチューブ/ダイヤモンドビット	0.0	0	0	1						
					淡黄																			4/18	43	ダブルコアチューブ/ダイヤモンドビット	0.0	0	0	2						
					淡黄																			4/20	39	ダブルコアチューブ/ダイヤモンドビット	0.0	0	0	2						
					淡黄																			4/21	136	ダブルコアチューブ/メタルクラウン	0.0	0.1	0	5						
					淡黄																			4/23	135	ダブルコアチューブ/ダイヤモンドビット	0.0	0.1	0	5						

H27-Br-6

柱状図(0.00m~35.00m)

H27-Br-6

孔 口 標 高	T. P.	2. 61m	掘 削 長	100. 00m
---------	-------	--------	-------	----------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%) 最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D [%]	記 事
				埋土	オリブ黒 にぶい黄橙 灰黄 にぶい黄橙	②	100					0. 00~4. 67m ・埋土である。 ・中~粗粒砂及び細礫を主体とする。
		-2. 06	4. 67	シルト混じり砂	暗緑灰		100					4. 67~7. 83m ・シルト混じり砂である。 ・石英の細礫を多く含む。
		-5. 22	7. 83	シルト質砂	浅黄 明黄褐		100					7. 83~12. 05m ・シルト質砂である。 ・炭化物が密集する。
		-9. 44	12. 05	玉石混じりシルト質砂	灰 明黄褐 浅黄 淡黄 黄橙 にぶい黄橙 黄橙 明オリブ灰 浅黄橙 にぶい黄橙 黄橙 淡黄 黄橙		100					12. 05~20. 37m ・玉石混じりシルト質砂である。 ・花崗斑岩の風化礫や硬質礫を不均質に含む。 ・基質は細~中粒砂を主体とし、良く締まっている。 ・2. 27m ・径4cm程度の赤褐色の木片を挟む。
		-17. 76	20. 37	花崗斑岩	明黄褐 黄褐 明黄褐	D'	100	0	0			20. 37~100. 00m ・花崗斑岩である。
			浅黄橙		100	3	0					20. 37~22. 34m ・砂状を呈する。 ・原岩組織は不明瞭である。
			淡黄		100	9	0					23. 53~24. 32m ・割れ目が斜交して格子状を呈する。
			浅黄橙		100	9	0					26. 29~27. 56m ・微細な割れ目が発達する。
			淡黄		100	18	25					29. 71~30. 80m ・低角度の割れ目が発達する。
			淡黄		100	12	34					30. 80~33. 02m ・高角度の割れ目が発達する。 ・一部に暗緑灰色を呈するシルト~砂を挟む。
			淡黄		100	11	24					
			淡黄		100	13	20					
			淡黄		100	4	0					
			淡黄		100	8	0					
				浅黄橙 淡黄								33. 02~34. 01m(f-br-6-1破碎帯) ・破碎部である。 ・正断層センスである。 ・主に明褐灰色の固結礫状部からなる。 ・緑灰色の未固結粘土状部：累計幅1. 2cm ・走向・傾斜はN49° E72° Wである。 ・上端境界の傾斜は85°、下端境界の傾斜は50°~70°である。

- 1-328(分類c)①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。
 1-329(分類b)②
 報告書の記載漏れを修正したため。

H27-Br-6

柱状図(0.00m~35.00m)

H27-Br-6

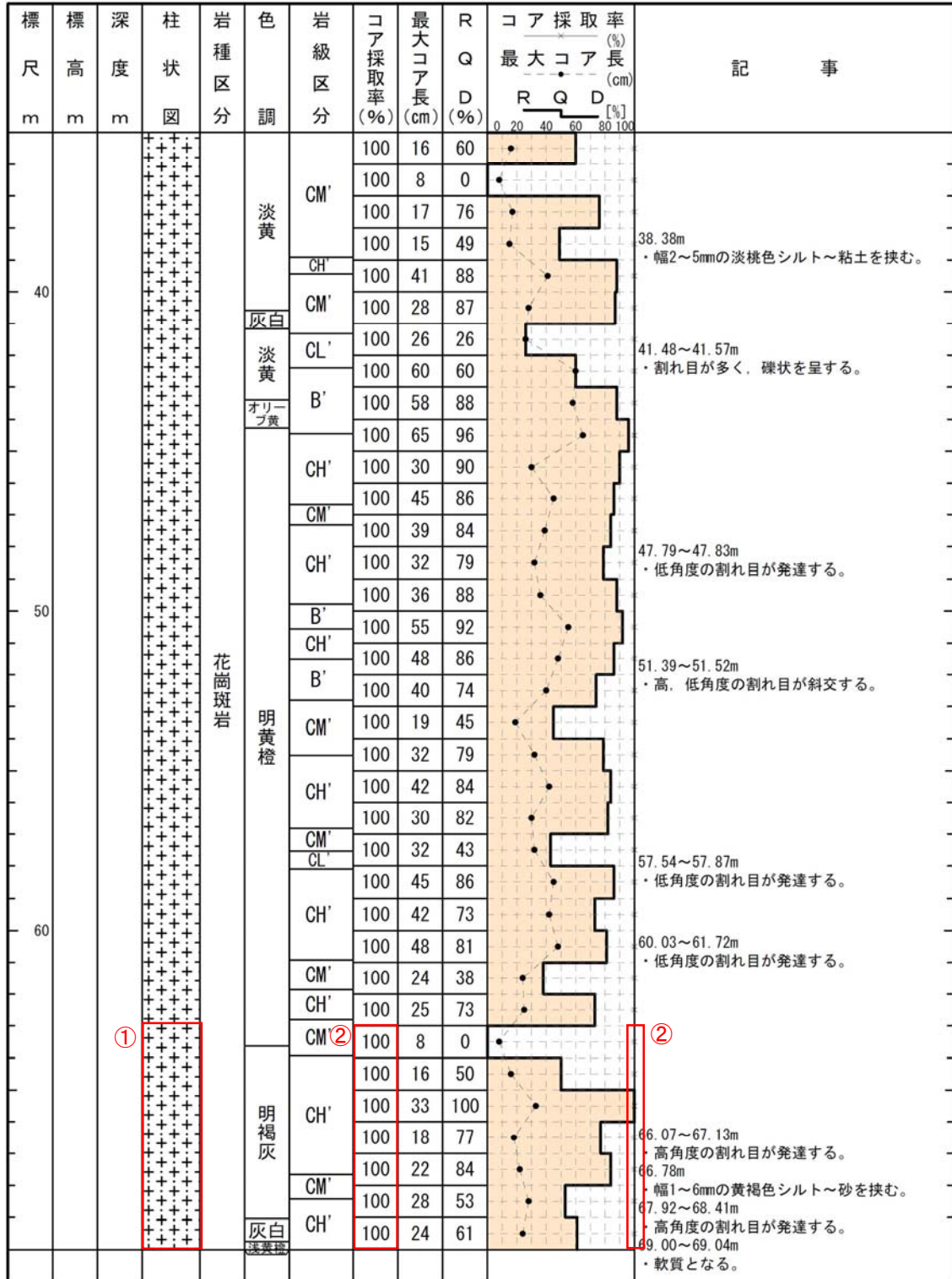
孔 口 標 高	T. P.	2. 61m	掘 削 長	100. 00m
---------	-------	--------	-------	----------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R (%)	Q (%)	D (%)	コ ア 採 取 率 (%) 最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D [%]	記 事
10				埋土	オリブ黒		100						0.00~4.67m ・埋土である。 ・中~粗粒砂及び細礫を主体とする。	
					にぶい黄橙		100							
					灰黄		100							
					にぶい黄橙		100							
					にぶい黄橙		100							
					にぶい黄橙		100							
					にぶい黄橙		100							
					にぶい黄橙		100							
					にぶい黄橙		100							
					にぶい黄橙		100							
20				玉石混じりシルト質砂	暗緑灰		100						4.67~7.83m ・シルト混じり砂である。 ・石英の細礫を多く含む。	
					暗緑灰		100							
					暗緑灰		100							
					暗緑灰		100							
					暗緑灰		100							
					暗緑灰		100							
					暗緑灰		100							
					暗緑灰		100							
					暗緑灰		100							
					暗緑灰		100							
30				花崗斑岩	浅黄		100						7.83~12.05m ・シルト質砂である。 ・炭化物が密集する。	
					明黄褐		100							
					明黄褐		100							
					明黄褐		100							
					明黄褐		100							
					明黄褐		100							
					明黄褐		100							
					明黄褐		100							
					明黄褐		100							
					明黄褐		100							
30				花崗斑岩	D'		100	0	0				12.05~20.37m ・玉石混じりシルト質砂である。 ・花崗斑岩の風化礫や硬質礫を不均質に含む。 ・基質は細~中粒砂を主体とし、良く締まっている。 12.27m ・径4cm程度の赤褐色の木片を挟む。	
					D'		100	0	0					
					D'		100	3	0					
					D'		100	6	0					
					D'		100	9	0					
					D'		100	9	0					
					D'		100	9	0					
					D'		100	8	0					
					D'		100	7	0					
					D'		100	18	25					
30				花崗斑岩	CL'		100	3	0				20.37~100.00m ・花崗斑岩である。 20.37~22.34m ・砂状を呈する。 ・原岩組織は不明瞭である。 23.53~24.32m ・割れ目が斜交して格子状を呈する。 26.29~27.56m ・微細な割れ目が発達する。	
					CL'		100	6	0					
					CL'		100	9	0					
					CL'		100	9	0					
					CL'		100	5	0					
					CL'		100	9	0					
					CL'		100	9	0					
					CL'		100	8	0					
					CL'		100	7	0					
					CL'		100	18	25					
30				花崗斑岩	CM'		100	12	34				29.71~30.80m ・低角度の割れ目が発達する。	
					CM'		100	11	24					
					CM'		100	13	20					
					CM'		100	13	20					
					CM'		100	4	0					
					CM'		100	8	0					
					CM'		100	8	0					
					CM'		100	8	0					
					CM'		100	8	0					
					CM'		100	8	0					
30				花崗斑岩	CL'		100	4	0				30.80~33.02m ・高角度の割れ目が発達する。 ・一部に暗緑灰色を呈するシルト~砂を挟む	
					CL'		100	4	0					
					CL'		100	4	0					
					CL'		100	4	0					
					CL'		100	4	0					
					CL'		100	4	0					
					CL'		100	4	0					
					CL'		100	4	0					
					CL'		100	4	0					
					CL'		100	4	0					
30				花崗斑岩	D'		100	4	0				33.02~34.01m(f-br-6-1破碎帯) ・破碎部である。 ・正断層センスである。 ・主に明褐灰色の固結礫状部からなる。 ・緑灰色の未固結粘土状部：累計幅1.2cm ・走向・傾斜はN49° E72° Wである。 ・上端境界の傾斜は85°、下端境界の傾斜は50°~70°である。	
					D'		100	4	0					
					D'		100	4	0					
					D'		100	4	0					
					D'		100	4	0					
					D'		100	4	0					
					D'		100	4	0					
					D'		100	4	0					
					D'		100	4	0					
					D'		100	4	0					

- 1-328(分類c) ① 審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-329(分類b) ② 報告書の記載漏れを修正したため。

H27-Br-6

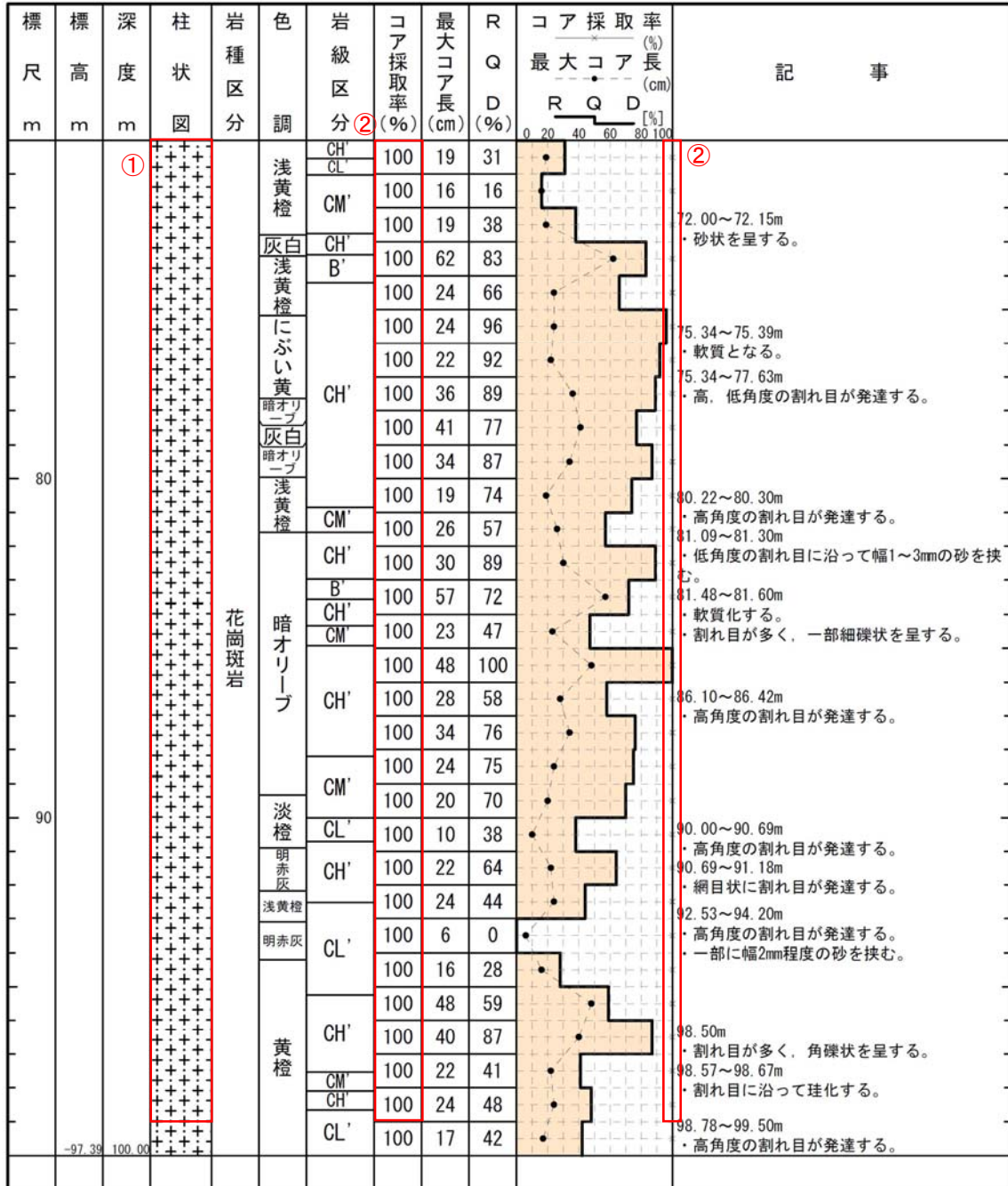
柱状図(35.00m~70.00m)



- 1-328(分類c)①
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-329(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

H27-Br-6

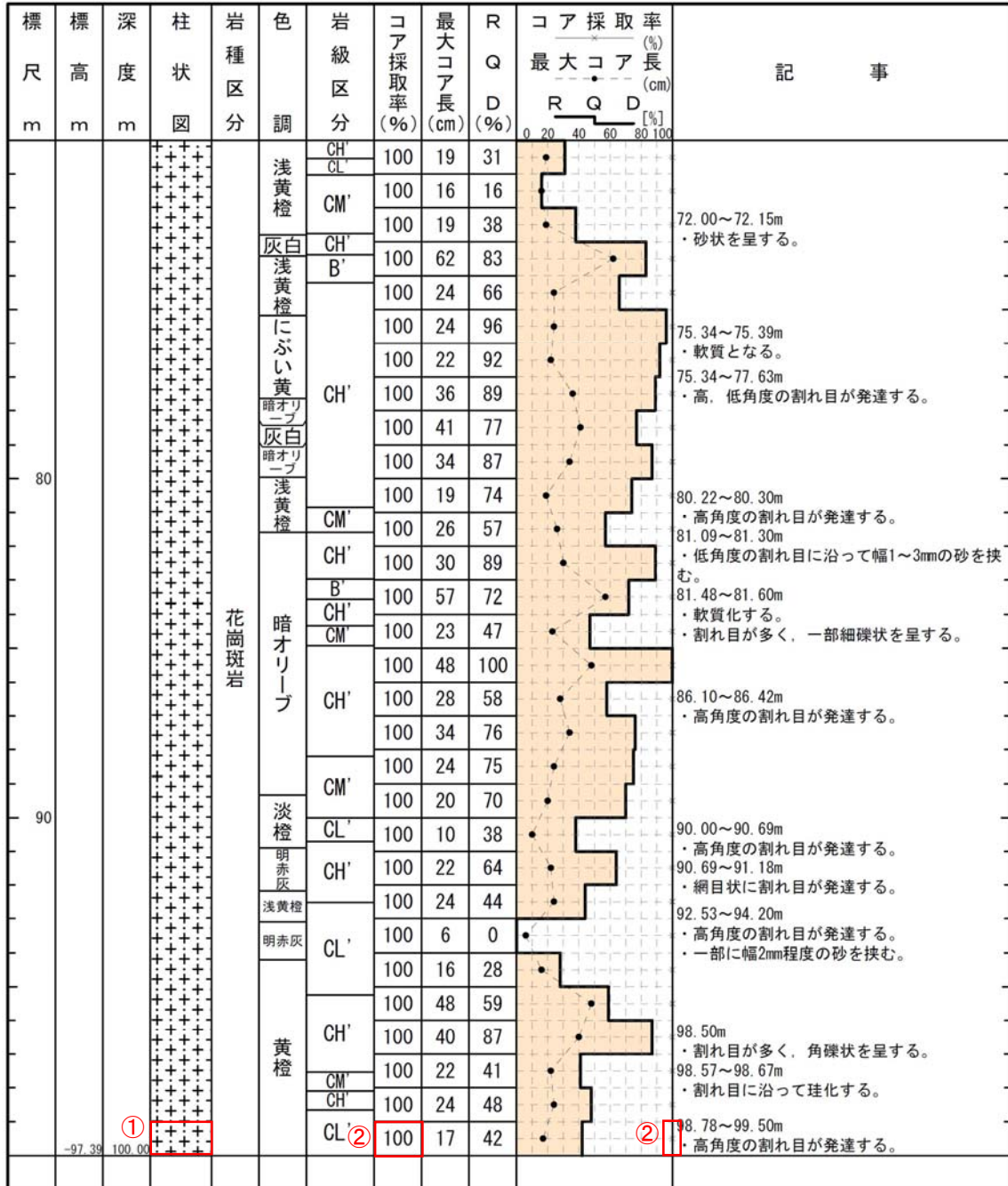
柱状図(70.00m~100.00m)



1-328(分類c)①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。
 1-329(分類b)②
 報告書の記載漏れを修正したため。

H27-Br-6

柱状図(70.00m~100.00m)



1-328(分類c) ①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。
 1-329(分類b) ②
 報告書の記載漏れを修正したため。

H27-Br-12

柱状図(0.00m~35.00m)

H27-Br-12

孔 口 標 高	T. P.	2.93m	掘 削 長	100.00m
---------	-------	-------	-------	---------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)			記 事
										最 大 コ ア 長 (cm)	R	Q	
	1.82	1.11		埋土	黒褐色にぶい黄橙	③	100					0.00~1.11m ・埋土である。	
	0.31	2.62		礫混じりシルト質砂	黄橙		100					1.11~2.62m ・礫混じりシルト質砂である。	
	0.09	2.39		シルト質砂	灰オリーブ		100					2.62~2.85m ・シルト質砂である。	
	0.09	3.47		有機質土混じりシルト質砂	黒・黄		100					2.85~3.02m ・有機質土混じりシルト質砂である。	
	-0.54	3.47		シルト質砂	灰黄		100					3.02~3.47m ・シルト質砂である。	
				礫・シルト混じり	黄灰		100					3.47~7.70m ・礫・シルト混じり砂である。	
	-4.77	7.70		シルトリ	灰にぶい黄橙		100					7.70~10.35m ・シルト混じり礫質砂である。	
	-7.42	10.35		礫混じりシルト質砂	黄灰		100					10.35~13.10m ・礫混じりシルト質砂である。	
	-10.17	13.10		礫混じり砂	灰オリーブ		100					13.10~15.22m ・礫混じり砂である。	
	-12.29	15.22		貝殻混じり砂	灰オリーブ		100					15.22~17.88m ・貝殻混じり砂である。	
	-14.95	17.88	花崗斑岩	浅黄橙	D'	100	4	7	0		17.88~100.00m ・花崗斑岩である。		
				淡黄	CL'	100	5	11	20		20.40m, 20.72m ・高、中角度の割れ目に沿って幅1mmの石英脈を挟む。		
				淡黄橙		100	18	18	35				
				浅黄		100	10	10	30				
				にぶい黄橙		100	17	17	30		24.60~24.80m ・密着した割れ目が発達する。		
				浅黄	CL'	100	9	9	0		24.80~31.90m ・低~高角度の割れ目が発達する。		
				浅黄橙にぶい黄橙	CM'	100	8	8	0		・割れ目沿いに褐色及び灰白色の粘土を挟む		
				にぶい黄橙	D'	100	7	7	0				
				淡橙	CL'	100	9	9	0				
				灰黄褐	CM'	100	25	25	45		31.92~32.96m ・高角度の密着した割れ目が発達する。		
					CM'	100	36	36	80				
				にぶい黄橙	CL'	100	9	9	0		32.72m ・幅10mmの石英脈を挟む。		
				明黄褐	CM'	100	25	25	25		33.50~39.05m ・高角度の割れ目が発達し、一部で低角度の割れ目と斜交する。		
					CL'	100	25	25	48				

- 1-330(分類c)①
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-331(分類d)②
記事欄の記載変更に伴う変更。(岩種区分の変更)
- 1-332(分類b)③
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記号	岩級区分	標準貫入試験 (N値~深度) 図		掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)	
													最大コア長 (cm)	コア採取率 (%)										
30			[Image]	花崗斑岩	淡黄緑	IVg	bg	3	28.20~28.95m: 傾斜70° 前後の割れ目が密に発達する。 28.70m: 傾斜70°の割れ目に幅2~5mmの灰白色粘土を挟在する。 29.46m: 傾斜85°の割れ目に幅1mmの褐色粘土を挟在する。 29.50~30.00m: 傾斜30°程度の割れ目が主である。 30.00~30.19m: 傾斜60°の密着した割れ目が卓越する。 30.19~31.90m: 割れ目に沿って灰白色脈を挟在する。 31.92~32.96m: 傾斜70~90°の密着した割れ目が卓越する。上端の幅4mm程度は細線状を呈す。 32.72m: 幅10mmの石英脈を挟む。 33.50~34.00m: 傾斜70°の割れ目が発達する。 34.00~34.62m: 傾斜60~70°の割れ目が卓越し、フィルム状~幅2mmの灰白色脈を挟在するものが多い。 35.00~35.16m: 傾斜70°, 30~40°の割れ目が交差する。 35.16~35.95m: 幅0.5~2mmの灰白色脈を多数挟在する。 36.30~37.16m: 傾斜70~90°の割れ目が連続する。 38.14~39.05m: 傾斜70~85°の割れ目が連続する。 40.00~40.30m: 幅0.5mm程度の方解石脈を挟在する。 40.37~41.20m: 傾斜70°程度の開口した割れ目とこれに平行な微細な割れ目が発達する。 41.20~44.20m: 傾斜70~85°の密着した割れ目が発達する。 43.20m, 43.70m: それぞれ幅10~15mm, 2mmの石英脈を挟在する。 45.00m: 幅4mmの灰白色脈を挟在する。 45.47~45.59m: 幅5mmで軟質な黒褐色のシルト~粘土及び砂混じりの細隙を挟在する。 46.77~47.65m: 高角度の割れ目が卓越する。 47.27m: 幅3mmの赤褐色のシルト~粘土及び細隙混じり砂を挟在する。 48.00~48.80m: 傾斜70°の割れ目が卓越する。 52.25~52.80m: 傾斜65~80°の割れ目が発達する。 54.40m: 幅5mmで砂状を呈する。 55.20m: 幅1mmの茶褐色の砂~粘土を挟在する。 58.40~59.38m: 破砕帯。 58.40~59.10m: 粘土混じり角礫状破砕部(H)。上端の傾斜は70°。傾斜80~85°の割れ目が多数分布し、割れ目に沿って幅2~3mmの灰白色粘土を挟在する。 59.10~59.38m: 粘土状破砕部(Hc-1)。不規則に幅が変化する。幅5~10mmの灰白色粘土及び幅5~20mmの褐色の砂混じり粘土からなる。上端の傾斜は不明。下端の傾斜85°。 59.38~59.75m: 傾斜70~85°の割れ目が卓越する。 62.56~63.28m: 酸化及び軟化が著しい。 62.64m: 幅10mmの軟質な灰色粘土を挟在する。	[Figure]		4/30	134				0.2	清水3	0					
																				5/1	133	0.2	清水5	0
40			花崗斑岩	淡黄緑	IVg	bg	2	43.20m, 43.70m: それぞれ幅10~15mm, 2mmの石英脈を挟在する。 45.00m: 幅4mmの灰白色脈を挟在する。 45.47~45.59m: 幅5mmで軟質な黒褐色のシルト~粘土及び砂混じりの細隙を挟在する。 46.77~47.65m: 高角度の割れ目が卓越する。 47.27m: 幅3mmの赤褐色のシルト~粘土及び細隙混じり砂を挟在する。 48.00~48.80m: 傾斜70°の割れ目が卓越する。 52.25~52.80m: 傾斜65~80°の割れ目が発達する。 54.40m: 幅5mmで砂状を呈する。 55.20m: 幅1mmの茶褐色の砂~粘土を挟在する。 58.40~59.38m: 破砕帯。 58.40~59.10m: 粘土混じり角礫状破砕部(H)。上端の傾斜は70°。傾斜80~85°の割れ目が多数分布し、割れ目に沿って幅2~3mmの灰白色粘土を挟在する。 59.10~59.38m: 粘土状破砕部(Hc-1)。不規則に幅が変化する。幅5~10mmの灰白色粘土及び幅5~20mmの褐色の砂混じり粘土からなる。上端の傾斜は不明。下端の傾斜85°。 59.38~59.75m: 傾斜70~85°の割れ目が卓越する。 62.56~63.28m: 酸化及び軟化が著しい。 62.64m: 幅10mmの軟質な灰色粘土を挟在する。	[Figure]		5/8	87			0.1	清水1	0							
																		5/9	87	0.1	清水1	0		
																							5/11	73
50			花崗斑岩	淡黄緑	IVg	bg	2	43.20m, 43.70m: それぞれ幅10~15mm, 2mmの石英脈を挟在する。 45.00m: 幅4mmの灰白色脈を挟在する。 45.47~45.59m: 幅5mmで軟質な黒褐色のシルト~粘土及び砂混じりの細隙を挟在する。 46.77~47.65m: 高角度の割れ目が卓越する。 47.27m: 幅3mmの赤褐色のシルト~粘土及び細隙混じり砂を挟在する。 48.00~48.80m: 傾斜70°の割れ目が卓越する。 52.25~52.80m: 傾斜65~80°の割れ目が発達する。 54.40m: 幅5mmで砂状を呈する。 55.20m: 幅1mmの茶褐色の砂~粘土を挟在する。 58.40~59.38m: 破砕帯。 58.40~59.10m: 粘土混じり角礫状破砕部(H)。上端の傾斜は70°。傾斜80~85°の割れ目が多数分布し、割れ目に沿って幅2~3mmの灰白色粘土を挟在する。 59.10~59.38m: 粘土状破砕部(Hc-1)。不規則に幅が変化する。幅5~10mmの灰白色粘土及び幅5~20mmの褐色の砂混じり粘土からなる。上端の傾斜は不明。下端の傾斜85°。 59.38~59.75m: 傾斜70~85°の割れ目が卓越する。 62.56~63.28m: 酸化及び軟化が著しい。 62.64m: 幅10mmの軟質な灰色粘土を挟在する。	[Figure]		5/9	87			0.1	清水1	0							
																		5/11	73	0.1	清水1	0		
																							5/13	120
60			花崗斑岩	淡黄緑	IVg	bg	2	43.20m, 43.70m: それぞれ幅10~15mm, 2mmの石英脈を挟在する。 45.00m: 幅4mmの灰白色脈を挟在する。 45.47~45.59m: 幅5mmで軟質な黒褐色のシルト~粘土及び砂混じりの細隙を挟在する。 46.77~47.65m: 高角度の割れ目が卓越する。 47.27m: 幅3mmの赤褐色のシルト~粘土及び細隙混じり砂を挟在する。 48.00~48.80m: 傾斜70°の割れ目が卓越する。 52.25~52.80m: 傾斜65~80°の割れ目が発達する。 54.40m: 幅5mmで砂状を呈する。 55.20m: 幅1mmの茶褐色の砂~粘土を挟在する。 58.40~59.38m: 破砕帯。 58.40~59.10m: 粘土混じり角礫状破砕部(H)。上端の傾斜は70°。傾斜80~85°の割れ目が多数分布し、割れ目に沿って幅2~3mmの灰白色粘土を挟在する。 59.10~59.38m: 粘土状破砕部(Hc-1)。不規則に幅が変化する。幅5~10mmの灰白色粘土及び幅5~20mmの褐色の砂混じり粘土からなる。上端の傾斜は不明。下端の傾斜85°。 59.38~59.75m: 傾斜70~85°の割れ目が卓越する。 62.56~63.28m: 酸化及び軟化が著しい。 62.64m: 幅10mmの軟質な灰色粘土を挟在する。	[Figure]		5/12	121			0.1	清水2	0							
																		5/13	120	0.1	清水2	0		
																							5/13	120

H27-Br-12

柱状図(0.00m~35.00m)

H27-Br-12

孔 口 標 高	T. P.	2.93m	掘 削 長	100.00m
---------	-------	-------	-------	---------

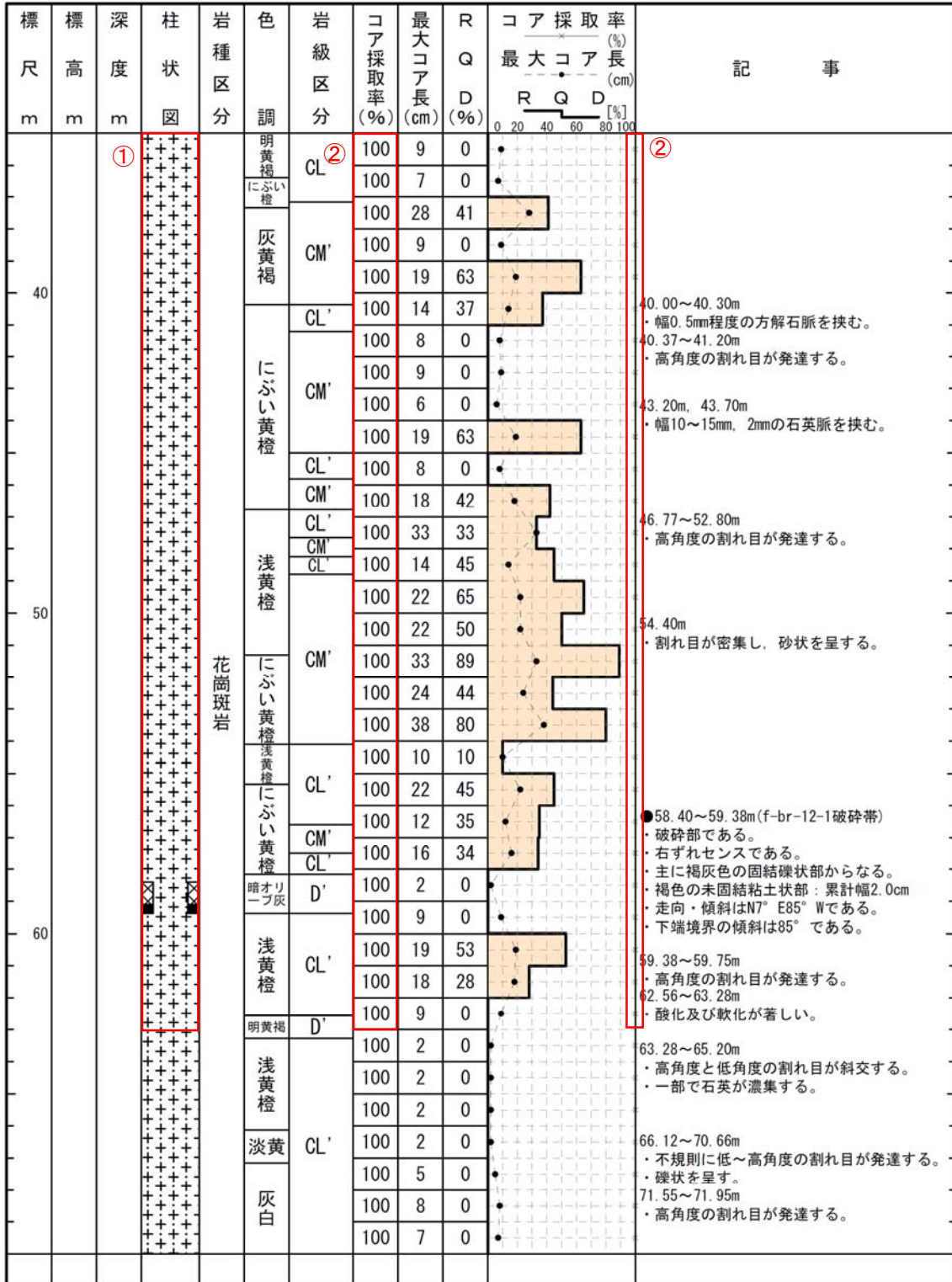
標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)			記 事
										最 大 コ ア 長 (cm)	R	Q	
	1.82	1.11		埋土	黒褐にぶい黄橙		100					0.00~1.11m ・埋土である。	
	0.31	2.62		礫混じりシルト質砂	黄橙		100					1.11~2.62m ・礫混じりシルト質砂である。	
	0.09	2.39		シルト質砂	灰オリーブ		100					2.62~2.85m ・シルト質砂である。	
	0.09	3.07		有機質混じりシルト質砂	灰オリーブ		100					2.85~3.02m ・有機質土混じりシルト質砂である。	
	-0.54	3.47		シルト質砂	灰黄		100					3.02~3.47m ・シルト質砂である。	
				礫・シルト混じり	浅黄		100					3.47~7.70m ・礫・シルト混じり砂である。	
	-4.77	7.70			黄灰		100					7.70~10.35m ・シルト混じり礫質砂である。 ・中粒砂を主体とする。	
				シルト質砂	灰にぶい黄橙		100					10.35~13.10m ・礫混じりシルト質砂である。	
10	-7.42	10.35		礫混じりシルト質砂	灰オリーブ		100					13.10~15.22m ・礫混じり砂である。	
	-10.17	13.10		有機質混じり砂	オリーブ黄		100					15.22~17.88m ・貝殻混じり砂である。 ・一部、暗褐色を呈する有機物及び腐植片を含む。	
	-12.29	15.22		貝殻混じり砂	灰オリーブ		100					17.88~100.00m ・花崗斑岩である。	
	-14.95	17.88			浅黄橙	D'	100	4	7	0		20.40m, 20.72m ・高、中角度の割れ目に沿って幅1mmの石英脈を挟む。	
20					淡黄	CL'	100	11	20			24.60~24.80m ・密着した割れ目が発達する。	
				淡黄橙	100		18	66				24.80~31.90m ・低~高角度の割れ目が発達する。 ・割れ目沿いに褐色及び灰白色の粘土を挟む	
				淡橙	100		18	35				31.92~32.96m ・高角度の密着した割れ目が発達する。	
				浅黄	100		10	30				32.72m ・幅10mmの石英脈を挟む。	
				にぶい黄橙	CM'	100	17	30				33.50~39.05m ・高角度の割れ目が発達し、一部で低角度の割れ目と斜交する。	
				浅黄	CL'	100	9	0					
				浅黄橙にぶい黄橙	CM'②	100	7	0					
				にぶい黄橙	D'	100	5	0					
				淡橙	CL'	100	9	0					
				灰黄褐	CM'	100	25	45					
				にぶい黄橙	CL'	100	36	80					
				明黄褐	CM'	100	9	0					
					CM'	100	25	25					
					CL'	100	25	48					

- 1-330(分類c)① 審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-332(分類b)② 報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記号	コア採取率 (%)	岩級区分	標準貫入試験 (N値~深度) 図		孔内水位 (m) / 測定月日	原位置試験 (孔内水平載重)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)																																																																																																																																																																																																																							
														N	値																																																																																																																																																																																																																																			
30				花崗斑岩	淡黄橙	IVg	bg	3			28.20~28.95m: 傾斜70° 前後の割れ目が密に発達する。 28.70m: 傾斜70°の割れ目に幅2~5mmの灰白色粘土を挟在する。 29.46m: 傾斜85°の割れ目に幅1mmの褐色粘土を挟在する。 29.50~30.00m: 傾斜30°程度の割れ目が主体。 30.00~30.19m: 傾斜60°の密着した割れ目が卓越する。 30.19~31.90m: 割れ目に沿って灰白色脈を挟在する。 31.92~32.96m: 傾斜70~90°の密着した割れ目が卓越する。上端の幅4mm程度は細線状を呈す。 32.72m: 幅10mmの石英脈を挟む。 33.50~34.00m: 傾斜70°の割れ目が発達する。 34.00~34.62m: 傾斜60~70°の割れ目が卓越し、フィルム状~幅2mmの灰白色脈を挟在するものが多い。 35.00~35.16m: 傾斜70°, 30~40°の割れ目が交差する。 35.16~35.95m: 幅0.5~2mmの灰白色脈を多数挟在する。 36.30~37.16m: 傾斜70~90°の割れ目が連続する。 38.14~39.05m: 傾斜70~85°の割れ目が連続する。 40.00~40.30m: 幅0.5mm程度の方解石脈を挟在する。 40.37~41.20m: 傾斜70°程度の開口した割れ目とこれに平行な微細な割れ目が発達する。 41.20~44.20m: 傾斜70~85°の密着した割れ目が発達する。 43.20m, 43.70m: それぞれ幅10~15mm, 2mmの石英脈を挟在する。 45.00m: 幅4mmの灰白色脈を挟在する。 45.47~45.59m: 幅5mmで軟質な黒褐色のシルト~粘土及び砂混じりの細隙を挟在する。 46.77~47.65m: 高角度の割れ目が卓越する。 47.27m: 幅3mmの赤褐色のシルト~粘土及び細隙混じり砂を挟在する。 48.00~48.80m: 傾斜70°の割れ目が卓越する。 52.25~52.80m: 傾斜65~80°の割れ目が発達する。 54.40m: 幅5mmで砂状を呈する。 55.20m: 幅1mmの茶褐色の砂~粘土を挟在する。 ●58.40~59.38m: 破砕帯。 58.40~59.10m: 粘土混じり角礫状破砕部(H)。上端の傾斜は70°。傾斜80~85°の割れ目が多数分布し、割れ目に沿って幅2~3mmの灰白色粘土を挟在する。 59.10~59.38m: 粘土状破砕部(Hc-1)。不規則に幅が変化する。幅5~10mmの灰白色粘土及び幅5~20mmの褐色の砂混じり粘土からなる。上端の傾斜は不明。下端の傾斜85°。 59.38~59.75m: 傾斜70~85°の割れ目が卓越する。 62.56~63.28m: 酸化及び軟化が著しい。 62.64m: 幅10mmの軟質な灰色粘土を挟在する。	0 50 100	CM'	0 10 20 30 40 50																																																																																																																																																																																																																																				
																																						IVg	cg	3	25	45	5	10	15	20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	105	110	115	120	125	130	135	140	145	150	155	160	165	170	175	180	185	190	195	200	205	210	215	220	225	230	235	240	245	250	255	260	265	270	275	280	285	290	295	300	305	310	315	320	325	330	335	340	345	350	355	360	365	370	375	380	385	390	395	400	405	410	415	420	425	430	435	440	445	450	455	460	465	470	475	480	485	490	495	500	505	510	515	520	525	530	535	540	545	550	555	560	565	570	575	580	585	590	595	600	605	610	615	620	625	630	635	640	645	650	655	660	665	670	675	680	685	690	695	700	705	710	715	720	725	730	735	740	745	750	755	760	765	770	775	780	785	790	795	800	805	810	815	820	825	830	835	840	845	850	855	860	865	870	875	880	885	890	895	900	905	910	915	920	925	930	935	940	945	950	955	960	965	970	975	980	985	990	995	1000

H27-Br-12

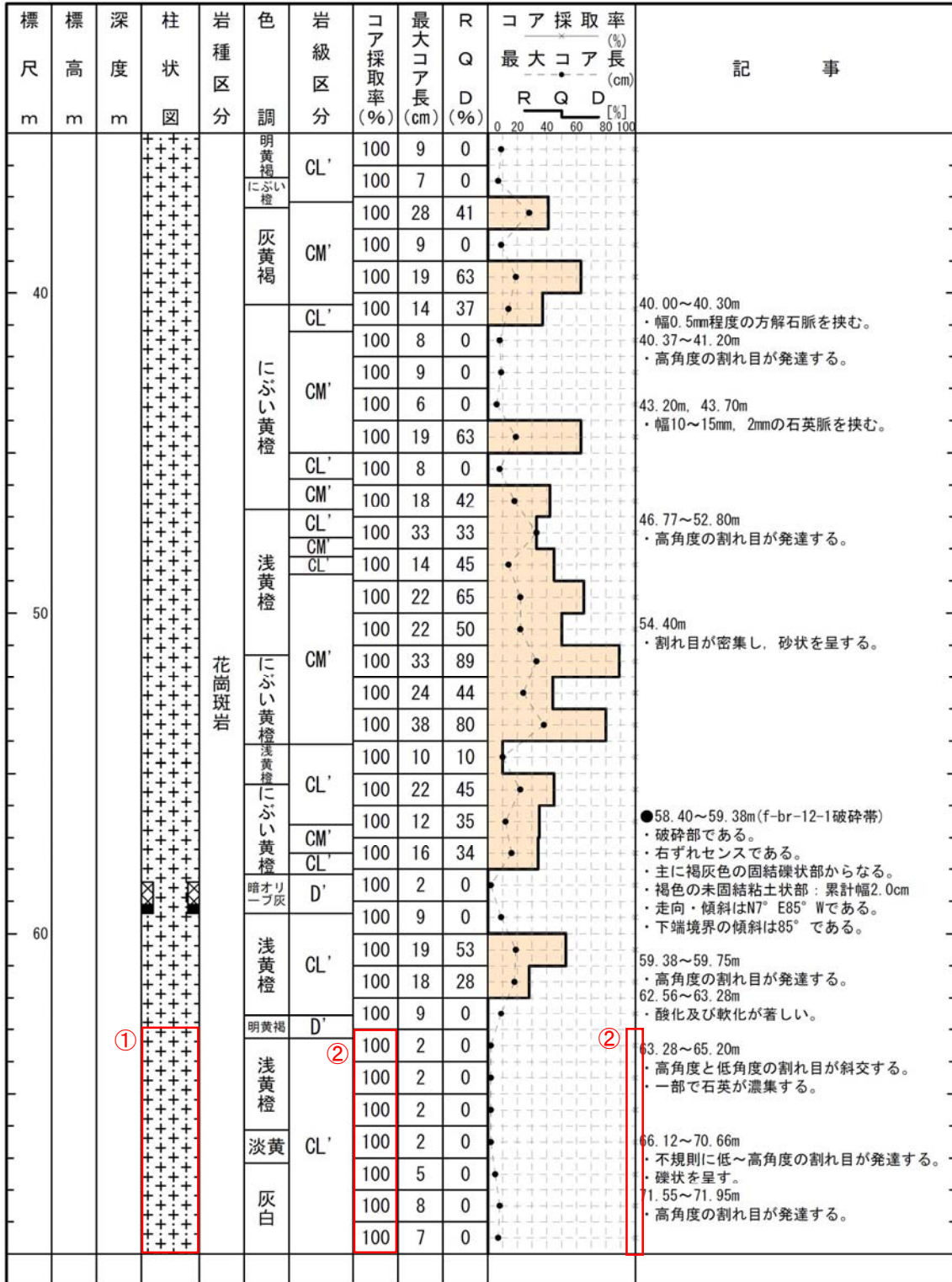
柱状図(35.00m~70.00m)



1-330(分類c)①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。
 1-332(分類b)②
 報告書の記載漏れを修正したため。

H27-Br-12

柱状図(35.00m~70.00m)




1-330(分類c)①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。
 1-332(分類b)②
 報告書の記載漏れを修正したため。

H27-Br-12

柱状図(70.00m~100.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取率 (%)	最大 コア長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										最大 コア長 (cm)	R	Q	
		①		花崗斑岩	灰白	CL'	100	3	0				<p>●71.95~72.72m (f-br-12-2破砕帯)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・破砕部である。 ・右ずれセンスである。 ・主に灰褐色の固結礫状部からなる。 ・明黄褐色の未固結粘土状部：累計幅0.7cm ・走向・傾斜はN6° W85° Wである。 ・上端境界の傾斜は80°，下端境界の傾斜は80°である。 <p>74.44~80.10m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低~高角度の割れ目が発達する。 ・岩片状を呈する。 <p>81.02~82.36m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中~高角度の割れ目が発達する。 <p>83.94~86.80m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・割れ目が密に発達する。 ・岩片状を呈する。 <p>86.80~89.26m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低角度と高角度の割れ目が斜交する。 ・一部礫状を呈する。 <p>●89.68~90.32m (f-br-12-3破砕帯)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・主に橙色の固結礫状部からなる。 ・褐色の未固結粘土状部：累計幅1.7cm ・走向・傾斜はN31° E78° NWである。 ・上端境界の傾斜は75°，下端境界の傾斜は85°である。 <p>90.35~93.53m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・割れ目が網目状に発達する。 ・一部岩片状~礫状を呈する。 <p>99.29~100.00m</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高角度と低角度の割れ目が斜交する。 ・礫状を呈する。
					灰黄褐	D' ②	100	2	0				
					淡黄		100	1	0				
					浅黄橙		100	2	0				
					にふい橙	CL'	100	2	0				
					浅黄		100	2	0				
					にふい橙		100	4	0				
					浅黄	CL'	100	9	0				
					にふい橙		100	8	0				
					浅黄		100	9	0				
					にふい橙		100	9	0				
					浅黄	CM'	100	8	0				
					にふい橙		100	9	0				
					明黄褐		100	9	0				
					浅黄橙		100	7	0				
					明褐灰		100	2	0				
					灰褐	CL'	100	2	0				
					浅黄橙		100	3	0				
					にふい黄橙		100	4	0				
					淡橙		100	2	0				
			浅黄		100	1	0						
			にふい橙	D'	100	2	0						
			灰褐		100	1	0						
			にふい橙	CL'	100	2	0						
			明赤灰		100	5	0						
					100	5	0						
					100	2	0						
					100	9	0						
					100	7	0						

- 1-330(分類c)①
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-332(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

標 尺 (m)	標 高 度 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟 状 態	割 れ 目 の 状 態	風 化 質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D └ [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) 測 定 月 日	(標準貫入) 試験 (N値~深度) 図					原 位 置 試 験 (孔内水平載荷)	室 内 試 験 日	掘 進 速 度 (cm/時)	孔 径 (mm) / 孔壁保護	コ ア チ ュー ブ / ビ ット	給 回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (L / 分)	排 水 量 (L / 分)
													0	10	20	30	40									
-97.07	100.00			花崗閃岩 に ぶ い れ の 結 晶 質	Cg Dg	Vg	cg γ	2 3	99.29~100.00mm: 傾斜70°程度と30°前後の割れ目が交差し、礫状を呈する。径3~20mmの鉱物からなる完晶質岩となる。	7 [Q]	CL								5/18	119		28.4	100	0.1	清水2	1

H27-Br-12

柱状図(70.00m~100.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取率 (%)	最大 コア長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										最大 コア長 (cm)	R	Q	
				花崗斑岩	灰白	CL'	100	3	0				<ul style="list-style-type: none"> ●71.95~72.72m(f-br-12-2破砕帯) ・破砕部である。 ・右ずれセンスである。 ・主に灰褐色の固結礫状部からなる。 ・明黄褐色の未固結粘土状部：累計幅0.7cm ・走向・傾斜はN6° W85° Wである。 ・上端境界の傾斜は80°，下端境界の傾斜は80°である。 74.44~80.10m ・低~高角度の割れ目が発達する。 ・岩片状を呈する。 81.02~82.36m ・中~高角度の割れ目が発達する。 83.94~86.80m ・割れ目が密に発達する。 ・岩片状を呈する。 86.80~89.26m ・低角度と高角度の割れ目が斜交する。 ・一部礫状を呈する。 ●89.68~90.32m(f-br-12-3破砕帯) ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・主に橙色の固結礫状部からなる。 ・褐色の未固結粘土状部：累計幅1.7cm ・走向・傾斜はN31° E78° NWである。 ・上端境界の傾斜は75°，下端境界の傾斜は85°である。 90.35~93.53m ・割れ目が網目状に発達する。 ・一部岩片状~礫状を呈する。 99.29~100.00m ・高角度と低角度の割れ目が斜交する。 ・礫状を呈する。
					灰黄褐	D'	100	2	0				
						淡黄	CL'	100	1	0			
					浅黄橙	100		2	0				
						浅黄橙	CL'	100	2	0			
					にぶい橙	100		4	0				
						浅黄	CL'	100	2	0			
					にぶい橙	100		9	0				
						浅黄	CL'	100	8	0			
					にぶい橙	100		9	0				
						浅黄	CM'	100	9	0			
					にぶい橙	100		7	0				
						明黄褐	CL'	100	2	0			
					明黄橙	100		2	0				
						明褐灰	CL'	100	3	0			
					灰褐	100		4	0				
						浅黄橙	CL'	100	2	0			
					にぶい黄橙	100		2	0				
						淡橙	D'	100	2	0			
					浅黄にぶい橙	100		1	0				
					にぶい橙	CL'	100	1	0				
				灰褐	100		5	0					
					にぶい橙	CL'	100	5	0				
				明赤灰	100		2	0					
					明赤灰	②	100	7	0				

- 1-330(分類c)①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。
 1-332(分類b)②
 報告書の記載漏れを修正したため。

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.																				
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

ボーリング名	No.10		調査位置											北緯			
発注機関											調査期間					東経	
調査業者名						主任技師						現代理人	コ鑑定者			ボーリング責任者	
孔口標高	+ 24.20 m	角	180° 上	90°	方	北 0° 西 270°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機				ハンマー 落下用具			
総掘削長	120.00 m	度	T ₀	0°	向	東 90° 南 180°			エンジン				ポンプ				

標尺 (m)	深 度 (m)	柱状区分	色調	硬軟	割れ目の状態	風化質	記 事	コア採取率 → (%) 最大コア長 → cm R Q D ↳ [%]	岩 岩 級 盤 区 分 分 類	孔内水位 (m) 測定月日	(標準貫入試験) 試験 (N 値 ~ 深度)					原位置試験 (孔内水平載荷)	室 掘 内 進 試 月 日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアカチューブ/ピット	給 送 水 水 圧 量 (kN·MPa) (rpm)	送 送 水 水 圧 量 (MPa) (l/分)	排 水 水 量 (l/分)																		
											N 値 ~ 深度																														
22.77	1.43	盛土	灰褐				礫は径1~3cm.																																		
22.53	1.67	盛土	浅黄				旧盛土. 礫、腐植質シルト混じり砂。 深度2.00~2.94m: 礫率70%、アフライトの巨礫主体。 深度2.94~3.82m: 礫率5~10%、径3cm程度の風化垂角礫を含む。																																		
22.20	2.00	旧盛土	黒褐				礫は径1~5cm程度の垂角礫。礫種は花崗斑岩。アフライト主体。 所々に、アフライトのくさり礫を含む。 基質はシルト質細~中粒砂。																																		
20.38	3.82	シルト混り砂礫	明褐				深度5.62~11.00m: 花崗斑岩。 径3~5mmの石英、長石及び径1~2mmの黒雲母の斑晶を5~20%程度含み、石基は径0.5mm程度である。																																		
18.58	5.62	明褐色硬質	明褐色				コアは岩芯まで風化を受け陸くなっている。主な節理は傾斜50~60度程度で10~30cm間隔で発達。 面には厚さ1mm以下の明褐色粘土を付着する。柱~長柱状コアを呈するが、密着した不明瞭な節理も多い。																																		
		明褐色	明褐色				深度11.00~54.50m: 花崗斑岩。 径3~10mmの石英及び径1~3mmの長石、黒雲母の斑晶を1~25%程度含み、石基は径0.1mm程度である。 深度11.50m: シーム。傾斜50度。幅6~10mm、明褐色粘土状。 深度12.08m: シーム。傾斜60度。幅4mm、明褐色粘土状。鏡肌有り。衆線方向は50度左。 深度13.01m: シーム。傾斜50度。幅5~7mm、明褐色粘土状。 深度14.47m: シーム。傾斜52度。幅5mm、やや固結した明褐色粘土状。																																		
		明褐色	明褐色				深度19.00m: 傾斜65度の節理に沿って、幅4~7mmの砂混じり橙褐色粘土 (流入粘土) を挟む。																																		
		明褐色	明褐色				深度21.55m: 石英脈幅2~3mm、傾斜65度。																																		
		明褐色	明褐色				深度25.59m (傾斜80度)、深度25.92m (傾斜70度) : 節理に沿って幅1.0~1.5mmの灰白色軟質粘土を挟む。																																		

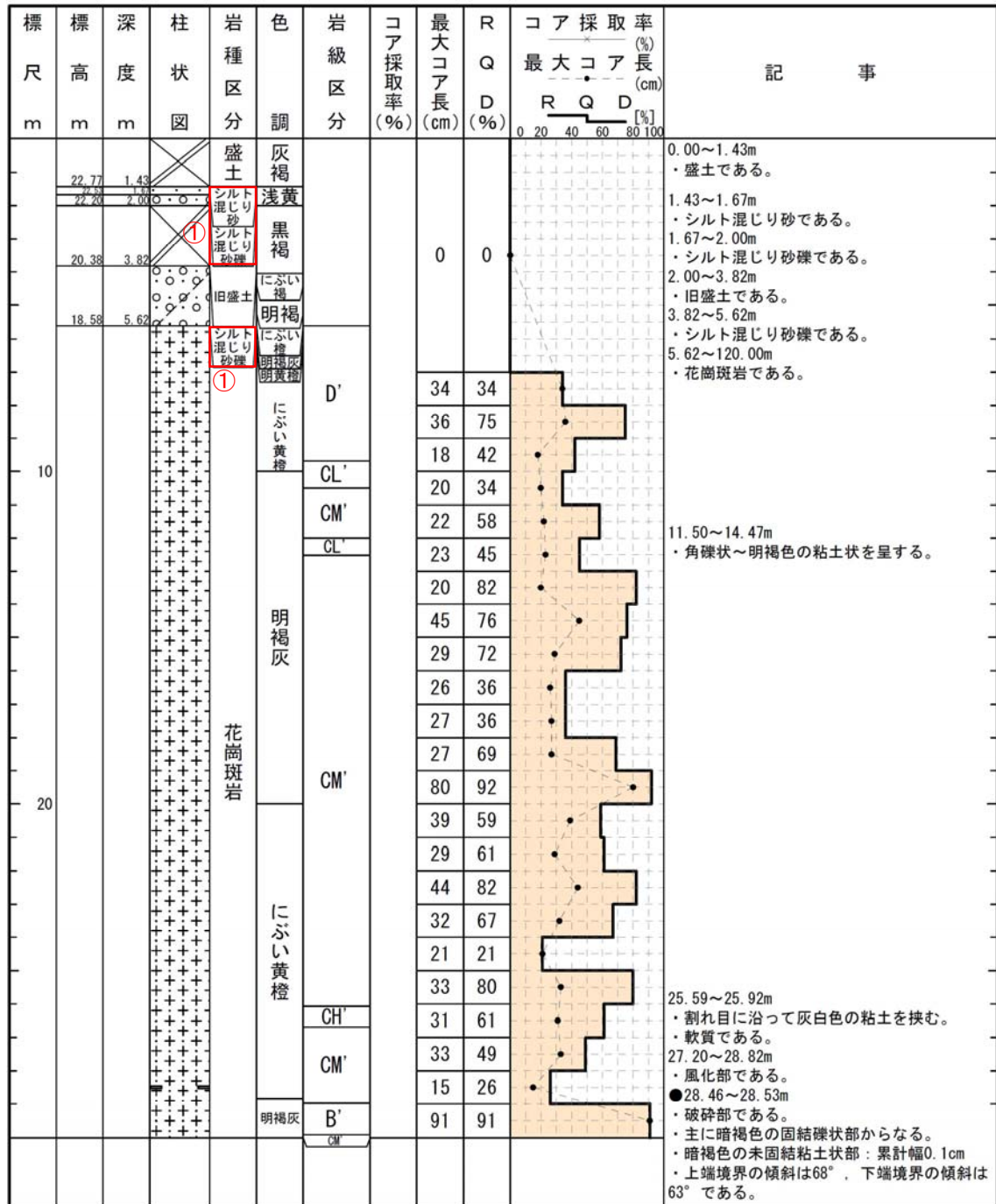
No.10(1/4)

H19-No. 10

柱状図(0.00m~30.00m)

H19-No. 10

孔口標高	T.P. 24.20m	掘削長	120.00m
------	-------------	-----	---------



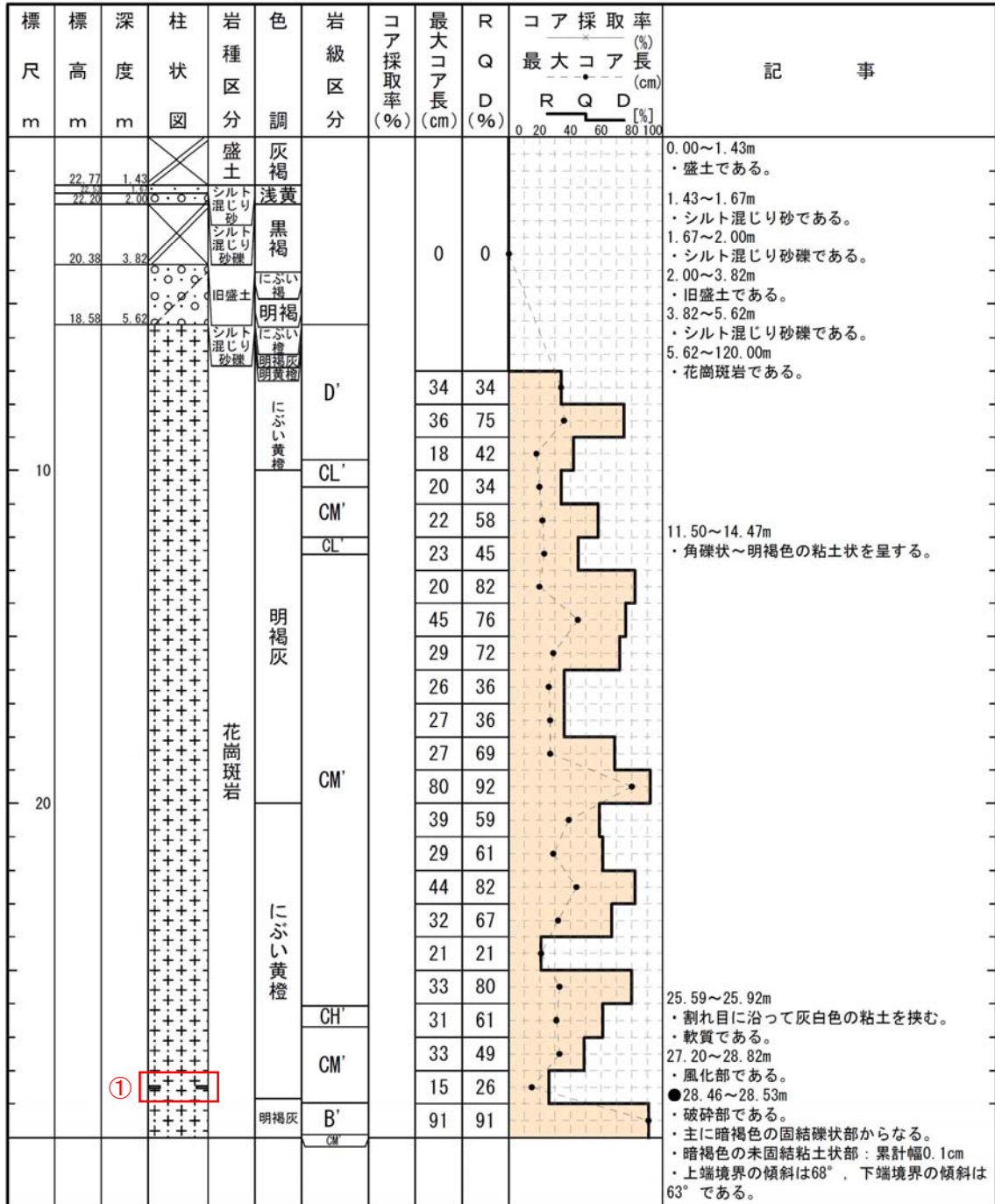
1-333~1-335(分類c)①
表現を統一したため。

H19-No. 10

柱状図(0.00m~30.00m)

H19-No. 10

孔口標高	T.P. 24.20m	掘削長	120.00m
------	-------------	-----	---------



1-336(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)

H19-No. 5

柱状図(0.00m~30.00m)

H19-No. 5

孔 口 標 高	T.P.	3.30m	掘 削 長	150.00m
---------	------	-------	-------	---------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)		記 事
										最 大 コ ア 長 (cm)	最 大 コ ア 長 (cm)	
				埋土								0.00~3.15m ・埋土である。
			①	有機質シルト	オリブ黒							3.15~3.52m ・有機質シルトである。
			②	有機質砂	灰色黒褐色							3.52~3.85m ・有機質砂である。
			②	有機質粘土混じり砂	暗灰黄							3.85~4.45m ・有機質土である。
				砂	灰黄							4.45~4.59m ・粘土混じり砂である。
					暗灰青							4.59~11.78m ・砂である。
			②	砂	黄褐							
				有機質混じり砂	灰色							11.78~13.35m ・有機質混じり砂である。
				砂	黄褐							13.35~16.00m ・砂である。
			②	シルト混じり砂	灰色							16.00~18.75m ・シルト混じり砂である。
			①	砂	灰オリブ							18.75~20.50m ・砂である。
			②	礫混じり砂	黄灰							20.50~21.45m ・礫混じり砂である。
				礫混じり砂	灰黄褐							21.45~21.85m ・礫である。
			①	砂	黒褐							21.85~22.50m ・礫混じり砂である。
			②	砂礫	灰褐							22.50~23.25m ・砂である。
				玉石混じり砂礫	黄褐							23.25~24.43m ・砂礫である。
					灰褐							24.43~28.50m ・玉石混じり砂礫である。
				礫混じり砂	明赤灰							28.50~32.44m ・礫混じり砂である。

1-337~1-340(分類c)①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。
 1-341~1-347(分類c)②
 表現を統一したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の状態	風化	変質	記 事	コア採取率 — (%) 最大コア長 cm R Q D □ [%]	岩盤区分	孔内水位(測定日)	(標準貫入試験) 試験		原位置試験 孔内水平載荷	室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔徑 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給 送 水 量 (l/分)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	送 水 量 (l/分)	排 水 量 (l/分)		
														N 値	深度												
	-25.20	28.50		玉溜り砂礫	黄褐									0	50					33.0	135	0.0	泥水3	3			
	-29.14	32.44		礫混り砂	明赤灰					礫混じり中～粗粒砂。 礫は径1～3cm。花崗斑岩、アブライトの角～亜角礫を含む。 砂の粒子は石英主体、角礫主体でやや淘汰されている。 深度31.80～31.92m：砂層を挟む。				9/13 30.00	50			212		35.0	150	0.0	泥水5	5			
	-30.13	33.43		黄灰	黄灰					深度32.44～32.76m：砂とシルトが均質に混じる。									20.0	25.0	0.0	泥水5	5				
	-30.95	34.25		明黄褐	明黄褐					径3～5cm、最大径10cmの礫を含む砂礫層。 基質はシルト質砂～中粒砂、淘汰悪い									10.0	90							
	-31.45	34.75		シルト混り砂礫	黄褐					シルトと細粒砂が均質に混じる。 全体に還元色でアブライトのクサリ礫や硬質礫を含む。 径3～5cm、最大径25cmの礫を含む砂礫層。 礫はアブライト、花崗斑岩の亜角礫を主体とする。 礫は全体に風化し、10cm以下の礫はほとんど半クサリ状態。 礫の表面は褐～黄褐色を帯びるが、径10cm以上の礫は硬質主体。 礫率は20～40%。基質はシルト混じり細粒砂で、淘汰悪い。											9/14 34.00	206	20.0	120	0.0	泥水8	8
	-38.05	41.35		明褐	明褐					深度39.91m以深、基質に径0.1～0.4cmの石英粒子多く含む。 礫径は10～20cm、最大径30cm、礫率は60%。									9/15 37.00	267	25.0	360	0.0	泥水8	8		
				黄褐	黄褐	IVg				全体に著しく風化を受け褐色化し非常に脆い。 深度41.35～54.30m：花崗斑岩。 径5～10mm程度の石英、長石、黒雲母の斑晶を10～50%程度含み、石基は径0.5mm程度である。斑晶は部分的に密集する。										9/23 38.30	267	25.0	360	0.0	泥水8	8	
				明褐	明褐	IIg	c-g			全体に風化を受け、褐色を帯び、岩質は脆い。 全体に10～20cm間隔で傾斜30～40度の節理が発達し、一部に明褐色粘土を挟む。										9/25 46.60	267	10.0	136	0.0	泥水13	13	
				黄褐	黄褐	IIIg	c-g			深度49.29m：傾斜82度の節理、幅0.5～1.5mmの灰白色粘土を挟む。 節理の周辺幅5～20mmが変質により緑灰～灰白色を帯び軟質化する。										9/25 46.60	355	25.0	130	0.0	泥水13	13	
				明褐	明褐	IVg	c-g			深度50.0～52.0m：節理面が全体に褐～暗褐色を帯びる。										9/26 55.10	355	15.0	130	0.0	泥水13	13	
				黄褐	黄褐	Ig	bg			深度52.24～54.16m：節理は厚さ1mm以下の灰白色粘土を挟む。										9/26 55.10	355	30.0	245	0.0	泥水7	7	
				明褐	明褐	IIIg	c-g			深度54.30～76.20m：花崗斑岩。 径5～10mm程度の石英主体の斑晶を1～3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。										9/27 60.05	219	20.0	132	0.0	泥水13	13	
				黄褐	黄褐	Dg	bg			深度56.21～57.67m：傾斜30～40度の節理が5～15cm間隔で発達。										9/27 60.05	219	30.0	0.0	泥水7	7		
				明褐	明褐	IIg	c-g			深度57.11～57.15m：傾斜75度及び30～90度の節理に沿って、厚さ2～3mmの暗褐色を帯びた礫混じり固結シルトを挟む。										9/27 60.05	219	35.0	360	0.0	泥水10	10	
				黄褐	黄褐	IIIg	c-g			深度60.61～61.05m：土砂状～角礫状										9/28 62.00	167	40.0	360	0.0	泥水10	10	
				明褐	明褐	IVg	c-g			深度61.40～61.45m：砂混じり細片状										9/28 62.00	167	50.0	0.0	泥水7	7		
				黄褐	黄褐	Ig	c-g													9/28 62.00	199	30.0	130	0.0	泥水7	7	

H19-No. 5

柱状図(0.00m~30.00m)

H19-No. 5

孔 口 標 高	T. P.	3.30m	掘 削 長	150.00m
---------	-------	-------	-------	---------

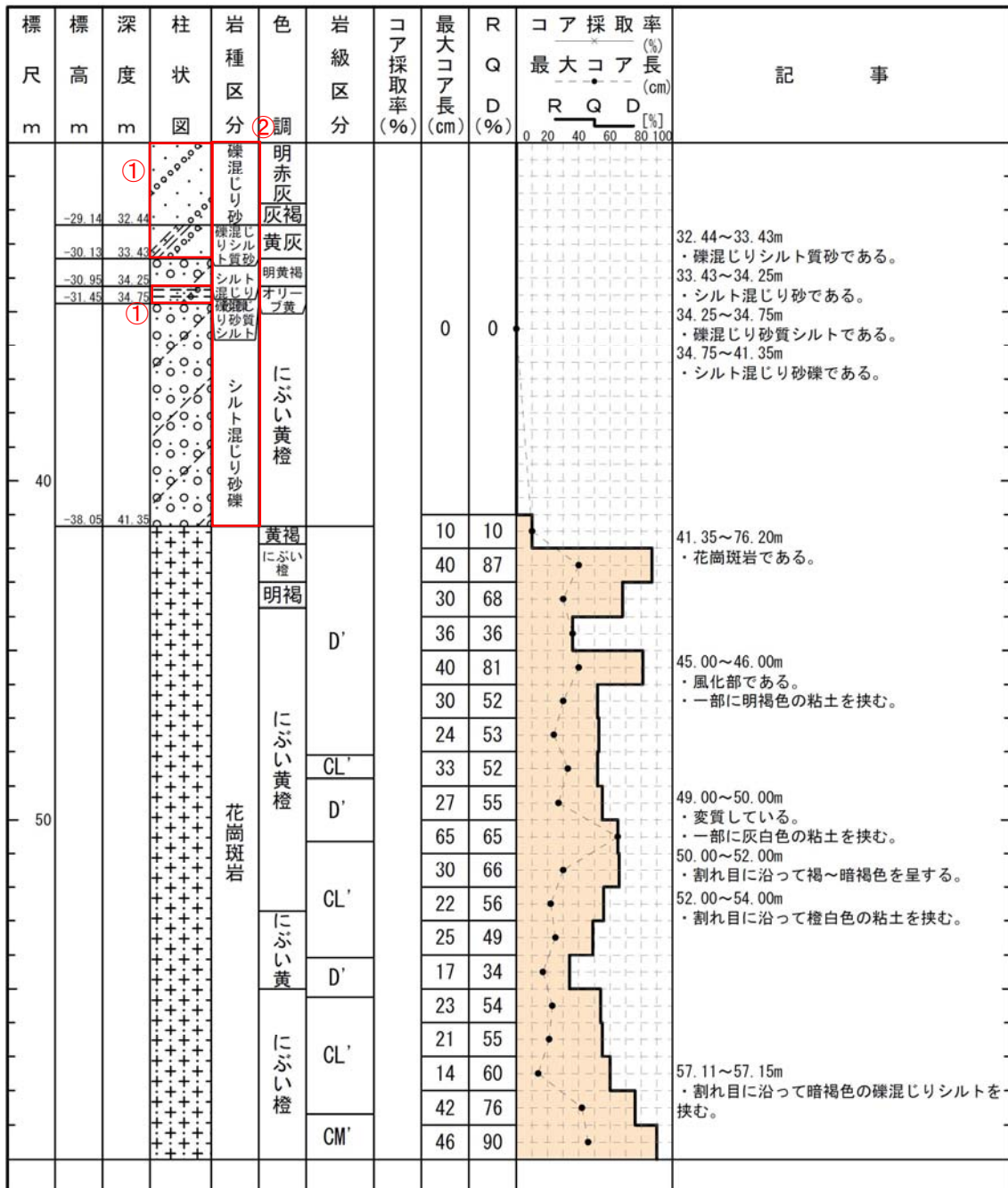
標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)		記 事
										最 大 コ ア 長 (cm)	最 大 コ ア 長 (cm)	
				埋土								0.00~3.15m ・埋土である。
		0.15		有機質シルト	オリブ黒							3.15~3.52m ・有機質シルトである。 3.52~3.85m ・有機質砂である。 3.85~4.45m ・有機質土である。 4.45~4.59m ・粘土混じり砂である。 4.59~11.78m ・砂である。 11.78~13.35m ・有機質混じり砂である。 13.35~16.00m ・砂である。 16.00~18.75m ・シルト混じり砂である。 18.75~20.50m ・砂である。 20.50~21.45m ・礫混じり砂である。 21.45~21.85m ・礫である。 21.85~22.50m ・礫混じり砂である。 22.50~23.25m ・砂である。 23.25~24.43m ・砂礫である。 24.43~28.50m ・玉石混じり砂礫である。 28.50~32.44m ・礫混じり砂である。
		-0.22		有機質シルト	灰色							
		-0.59		有機質砂	黒色							
		-1.15		有機質土	暗灰黄							
		-1.27		粘土混じり砂	黄灰							
				砂	灰黄							
					暗灰青							
				砂	黄褐							
10		-8.48		有機質混じり砂	灰色							
		-10.05		砂	黄褐							
		-12.70		シルト混じり砂	灰色							
		-15.45		砂	灰オリブ							
20		-17.20		礫混じり砂	黄灰							
		-18.15		礫混じり砂	灰黄褐							
		-18.59		礫混じり砂	褐灰							
		-19.20		砂	黒褐							
		-19.95		砂礫	灰褐							
		-21.13		玉石混じり砂礫	黄褐							
				砂礫	灰褐							
				砂礫	黄褐							
				砂礫	褐灰							
				砂礫	黄褐							
		-25.20		礫混じり砂	明赤灰							

1-348(分類c)①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。
 1-347, 1-349(分類c)②
 表現を統一したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の状態	風化	変質	記号	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D ↳ [%]	岩盤区分	孔内水位(測定日)	(標準貫入試験)試験		原位置試験 孔内水平載荷	室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給送水量 (l/分)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)		
														N 値	深度												
	-25.20	28.50		玉溜り砂礫	黄褐									0	50					33.0	135	0.0	泥水3	3			
		30		礫混り砂	明赤灰					礫混じり中～粗粒砂。 礫は径1～3cm。花崗斑岩、アブライトの角～亜角礫を含む。 砂の粒子は石英主体、角礫主体でやや淘汰されている。 深度31.80～31.92m：砂層を挟む。				50					212		35.0	150	0.0	泥水5	5		
	-29.14	32.44		灰褐						深度32.44～32.76m：砂とシルトが均質に混じる。				50					167		20.0	90	0.0	泥水8	8		
	-30.13	33.43		黄灰						径3～5cm、最大径10cmの礫を含む砂礫層。 基質はシルト質砂～中粒砂、淘汰悪い				50					9 / 14	34.00	20.0	120	0.0	泥水8	8		
	-30.95	34.25		明黄褐						径3～5cm、最大径10cmの礫を含む砂礫層。 基質はシルト質砂～中粒砂、淘汰悪い				50					9 / 15	37.00	20.0	120	0.0	泥水8	8		
	-31.45	34.75		オリーブス						シルトと細粒砂が均質に混じる。 全体に還元色でアブライトのクサリ礫や硬質礫を含む。 径3～5cm、最大径25cmの礫を含む砂礫層。 礫はアブライト、花崗斑岩の亜角礫を主体とする。 礫は全体に風化し、10cm以下の礫はほとんど半クサリ状態。 礫の表面は褐～黄褐色を帯びるが、径10cm以上の礫は硬質主体。 礫率は20～40%。基質はシルト混じり細粒砂で、淘汰悪い。				25							9 / 23	38.30	20.0	120	0.0	泥水8	8
		40		シルト混り砂礫	にぶい黄橙					深度39.91m以深、基質に径0.1～0.4cmの石英粒子多く含む。 礫径は10～20cm、最大径30cm、礫率は60%。				50					9 / 25	46.60	20.0	360	0.0	泥水13	13		
	-38.05	41.35		黄褐	にぶい橙	IVg				全体に著しく風化を受け褐色化し非常に脆い。 深度41.35～54.30m：花崗斑岩。 径5～10mm程度の石英、長石、黒雲母の斑晶を10～50%程度含み、石基は径0.5mm程度である。斑晶は部分的に密集する。				10					97 / ケーシング		25.0	136	0.0	泥水13	13		
		50		明褐	にぶい黄橙	IIg	cg			全体に風化を受け、褐色を帯び、岩質は脆い。 全体に10～20cm間隔で傾斜30～40度の節理が発達し、一部に明褐色粘土を挟む。				40					9 / 25	46.60	10.0	136	0.0	泥水13	13		
		50		にぶい黄橙	にぶい黄橙	IIIg	cg			深度49.29m：傾斜82度の節理、幅0.5～1.5mmの灰白色粘土を挟む。 節理の周辺幅5～20mmが変質により緑灰～灰白色を帯び軟化する。 深度50.0～52.0m：節理面が全体に褐～暗褐色を帯びる。				30					355		25.0	130	0.0	泥水13	13		
		50		花崗斑岩	にぶい黄	IVg	cg			深度52.24～54.16m：節理は厚さ1mm以下の灰白色粘土を挟む。				20					9 / 26	55.10	30.0	245	0.0	泥水7	7		
		50		にぶい黄	にぶい黄	IIIg	cg			深度54.30～76.20m：花崗斑岩。 径5～10mm程度の石英主体の斑晶を1～3%程度含み、石基は径0.1mm程度である。				10					219		20.0	132	0.0	泥水13	13		
		50		にぶい橙	にぶい橙	Dg	cg			深度56.21～57.67m：傾斜30～40度の節理が5～15cm間隔で発達。				10					9 / 27	60.05	30.0	360	0.0	泥水7	7		
		50		にぶい橙	にぶい橙	IVg	cg			深度57.11～57.15m：傾斜75度及び30～90度の節理に沿って、厚さ2～3mmの暗褐色を帯びた礫混じり固結シルトを挟む。				10					167		35.0	360	0.0	泥水10	10		
		60		灰褐	灰褐	IIg	cg			深度60.61～61.05m：土砂状～角礫状 深度61.40～61.45m：砂混じり細片状。				10					9 / 28	62.00	30.0	130	0.0	泥水7	7		

H19—No. 5

柱状図(30.00m～60.00m)

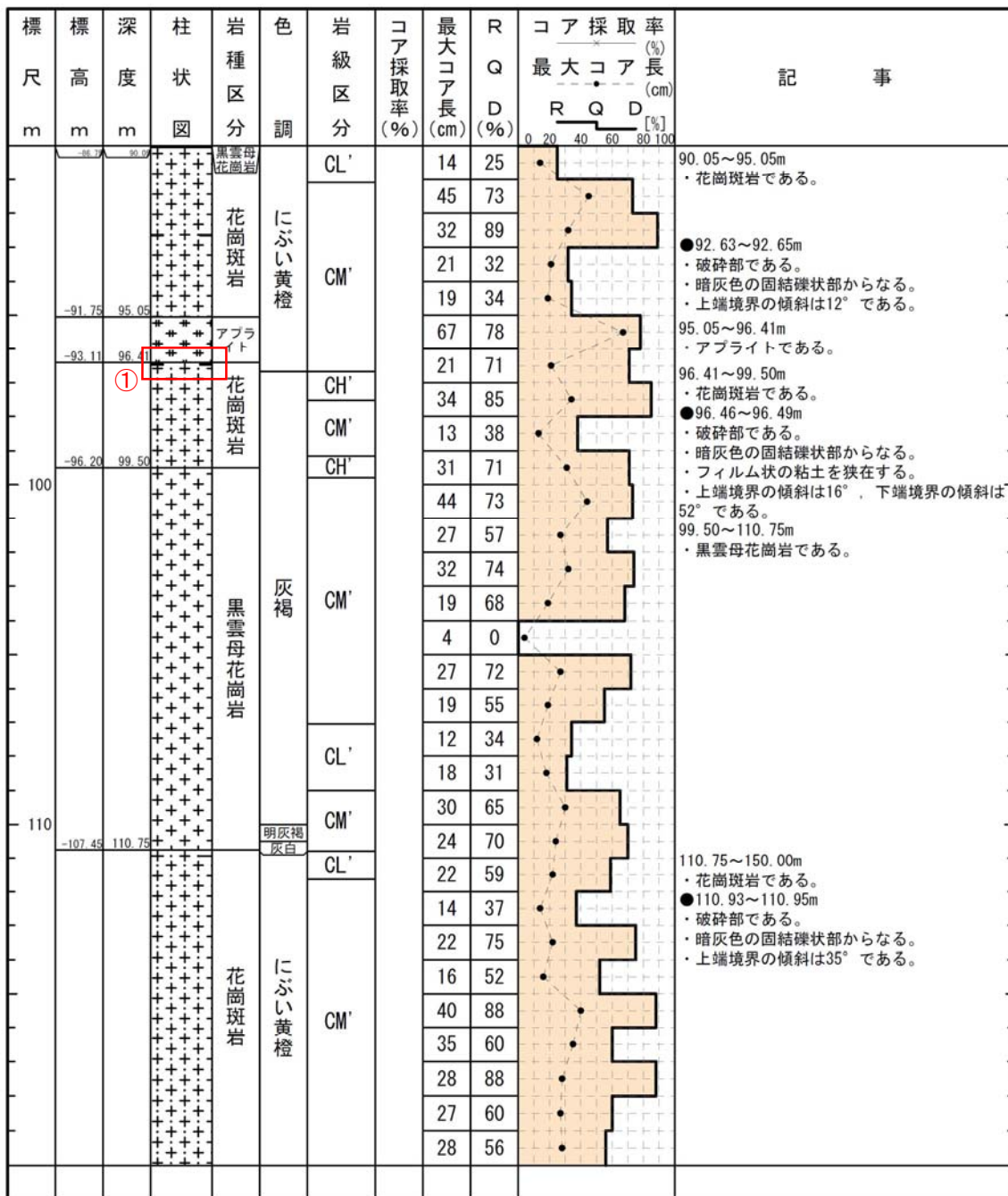


1-348, 1-350, 1-351(分類c)①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。
 1-349, 1-352～1-355(分類c)②
 表現を統一したため。

標尺	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟状	コア形状	風割れ目	変質	記号	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	岩盤区分	孔内水位 (m)	(標準貫入試験) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm)	掘進保護	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)								
															N 値	深度																		
70	72.90	76.20		花崗斑岩	灰褐	IVg, I g, IIIg, IIg	bg		2	深度63.06~63.27m: 傾斜70~80度の節理に沿って、幅1.5~2.0cmが角礫状を呈する。 深度65.0~67.2m: 柱状コア主体、傾斜25~30度の節理が5~15cm間隔で発達。 深度67.21m以深、密着した節理が多く、岩質やや脆い。 深度67.52m: シーム。傾斜80度、幅4~8mm。黄灰色礫混じりシルト混じり砂状。下盤側部分的に幅2mmの石英脈を挟む。 深度67.52~68.32m: 変質帯。岩質脆い。 深度67.90m: 傾斜76度の節理に沿って、幅0.8mmの灰白色粘土を挟む。	50	OM												30.0	130	0.0	泥水7	7						
80				花崗斑岩	明黄褐	IVg, IIIg, IIg, I g, Vg, Dg	cg		3	深度71.13~71.63m: 傾斜80~85度の節理発達。上盤側は、幅5mmの石英脈を挟む。 深度71.66m: シーム。傾斜50度、幅1~2mm暗褐色粘土状。逆断層センスの構造有り。 下盤側深度72.98mまで、傾斜65~85度の節理発達。黄白色粘土を挟む。	50	OM													40.0	130	0.0	泥水7	6					
80				黒雲母花崗岩	明褐灰	IVg, IIIg, IIg, I g, Dg	cg		7	黒雲母花崗岩。上位との境界不明瞭。 深度76.20~90.05m: 黒雲母花崗岩。径3~10mm程度の石英、長石、黒雲母の斑晶がなり、径0.2~0.5mm程度の石基を含み、花崗斑岩に近い岩相である。 深度76.30~80.00m: 斜長石は完全に粘土化、軟質。 深度76.43~78.44m: 傾斜30~45度の節理が7~25cm間隔で発達。節理及び節理周辺は、黒色を帯びる。 深度78.44~80.00m: 傾斜30度、70度前後の節理、密着節理が3~5cm間隔で発達。節理面は全体に褐色化する。 深度80.00~80.49m: 傾斜10~25度の密着した節理が1~2cm間隔で発達。指圧で開口しやすい。 深度80.50~85.00m: 傾斜30度程度の節理が7~30cm間隔で発達。節理面は酸化鉄付着し、一部は暗緑色のシルト質砂~砂質シルトが付着する。	50	OM																	45.0	360	0.0	泥水6	6	
90	91.75	95.05		花崗斑岩	明黄褐	IVg, IIIg, IIg, I g, Dg	cg		2	花崗斑岩。上位との境界不明瞭。 深度90.05~99.50m: 花崗斑岩。厚さ1.4mのアフライトを挟む。 花崗斑岩は、径3~5mm程度の石英、長石、黒雲母の斑晶を1~3%程度含み、基質は径0.1mm程度である。 深度90.20~91.09m: 傾斜15~30度の平行した節理及び密着した節理が発達。 深度91.54m: 傾斜35度の節理、厚さ6~10mmの礫混じり砂を挟む。 深度91.93m: 傾斜13度の節理、厚さ4mmの砂を挟む。 深度92.32m: 傾斜30度の節理、厚さ1mmの礫を挟む。 深度92.63~92.65m: 破砕帯(Hb)。傾斜12度、幅15mm、暗灰色砂質シルト状、一部砂状、軟質。正断層構造有り。 深度93.09~95.00m: 傾斜15~35度の平行した節理が3~15cm間隔で発達。 アフライトの上位。下位境界不明瞭。 深度95.15~95.25m: ベグマタイト。 深度96.46~96.49m: 破砕帯(Hb)。上盤側、下盤側2度。 幅35mmで暗灰色シルト混じり礫状~砂質シルト状、軟質。 深度98.02~99.06m: 傾斜20~50度の平行した節理及び密着した節理が1~10数cm間隔で発達。	50	OM																	45.0	360	0.0	泥水7	7	

H19—No. 5

柱状図(90.00m～120.00m)



1-356(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(破砕部模様の変更)

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.

事業・工事名

ボーリング名	④-4		調査位置		北緯		
発注機関				調査期間			東経
調査業者名	主任技師			現代場人			ボーリング責任者
孔口標高	+ 34.71 m	角	180° 上	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平 0°
総掘削長	35.00 m	度	90° 下	向	鉛直 90°	使用機種	エンジン
						ハンマー 落下用具	ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状区分	岩種	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	R Q D	岩盤区分	岩級	孔内水位 (m)	(標準貫入試験) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進日	孔径 (mm)	コアチューブ/ビット	給圧 (kN/MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)					
																		(N 値 ~ 深度)	(N 値)	(N 値)	(N 値)	(N 値)																
			シルト質砂	暗褐明褐							0.00~0.05m:コンクリート。 0.05~1.44m:シルト質砂。								0	0	0	0																
33.27	1.44		花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	Dg	Vg					1.44~35.00m:花崗斑岩とアブライトが互層状に分布する。両者の境界は漸移的である。花崗斑岩は、径1~20mm程度の石英、長石、径5mm以下の黒雲母の斑晶を7~20%程度含む。アブライトは、径1~5mm程度の石英、長石の斑晶を3~5%程度含む。																											
32.99	1.72		花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	Dg	Vg					1.44~9.31m:コアは軟質~やや軟質で、ハンマーで著しい濁音~濁音を発する。																											
32.74	1.97		花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	Dg	Vg					1.44~4.62m:傾斜45°及び70°程度の節理がみられる。節理に沿って灰白色粘土を伴うことが多い。																											
31.91	2.80		花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	Dg	Vg					1.62~2.00m:節理に沿ってマンガンを伴う。																											
30.59	4.12		花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	Dg	Vg					3.54~3.73m:変質帯。上盤60°、下盤70°。幅6.5cm程度。灰白色粘土が網目状に分布する。																											
30.40	4.31		花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	Dg	Vg					4.35~4.53m:変質帯。上盤65°、下盤45°。幅7.6cm程度。軟質化している。																											
28.99	5.72		花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	Dg	Vg					4.62~35.00m:傾斜20°及び75°の節理がみられる。節理に沿って褐色化し、マンガンと灰白色粘土を伴うことが多い。																											
28.84	5.87		花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	Dg	Vg					5.72~5.87m:ベグマタイト。径5~20mm程度の石英、黒雲母からなる。																											
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	Dg	Vg					6.21~6.40m:変質帯。上盤58°、下盤60°。幅9.5cm程度。軟質化している。																											
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	Dg	Vg					7.47m:シーム。傾斜65°。幅0.2cm程度の褐色。灰白色粘土からなる。																											
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	Dg	Vg					9.31~13.00m:コアはやや軟質で、ハンマーで濁音を発する。																											
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	Dg	Vg					9.56~9.62m:径5~10mm程度の石英、長石の斑晶が脈状に分布する。傾斜10°程度。																											
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	Dg	Vg					11.54~11.61m:変質帯。上盤75°、下盤70°。幅2.4cm程度。灰白色粘土が節理に沿って分布する。																											
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	Dg	Vg					11.54~11.93m:傾斜70°程度の2系統の節理が発達し、格子状を呈する。																											
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	Dg	Vg					11.85m:幅3~4mm程度の石英脈を挟む傾斜70°程度。																											
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	Dg	Vg					13.00~21.12m:コアはやや硬質で、ハンマーでにぶい金属音を発することが多い。																											
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	Dg	Vg					14.24~14.74m:節理に沿ってマンガンが濃集する。																											
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	Dg	Vg					14.78~15.43m:有色鉱物を中心に斑点状に褐色化している。																											
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	Dg	Vg					19.06~19.64m:変質帯。上盤60°、下盤70°。幅29cm程度。微細な節理が発達している。																											
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	Dg	Vg					19.06~19.93m:傾斜80°程度の節理が発達している。																											
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	Dg	Vg					20.00~20.23m:節理に沿ってマンガンを伴う。																											
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	Dg	Vg					21.12~22.72m:コアは硬質で、ハンマーで金属音を発する。																											
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	Dg	Vg					22.72~28.75m:コアはやや軟質~やや硬質で、ハンマーで濁音~にぶい金属音を発する。																											
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	Dg	Vg					23.24m:節理に沿ってマンガンが濃集する。																											
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	Dg	Vg					24.56~24.59m:破砕帯(Hc)。上盤66°、下盤70°。幅1cm程度。淡褐色。灰白色粘土からなる。																											
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	Dg	Vg					24.78m:シーム。傾斜76°。幅0.2cm程度の黄白色。灰白色粘土からなる。																											

H20-④-4

柱状図(0.00m~35.00m)

H20-④-4

孔口標高	T.P.	34.71m	掘削長	35.00m
------	------	--------	-----	--------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取率 (%)	最大 コア長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	R Q D [%]	記 事
		①	シルト質砂	暗褐 明褐	②	CL'	100	7	0	0	0	0.00~1.44m ・シルト質砂である。
	33.27	1.44	花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	D'	CL'	100	7	0	0	0	1.44~1.72m ・花崗斑岩である。
	31.91	2.80	花崗斑岩 アブライト	灰白	CL'	CL'	100	13	13	0	0	1.72~1.97m ・アブライトである。
	30.59	4.12	花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	D'	D'	100	21	32	0	0	1.97~2.80m ・中角度~高角度の割れ目が発達する。 ・割れ目に沿って白色の粘土を伴う。 ・軟質である。
	28.99	5.72	花崗斑岩 アブライト	灰白	CL'	CL'	100	17	17	0	0	2.80~4.12m ・変質している。
	25.66	9.05	花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	D'	D'	100	13	35	0	0	4.12~5.72m ・割れ目に沿って灰白色の粘土を網目状に挟む。
	23.56	11.15	花崗斑岩 アブライト	灰白	CL'	CL'	100	18	58	0	0	5.72~9.05m ・変質している。
	21.54	13.17	花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	D'	D'	100	18	29	0	0	9.05~11.15m ・軟質である。
	20.68	14.03	花崗斑岩 アブライト	淡橙	CL'	CL'	100	19	45	0	0	11.15~13.17m ・軟質である。
	18.77	15.94	花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	D'	D'	100	9	0	0	0	13.17~15.94m ・ベグマタイトである。
	15.41	19.30	花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	CM'	CM'	100	23	23	0	0	15.94~18.77m ・花崗斑岩が主体である。
	11.41	23.30	花崗斑岩 アブライト	浅黄	CL'	CL'	100	27	82	0	0	18.77~20.68m ・変質している。
	8.59	26.12	花崗斑岩 アブライト	灰白	CL'	CL'	100	23	33	0	0	20.68~21.54m ・軟質である。
	5.06	29.65	花崗斑岩 アブライト	浅黄	CL'	CL'	100	21	33	0	0	21.54~23.30m ・アブライトである。
	4.30	30.41	花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	CM'	CM'	100	18	28	0	0	23.30~25.66m ・変質している。
	3.11	31.60	花崗斑岩 アブライト	灰白	CL'	CL'	100	13	57	0	0	25.66~28.99m ・割れ目が発達し、格子状を呈する。 ・割れ目に沿って灰白色の粘土を挟む。
	-0.29	35.00	花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	CH'	CH'	100	7	0	0	0	28.99~30.59m ・変質している。
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	CL'	CL'	100	18	29	0	0	30.59~31.91m ・高角度の割れ目が発達する。
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	CH'	CH'	100	31	67	0	0	31.91~33.27m ・アブライトである。
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	CL'	CL'	100	30	88	0	0	33.27~33.91m ・硬質である。
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	CL'	CL'	100	13	23	0	0	33.91~34.65m ・やや軟質~やや硬質である。
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	CL'	CL'	100	11	21	0	0	34.65~35.00m ・花崗斑岩である。
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	CL'	CL'	100	9	0	0	0	35.00~35.72m ・破砕部である。
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	CL'	CL'	100	8	0	0	0	35.72~36.46m ・淡桃色の未固結粘土状部からなる。この累 計幅は1.0cmである。
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	CL'	CL'	100	17	30	0	0	36.46~37.20m ・走向・傾斜はN4° E71° Wである。
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	CL'	CL'	100	14	24	0	0	37.20~38.94m ・上端境界の傾斜は66°、下端境界の傾斜は 70°である。
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	CL'	CL'	100	7	0	0	0	38.94~39.68m ・アブライトである。
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	CL'	CL'	100	7	0	0	0	39.68~40.42m ・高角度の割れ目が発達する。
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	CL'	CL'	100	9	0	0	0	40.42~41.16m ・軟質である。
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	CL'	CL'	100	9	0	0	0	41.16~41.90m ・花崗斑岩である。
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	CL'	CL'	100	6	0	0	0	41.90~42.64m ・アブライトである。
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	CL'	CL'	100	7	0	0	0	42.64~43.38m ・高角度の割れ目が発達している。
			花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	CL'	CL'	100	7	0	0	0	43.38~44.12m ・割れ目に沿って褐~白色の粘土を挟む。

- 1-357(分類c)①
審査資料作成の際に模様を見直したため。
- 1-358(分類b)②
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風質	変質	記事	コア採取率 (%)	岩盤区分	岩級分類	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入試験) 試験					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ピット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (l/分)	排水量 (l/分)					
												最大コア長 (cm)				N 値 ~ 深度																				
												0 50 100				0 10 20 30 40 50																				
	8.59	26.12	花崗斑岩	アフリイト	浅黄橙	IV g		δ	3		26.44m シーム。傾斜 0°。幅 0.2cm 程度の明褐色粘土からなる。	0 50 100																								
	5.06	29.65	花崗斑岩	アフリイト	灰白	IV g					28.75~35.00m: コアはやや軟質で、ハンマーで濁音を発する。 29.00~35.00m: 傾斜 75° 程度の節理が発達している。	0 50 100																								
	4.30	30.41	花崗斑岩	アフリイト	浅黄橙	cg		γ	3		30.41m: 径 2~5mm 程度の長石の斑晶が脈状に分布する。傾斜 56° 程度。	0 50 100	CL	[CL]									125	76		ダブルコアチューブ / ダイアピット	30.0	200	0.0							
	3.11	31.60	花崗斑岩	アフリイト	浅黄橙	IV g					32.51m シーム。傾斜 83°。幅 0.1cm 程度の暗灰色、明褐色、白色粘土からなる。周辺は同系統の節理が発達している。	0 50 100																								
											33.96~35.00m: 節理に沿ってマンガンに伴う。	0 50 100																								
											34.13m シーム。傾斜 82°。幅 0.1cm 程度の褐色、白色粘土からなる。周辺は微細な節理が発達している。	0 50 100																								
	-0.29	35.00																																		

H20-④-4

柱状図(0.00m~35.00m)

H20-④-4

孔口標高	T.P.	34.71m	掘削長	35.00m
------	------	--------	-----	--------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R D (%)	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm)	R Q D [%]	記事
	33.27	1.44	シルト質砂	暗褐 明褐			100	7	0			0.00~1.44m ・シルト質砂である。
	31.91	2.80	花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	CL'		100	7	0			1.44~1.72m, 1.97~2.80m, 4.12~4.31m ・花崗斑岩である。
	30.59	4.12	花崗斑岩 アブライト	灰白	CL'		100	13	13			1.72~1.97m, 2.80~4.12m, 4.31~5.72m ・アブライトである。
	28.99	5.72	花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	D'		100	21	32			1.44~9.31m ・中角度~高角度の割れ目が発達する。 ・割れ目に沿って白色の粘土を伴う。 ・軟質である。
	25.66	9.05	花崗斑岩 アブライト	灰白	D'		100	13	35			3.54~3.73m ・変質している。 ・割れ目に沿って灰白色の粘土を網目状に挟む。
	23.56	11.15	花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	CL'		100	18	58			4.35~4.53m ・変質している。 ・軟質である。
	21.54	13.17	花崗斑岩 アブライト	淡橙	CL'		100	19	45			5.72~5.87m ・ベグマタイトである。
	20.68	14.03	花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	CM'		100	23	23			5.87~19.30m ・花崗斑岩が主体である。
	18.77	15.94	花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	CM'		100	23	33			6.21~6.40m ・変質している。 ・軟質である。
	15.41	19.30	花崗斑岩	浅黄	CL'		100	21	33			9.05~11.15m, 13.17~13.58m, 14.03~15.94m ・アブライトである。
	11.41	23.30	花崗斑岩	灰白	CL'		100	13	28			11.54~11.61m ・変質している。 ・割れ目が発達し、格子状を呈する。 ・割れ目に沿って灰白色の粘土を挟む。
	8.59	26.12	花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	CL'		100	7	0			19.06~19.93m ・変質している。 ・高角度の割れ目が発達する。
	5.06	29.65	花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	CH'		100	18	29			19.30~23.30m ・アブライトである。
	4.30	30.41	花崗斑岩 アブライト	浅黄橙	CH'		100	31	67			21.12~22.72m ・硬質である。
	3.11	31.60	花崗斑岩	浅黄橙	CL'		100	30	88			22.72~28.75m ・やや軟質~やや硬質である。
	-0.29	35.00	花崗斑岩	浅黄橙	CL'		100	13	23			23.30~26.12m ・花崗斑岩である。
							100	8	0			24.56~24.59m ・破砕部である。 ・淡桃色の未固結粘土状部からなる。この累 計幅は1.0cmである。
							100	17	30			・走向・傾斜はN4° E71° Wである。 ・上端境界の傾斜は66°、下端境界の傾斜は 70°である。
							100	14	24			26.12~29.65m ・アブライトである。
							100	7	0			28.75~35.00m ・高角度の割れ目が発達する。 ・軟質である。
							100	9	0			29.65~30.41m, 31.60~35.00m ・花崗斑岩である。
							100	6	0			30.41~31.60m ・アブライトである。
							100	7	0			33.96~35.00m ・高角度の割れ目が発達している。 ・割れ目に沿って褐~白色の粘土を挟む。

1-358(分類b)①
報告書の記載漏れを修正したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コップ目状	風割れ目状	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 R Q D L [%]	岩級区分	孔内水位 (m) 測定月日	標準貫入) 試験 (N 値 ~ 深度) 図					原位置試験 (孔内水平距離)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ピット	給圧 (kN / MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	排水量 (L / 分)	水量 (L / 分)																		
														0	10	20	30	40												50																	
20	-7.42	15.82		灰白 灰						<p>15.82~16.05m: 砂礫である。細礫が主体となる。上端に幅30mmの粘土混じりシルトを挟在する。下端に径10~50mmの角礫を含む。</p> <p>16.05~16.24m: 有機質シルトである。</p> <p>全体に有機物に富む。</p> <p>16.24~18.18m: 硬質砂である。礫は径2~5mmの石英が主体となる。径50mmまでの花崗斑岩の礫も含む。</p> <p>18.06~18.15m: 有機物片が点在する。</p> <p>18.18~18.49m: 礫混じりシルト質砂である。</p> <p>中~粗粒砂が主体となる。径2~4mmの細礫を含む。全体に炭化物が散在する。</p> <p>18.49~19.29m: 礫混じり砂である。径30~50mmの礫が混じる。</p> <p>19.29~19.52m: 礫混じり粘土質シルトである。</p> <p>径2~5mmの石英 粗粒砂が混じる。</p> <p>19.52~21.40m: 砂である。</p> <p>21.40~21.72m: 礫混じり砂質シルトである。</p> <p>2~3mmの細礫が主体となる。下部に径10mm程度の礫が分布する。炭化物片が点在する。</p> <p>21.72~24.26m: 礫混じりシルト質砂である。</p> <p>礫は径2~5mmの細礫が主体となる。</p> <p>22.55~23.45m: 砂質シルトと礫混じりシルト質砂の互層である。</p> <p>24.26~25.03m: 礫混じりシルト質粘土である。</p> <p>24.26~24.61m: 花崗斑岩の礫が混じる。</p> <p>25.03~28.93m: 砂礫である。径10~50mm(最大400mm)の花崗斑岩 垂門~垂角礫を50~70%含む。大半の礫が半クサリ礫化する。基質はシルトの混じる細~中粒砂が主体である。</p> <p>全体に酸化汚染を受け、一様に明黄褐色~黄褐色化している。</p> <p>26.18~26.64m: 花崗斑岩礫を含む。黄褐色を帯びる弱風化礫からなる。</p> <p>28.93~31.42m: 玉石混じり砂礫である。</p> <p>30.08~31.09m: 径200~300mmの弱風化した花崗斑岩礫を多く含む。マンガンが濃集する。</p> <p>31.09~31.42m: 径5~25mm程度の花崗斑岩半クサリ礫が主体である。下位ほど礫を多く含み、礫率は20~60%程度である。</p> <p>31.42~51.12m: 花崗斑岩である。石英・長石の斑晶が数%程度含まれる。斑晶は径2~6mm(最大10mm)程度である。長石類は白濁し軟質化している。</p> <p>32.48~33.40m: 風化変質を強く受け、岩組織・割れ目は消滅する。灰白色を呈する。</p> <p>33.37m: 灰白色の砂混じり粘土状を呈する。傾斜は50°、幅は20mmからなる。非常に軟質である。</p> <p>●34.65~35.72m: 破砕部。破砕幅は79.5cmである。</p> <p>34.65~35.60m: 灰白色の固結した礫状部からなる。上端境界の傾斜は56°である。</p> <p>35.60~35.61m: 灰白色の固結した粘土状部からなる。上端境界の傾斜は42°、下端境界の傾斜は65°である。</p> <p>35.61~35.72m: 灰白色の固結した礫状部からなる。下端境界の傾斜は58°である。</p> <p>35.72~41.52m: 全体に風化・変質し、軟化している。長石類は白濁し有色鉱物は褐色化している。</p>																																					
		-7.63	16.05		明黄褐 灰																																										
		-7.80	16.24		砂礫 灰																																										
		-9.56	18.18		明黄褐 灰																																										
		-9.84	18.49		砂礫 灰																																										
		-10.56	19.29		砂礫 灰																																										
		-10.77	19.52		砂 灰																																										
		-12.47	21.40		砂 灰																																										
		-12.76	21.72		砂 灰																																										
		-15.07	24.26		砂 明黄褐 灰																																										
		-15.76	25.03		砂 明黄褐 灰																																										
		-19.30	28.93		砂 明黄褐 灰																																										
		-21.56	31.42		砂 明黄褐 灰																																										
	30				明黄褐 灰																																										
					明黄褐 灰																																										
					明黄褐 灰																																										
					明黄褐 灰																																										
					明黄褐 灰																																										
					明黄褐 灰																																										
					明黄褐 灰																																										
					明黄褐 灰																																										
				明黄褐 灰																																											
				明黄褐 灰																																											
			明黄褐 灰																																												

H24-B8-15

柱状図(0.00m~30.00m)

H24-B8-15

孔 口 標 高	T.P.	6.92m	掘 削 長	70.00m
---------	------	-------	-------	--------

標 尺 m	標 高 m	深 度 m	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	岩 級 区 分	コ ア 採 取 率 (%)	最 大 コ ア 長 (cm)	R Q D (%)	コ ア 採 取 率 (%)			記 事			
										最 大 コ ア 長 (cm)	R	Q		D		
										0	20	40	60	80	100	
		-4.54	12.64													0.00~12.64m ・コア欠。
		-7.42	15.82	礫質砂	明オリ ニブ灰		100	100								12.64~15.82m ・礫質砂である。
		-7.42	15.82	①	明オリ ニブ灰		100	100								
		-7.42	15.82	②	明オリ ニブ灰		100	100								
		-7.42	15.82	砂礫	明黄褐 灰		100	100								15.82~16.05m ・砂礫である。
		-7.42	15.82	礫・砂 混じり 有機質 シルト	明黄褐 灰		100	100								16.05~16.24m ・礫・砂混じり有機質シルトである。
		-9.56	18.18	砂礫	明黄褐 灰		100	100								16.24~18.18m ・礫質砂である。
		-10.56	19.29	礫質砂	明黄褐 灰		100	100								18.18~18.49m ・礫混じりシルト質砂である。
		-12.47	21.40	礫混じり シルト 質砂	明黄褐 灰		100	100								18.49~19.29m ・礫混じり砂である。
		-12.78	21.72	礫混じり シルト	明黄褐 灰		100	100								19.29~19.52m ・礫混じり粘土質シルトである。
		-15.07	24.26	砂	明黄褐 灰		100	100								19.52~21.40m ・砂である。
		-15.76	25.03	礫混じり シルト 質砂	明黄褐 灰		100	100								21.40~21.72m ・礫混じり砂質シルトである。
		-19.30	28.93	礫混じり シルト 質粘土	明黄褐 灰		100	100								21.72~24.26m ・礫混じりシルト質砂である。
		-19.30	28.93	礫混じり シルト 質粘土	明黄褐 灰		100	100								24.26~28.93m ・礫混じりシルト質粘土である。
		-19.30	28.93	礫混じり シルト 質粘土	明黄褐 灰		100	100								24.61~25.03m ・礫混じりシルト質粘土である。
		-19.30	28.93	砂礫	明黄褐 灰		100	100								25.03~28.93m ・砂礫である。
		-19.30	28.93	砂礫	明黄褐 灰		100	100								28.93~31.42m ・玉石混じり砂礫である。

- 1-359(分類d)①
記事欄の記載変更に伴う変更。(柱状図模様の変更)
- 1-360(分類d)②
記事欄の記載変更に伴う変更。(岩種区分の変更)

H24-B8-35

柱状図(0.00m~30.00m)

H24-B8-35

孔口標高	T.P.	7.15m	掘削長	50.00m
------	------	-------	-----	--------

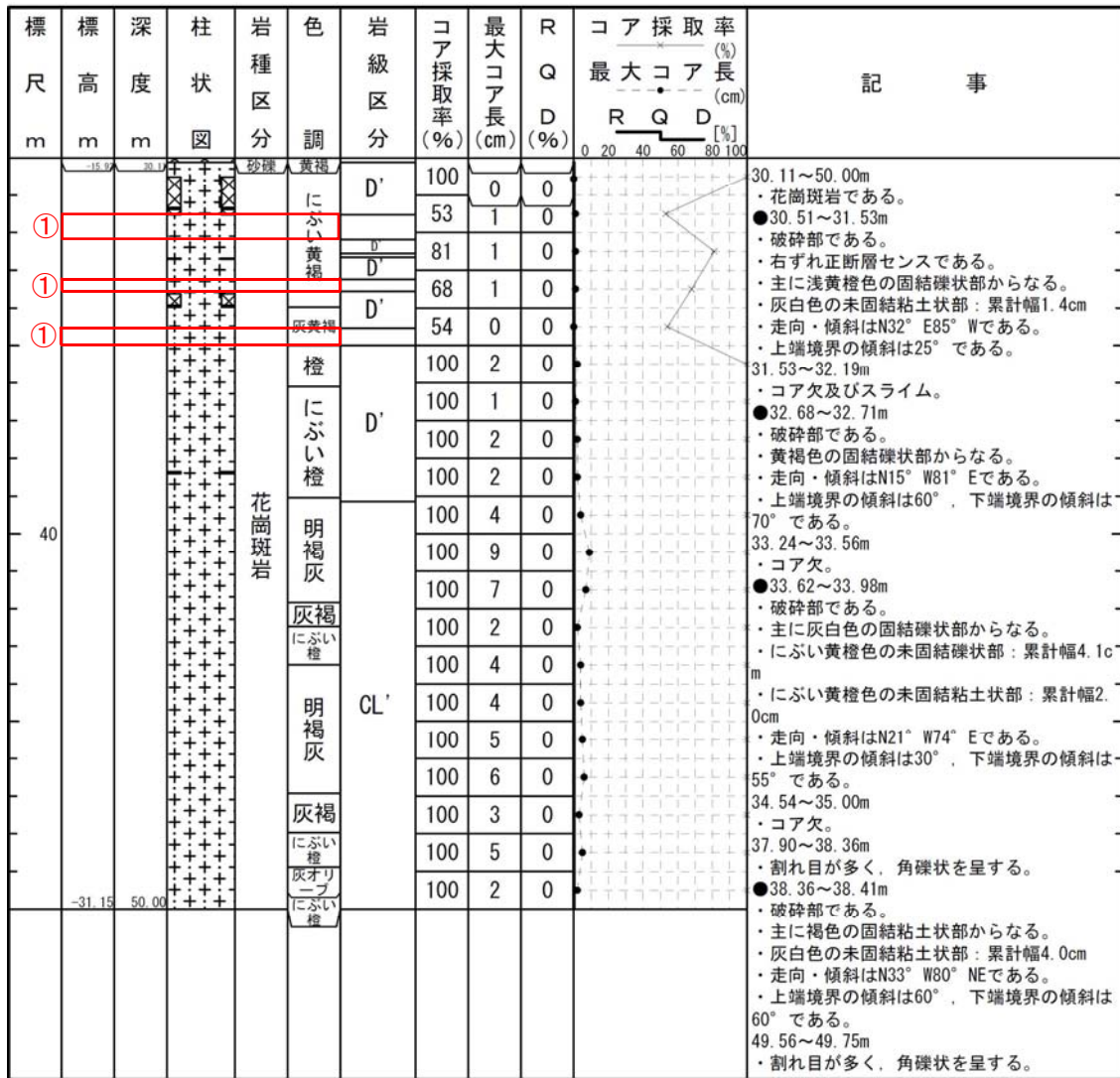
標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色 調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										最大 コア 長 (cm)	R	Q	
				埋戻し土	黒褐		100						0.00~2.05m ・埋戻し土である。
	5.58	2.05		盛土	にぶい黄褐		100						2.05~6.65m ・盛土である。
		2.05		盛土	にぶい黄褐		100						6.65~6.90m ・粘土混じり砂である。
		6.65		盛土	にぶい黄褐		100						6.90~7.20m ・砂混じり粘土である。
		7.20		盛土	にぶい黄褐		100						7.20~8.08m ・砂である。
		8.08		盛土	にぶい黄褐		100						8.08~8.69m ・高有機質土である。
		8.69		盛土	にぶい黄褐		100						8.69~9.92m ・有機物混じり砂である。
		9.92		盛土	にぶい黄褐		100						9.92~10.40m ・高有機質土である。
		10.40		盛土	にぶい黄褐		100						10.40~11.78m ・砂である。
		11.78		盛土	にぶい黄褐		100						11.78~12.60m ・高有機質土である。
		12.60		盛土	にぶい黄褐		100						12.60~13.13m ・砂である。
		13.13		盛土	にぶい黄褐		100						13.13~13.48m ・砂である。
		13.48		盛土	にぶい黄褐		100						13.48~13.58m ・スライム。
		13.58		盛土	にぶい黄褐		100						13.58~15.35m ・砂である。
		15.35		盛土	にぶい黄褐		100						15.35~17.21m ・礫混じり砂である。
		17.21		盛土	にぶい黄褐		100						17.21~17.56m ・砂である。
		17.56		盛土	にぶい黄褐		100						17.56~17.73m ・砂混じりシルトである。
		17.73		盛土	にぶい黄褐		100						17.73~20.34m ・砂である。
		20.34		盛土	にぶい黄褐		100						20.34~20.76m ・スライム。
		20.76		盛土	にぶい黄褐		100						20.76~22.00m ・砂混じり粘土である。
		22.00		盛土	にぶい黄褐		100						22.00~23.38m ・礫である。
		23.38		盛土	にぶい黄褐		100						23.38~24.15m ・砂礫である。
		24.15		盛土	にぶい黄褐		100						24.15~25.32m ・礫である。
		25.32		盛土	にぶい黄褐		100						25.32~26.50m ・砂である。
		26.50		盛土	にぶい黄褐		100						26.50~26.97m, 27.51~28.10m ・スライム。
		26.97		盛土	にぶい黄褐		100						26.97~27.51m ・礫混じり砂である。
		27.51		盛土	にぶい黄褐		100						27.51~28.10m ・砂礫である。
		28.10		盛土	にぶい黄褐		100						28.10~30.11m ・砂礫である。

1-361, 1-362 (分類c) ①
表現を統一したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%) 最大コア長 (cm) R Q D L [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入 (N値~深度) 試験		原位置試験 (孔内水平距離)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)		
														N	図													
		-8.43	20.34	砂	にぶい黄褐色					20.34~20.76m: スライムである。				0	50													
		-8.75	20.76	スライム	にぶい黄褐色					20.76~22.00m: 砂混じり粘土である。																		
		-9.70	22.00	砂混じり粘土	にぶい黄褐色					締まった粘土で細粒~粗粒砂が上方細粒化し、僅かに炭化物片も混入する。																		
		-10.76	23.38	礫	にぶい黄褐色					20.76~21.38m: 最大径60mmの硬質礫を含む砂混じり砂質粘土、砂礫を呈する。																		
		-11.35	24.15	砂礫	にぶい黄褐色					22.00~23.38m: 礫である。径40~570mm(コア長)の硬質な花崗斑岩垂直礫が主となる。																		
		-12.25	25.32	砂	にぶい黄褐色					23.38~24.15m: 砂礫である。礫は径2~5mmの石英、長石、5~200mmの花崗斑岩垂直~垂直角で半クサリ礫が主となり、礫率は50%程度である。基質は締まった粘土混じり中粒砂からなる。																		
		-13.15	26.50	砂	にぶい黄褐色					24.15~25.32m: 礫である。径10~610mmの垂直~垂直角礫からなる。一部に石英、長石を含む粗粒砂を挟む。																		
		-13.51	26.97	スライム	にぶい黄褐色					25.32~26.50m: 砂である。径3~6mmの石英を含む粗粒砂が主となる。																		
		-13.92	27.51	スライム	にぶい黄褐色					26.29~26.50m: 硬質なアフライト礫からなる。																		
		-14.38	28.10	砂礫	にぶい黄褐色					26.50~26.97m: スライムである。																		
		-15.92	30.11	砂礫	にぶい黄褐色					26.97~27.51m: 砂混じり砂である。粗粒砂が主となる。全体に緩い。径5mmまでの石英、長石、30mmまでの花崗斑岩、アフライト礫を含む。																		
30		-17.11	31.67	花崗斑岩	にぶい黄褐色	Eg	VIg	dg	δ	30.11~50.00m: 花崗斑岩である。30.11~30.51m: 著しく軟化する。																		
		-17.36	32.00	花崗斑岩	にぶい黄褐色	Eg	VIg	dg	δ	●30.51~31.53m: 破砕部 破砕幅は75.3cmである。																		
		-18.31	33.24	花崗斑岩	にぶい黄褐色	Eg	VIg	dg	δ	30.51~30.75m: 浅黄褐色の割れ目の密無部からなる。上端境界の傾斜は25°である。																		
		-18.56	33.56	花崗斑岩	にぶい黄褐色	Eg	VIg	dg	δ	30.75~31.33m: 角礫質粘土状を呈し、浅黄褐色の固結した礫状部からなる。下端境界の傾斜は70°である。																		
		-19.31	34.54	花崗斑岩	にぶい黄褐色	Eg	VIg	dg	δ	31.33~31.38m: 灰白色の粘土状を呈する。未固結の粘土状部からなり、幅は1.4cmである。下端境界の傾斜は68°である。石英粒を含む。																		
		-19.66	35.00	花崗斑岩	にぶい黄褐色	Eg	VIg	dg	δ	31.38~31.53m: 浅黄褐色の固結した礫状部からなる。径10mmまでの岩片を含む。31.42m以深は大半が径5~30mmの粘土した岩片で、岩片間には幅1~2mmの粘土脈が分布する。																		
				花崗斑岩	にぶい黄褐色	Eg	VIg	dg	δ	31.53~31.67m: スライムである。																		
				花崗斑岩	にぶい黄褐色	Eg	VIg	dg	δ	31.67~32.00m: コア欠																		
				花崗斑岩	にぶい黄褐色	Eg	VIg	dg	δ	32.00~32.19m: スライムである。																		
				花崗斑岩	にぶい黄褐色	Eg	VIg	dg	δ	32.19~32.68m: 著しく軟化している。																		
				花崗斑岩	にぶい黄褐色	Eg	VIg	dg	δ	32.55~32.65m: スライムである。																		
				花崗斑岩	にぶい黄褐色	Eg	VIg	dg	δ	●32.68~32.71m: 破砕部 破砕幅は1.8cmである。																		
				花崗斑岩	にぶい黄褐色	Eg	VIg	dg	δ	角礫質粘土状を呈し、黄褐色の固結した礫状部からなる。上端境界の傾斜は60°、下端境界の傾斜は70°である。径20mmまでの石英、長石、岩片を多く含む。																		
				花崗斑岩	にぶい黄褐色	Eg	VIg	dg	δ	32.71~33.24m: 著しく軟化している。																		
				花崗斑岩	にぶい黄褐色	Eg	VIg	dg	δ	33.24~33.56m: コア欠																		
				花崗斑岩	にぶい黄褐色	Eg	VIg	dg	δ	●33.62~33.98m: 破砕部 破砕幅は18.0cmである。																		
				花崗斑岩	にぶい黄褐色	Eg	VIg	dg	δ	33.62~33.89m: 粘土混じり角礫状を呈し、灰白色の固結した礫状部からなる。上端境界の傾斜は30°、下端境界の傾斜は60°である。																		
				花崗斑岩	にぶい黄褐色	Eg	VIg	dg	δ	33.89~33.93m: にぶい黄褐色の角礫質粘土状を呈する。未固結の礫状部からなり、幅は4.1cmである。下端境界の傾斜は60°である。上から明赤灰色、橙色、灰白色、にぶい黄褐色の粘土が縞状に分布する。																		
				花崗斑岩	にぶい黄褐色	Eg	VIg	dg	δ	33.93~33.95m: にぶい黄褐色の粘土状を呈する。未固結の粘土状部からなり、幅は2.0cmである。径5mmまでの石英、岩片を含む。																		
				花崗斑岩	にぶい黄褐色	Eg	VIg	dg	δ	33.95~33.98m: 角礫質粘土状を呈し、灰白色の固結した礫状部からなる。下端境界の傾斜は55°である。径5mmまでの石英、岩片を含む。																		
				花崗斑岩	にぶい黄褐色	Eg	VIg	dg	δ	34.54~35.00m: コア欠																		
				花崗斑岩	にぶい黄褐色	Eg	VIg	dg	δ	37.21~37.22m: 幅8mm、明灰オリブ色の粘土脈を挟む。傾斜40°で波打つ。																		
				花崗斑岩	にぶい黄褐色	Eg	VIg	dg	δ	37.90~38.36m: 岩片状を呈する。																		
				花崗斑岩	にぶい黄褐色	Eg	VIg	dg	δ	●38.36~38.41m: 破砕部 破砕幅は4.0cmである。																		
				花崗斑岩	にぶい黄褐色	Eg	VIg	dg	δ	灰白色の粘土状を呈する。未固結の粘土状部からなり、幅は4.0cmである。径10mmまでの岩片を含む。																		
				花崗斑岩	にぶい黄褐色	Eg	VIg	dg	δ	40.80m: 傾斜50°の割れ目の下盤割が幅2~5mmで緑色化している。微細な不透明鉱物が晶出している。																		

H24-B8-35

柱状図(30.00m~50.00m)



1-363(分類a)①
 コア欠の反映を忘れたため。

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.

1

事業・工事名

ボーリング名	B8-36		調査位置		北緯
発注機関				調査期間	東経
調査業者名			主任技師	現代場人	ボーリング責任者
孔口標高	7.13 m	角	180° 上	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°
総掘削長	36.00 m	度	下 0° 20.0°	向	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°
				地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
				使用機種	試験機
				エンジン	ハンマー 落下用具
					ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	割れ目の状態	風化	変質	記	コア採取率 (%)	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験 (孔内水平距離)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)								
														(N値~深度) 図	(N)	値	値																			
		5.58		埋土						0.00~1.65m: 埋土である。礫混じり砂からなる。試験の埋戻し土である。粗粒砂が主となる。径2~8mmの黒色碎石を含む。																										
		1.65		にぶい黄橙						1.60~8.33m: 改良土である。1.65~5.37m: 砂礫からなる。径5~200mmの垂角~垂円礫の花崗斑岩。アフライトが殆どで硬質である。部分的に径2~4mmの黒色碎石が混入する。礫率は40~50%程度である。基質はよく締まる。																										
				改良土						5.37~6.00m: 礫混じり砂からなる。粗粒砂が主となる。径5~10mm主体の硬質な垂角~垂円礫を含む。一部で径2~4mmの黒色碎石が混入する。全体によく締まる。																										
				明黄褐						6.00~8.33m: 礫混じり砂からなる。粗粒砂が主となる。径2~5mmの石英を多く含む。全体に緩い。																										
				粘土						7.53~7.55m: 幅20mmの軟弱な粘土を挟在する。未分解の植物繊維片を少量含む。																										
				砂混じりシルト						8.33~22.30m: 砂質土及び砂礫主体の第四系である。 8.33~8.49m: 有機質土混じり砂である。微細な炭化物片を含む。臭気がある。 8.49~9.55m: 礫混じり砂である。上下端に硬質な花崗岩垂角礫を含む。 9.55~9.90m: 粘土である。少量の砂分を含む。やや締まる。 9.90~11.68m: 砂混じりシルトである。全体に粗粒砂が混じる。上端10cmは砂分多い。 11.68~12.08m: スライムである。 12.08~12.22m: 砂である。ほぼ均質な細粒砂からなる。 12.22~12.80m: 粘土である。少量の砂が混じる。よく締まる。 12.80~13.49m: 砂礫である。礫は径10~280mmの花崗斑岩垂角礫が主で半クサリ礫化している。基質は粘土分が多くよく締まる。 13.49~14.03m: 砂である。粗粒砂が主となる。風化で黄色化している。よく締まる。 14.03~15.00m: 砂礫である。礫は径10~180mmの花崗斑岩垂角~垂円礫である。クサリ礫が主で径180mm前後の礫は硬質で残留し、礫率は30%程度である。基質は粗粒砂でやや緩い。 15.00~18.45m: 礫混じり砂である。よく締まる粗粒砂からなる。礫は径10~30mmが主で大半がクサリ礫化している。 16.08~16.46m: 花崗斑岩の硬質な巨礫を含む。																										
				灰																																
				砂																																
				砂礫																																
				砂																																
				砂礫																																
				灰																																
				灰																																

H24-B8-36

柱状図(0.00m~36.00m)

H24-B8-36

孔口標高	T.P.	7.13m	掘削長	36.00m
------	------	-------	-----	--------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記事
										最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	R Q D (%)	
		5.58		埋戻し土	にぶい黄橙		100					0.00~1.65m ・埋戻し土である。	
		1.65		改良土	にぶい黄橙		100					1.65~8.33m ・改良土である。	
		-0.70		有機物混じり砂	灰黄褐		100					8.33~8.49m ・有機物混じり砂である。	
		-1.84		礫混じり砂	にぶい黄橙		100					8.49~9.55m ・礫混じり砂である。	
		-2.17		粘土	にぶい黄橙		100					9.55~9.90m ・粘土である。	
		-3.85		砂混じりシルト	にぶい黄橙		68					9.90~11.68m ・砂混じりシルトである。	
		-4.22		スライム	灰		92					11.68~12.08m ・スライム。	
		-4.90		砂	明黄褐		100					12.08~12.22m ・砂である。	
		-5.55		粘土	にぶい黄橙		100					12.22~12.80m ・粘土である。	
		-6.05		砂礫	にぶい黄橙		100					12.80~13.49m ・少量の砂が混じる。	
		-6.97		砂	明褐		100					13.49~14.03m ・砂である。	
		-10.21		礫混じり砂	黄褐		100					14.03~15.00m ・砂礫である。	
		-10.59		シルト混じり砂	灰黄		100					15.00~18.45m ・礫混じり砂である。	
		-13.83		砂礫	灰黄		100					18.45~18.86m ・シルト混じり砂である。	
		-18.86		砂礫	黄橙		100					18.86~22.30m ・砂礫である。	
		-22.30		花崗斑岩	にぶい黄橙		100	1	0			22.30~24.19m ・径5~320mmの花崗斑岩及び花崗岩垂角~垂円礫を主体とする。	
		-24.19		花崗斑岩	にぶい黄橙		100	1	0			24.19~27.68m ・破碎部である。	
		-27.68		花崗斑岩	にぶい黄橙		100	2	0			27.68~30.00m ・主に浅黄橙色の固結礫状部からなる。	
		-30.00		花崗斑岩	にぶい黄橙		100	4	0			30.00~30.36m ・灰白色の未固結粘土状部：累計幅0.5cm	
		-30.36		花崗斑岩	にぶい黄橙		100	2	0			30.36~33.00m ・走向・傾斜はN31° E88° SEである。	
		-33.00		花崗斑岩	にぶい黄橙		100	4	0			33.00~36.00m ・上端境界の傾斜は40°である。	
		-36.00		明褐灰	明褐灰	CL	100	3	0			36.00m ・下端境界の傾斜は60°である。	

1-364, 1-365(分類c)①
表現を統一したため。

参考3-877

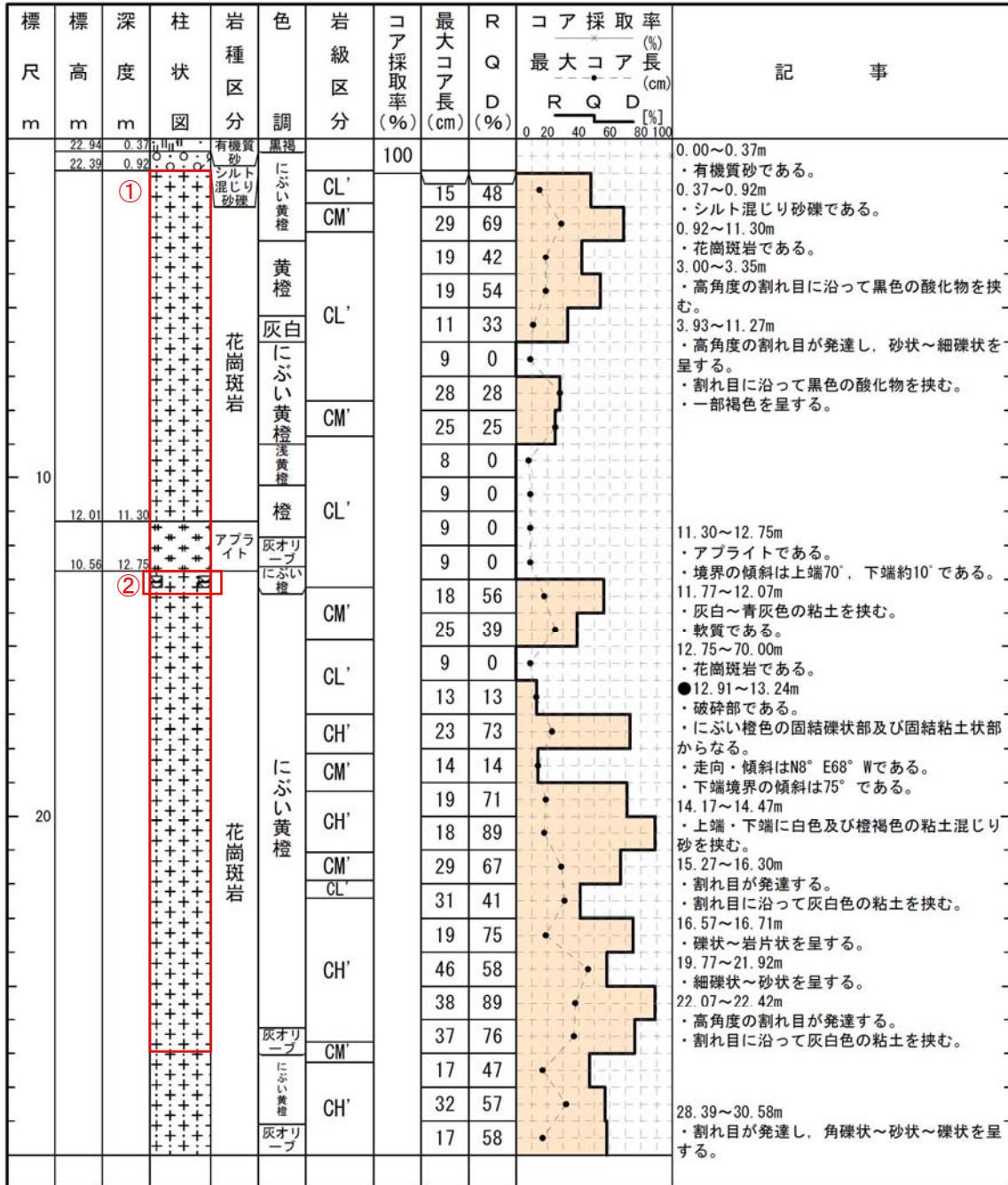
補足5-471

H27-Br-4

柱状図(0.00m~30.00m)

H27-Br-4

孔 口 標 高	T.P.	23.31m	掘 削 長	70.00m
---------	------	--------	-------	--------



- 1-366(分類c)①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。
 1-367(分類d)②
 記事欄の記載変更に伴う変更。(破碎部模様の変更)

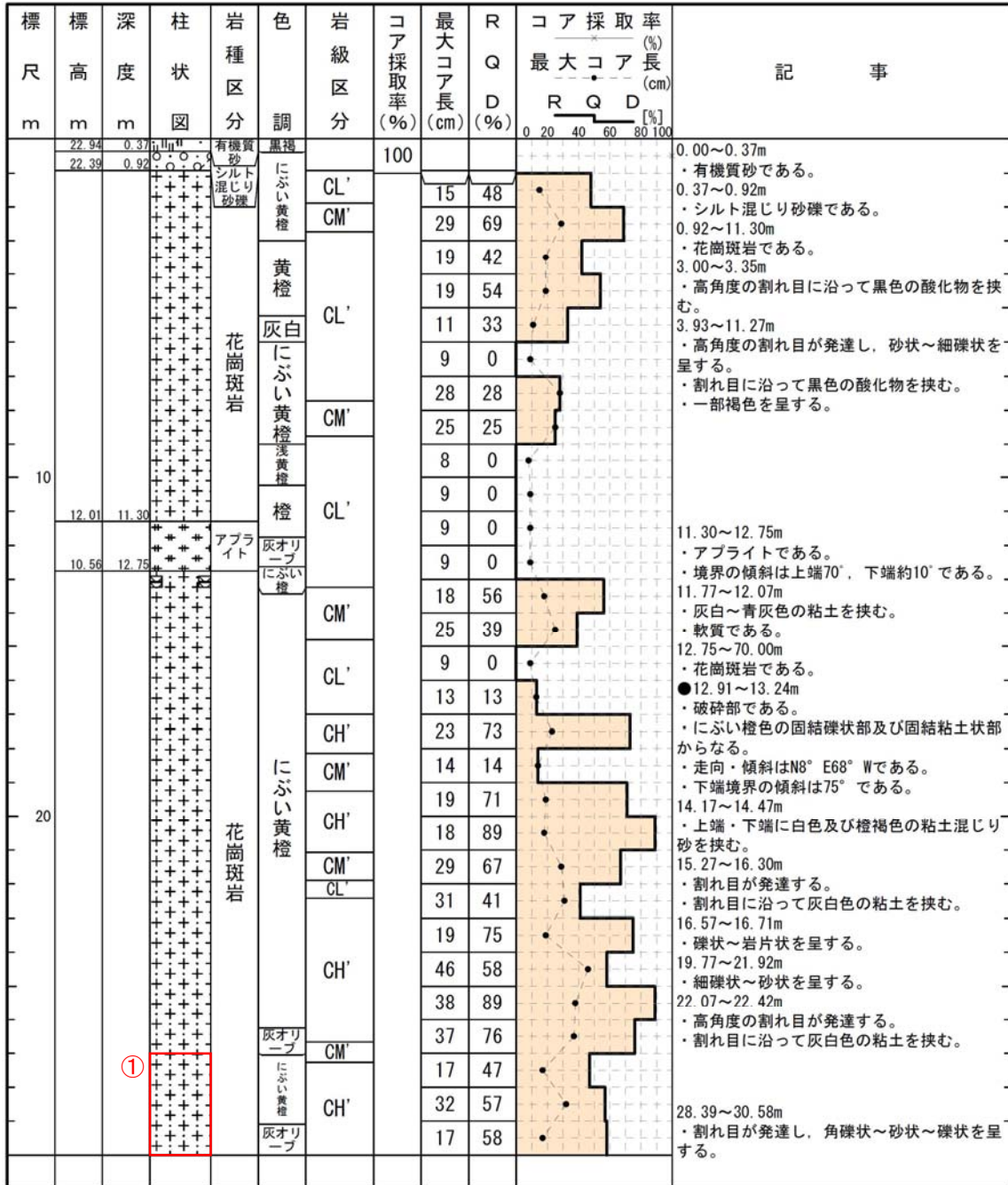
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D ↳ [%]	岩級区分	孔内水位(測) / 測定月日	標準貫入 (試験) 図 (N値~深度)		原位試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給送水圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)		
															N	値													
30			花崗斑岩	にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	γ			28.39~28.42m: 割れ目が密集し、角礫状を呈する。 28.50~28.53m: 割れ目が密集し、幅2~10mmで砂状を呈する。	17 47 32 57 77 58	CM'						4/23	81									
40			花崗斑岩	にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	β			30.51~30.58m: 砂~礫状を呈する。	43 43 78 31 87 39	CM'						4/24	100			46.0	0.0	清水	7			
50			花崗斑岩	にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	β			34.58~34.63m: 幅0~3mmの褐色粘土を挟在する。 35.07~35.74m: 割れ目が網目状に発達する。	9 16 59 59 79 86 85	CM'						4/25	91				38.2	0.0	清水	5		
60			花崗斑岩	にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	β			36.07~39.30m: 低角度の割れ目が主体となる。	10 59 59 79 86 85	CM'						4/27	122			44.1	150	0.0	清水	3		
30			花崗斑岩	にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	γ			39.47~39.57m: 傾斜30~65°の割れ目が密に発達する。 40.21~40.23m: 傾斜45°の割れ目が集中する。	26 33 42 73 31 33	CM'						4/28	143									
40			花崗斑岩	にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	β			42.87~43.19m: 高角度の割れ目が集中する。	43 73 31 33	CM'						4/29	123			46.0	0.0	清水	0			
50			花崗斑岩	にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	β			46.22m: 幅2~10mmで細礫状~砂状を呈する。 46.38~46.60m: 岩片状を呈する。	42 41 35 43 14 20	CM'						4/28	143									
60			花崗斑岩	にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	β			49.00~51.00m: 鉛直に近い割れ目が続く。一部に幅1~3mmの砂混じり茶褐色粘土を挟在する。	43 44 20 32 47 28 15	CM'						4/29	123			46.0	0.0	清水	0			
70			花崗斑岩	にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	β			50.95~51.10m: 傾斜50°の割れ目が集中し、一部礫状を呈する。	18 18 33 38 30	CM'						4/30	119									
80			花崗斑岩	にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	β			52.30m: 傾斜60°の割れ目に沿って幅3mmで砂状~細礫状を呈する。	18 18 33 38 30	CM'						4/30	119									
90			花崗斑岩	にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	β			54.74~56.27m: 傾斜20°と80°の割れ目が交差する。	18 18 33 38 30	CM'						4/30	119									
100			花崗斑岩	にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	β			56.30~57.27m: 高角度の割れ目が主体となる。	18 18 33 38 30	CM'						4/30	119									
110			花崗斑岩	にぶい黄橙	Bg	III g	IV g	β			62.00~62.41m: 傾斜65°の平行な割れ目が発達する。 62.21m: 幅1~2mmの褐色粘土を挟在する。	18 18 33 38 30	CM'						4/30	119									

H27-Br-4

柱状図(0.00m~30.00m)

H27-Br-4

孔 口 標 高	T.P.	23.31m	掘 削 長	70.00m
---------	------	--------	-------	--------

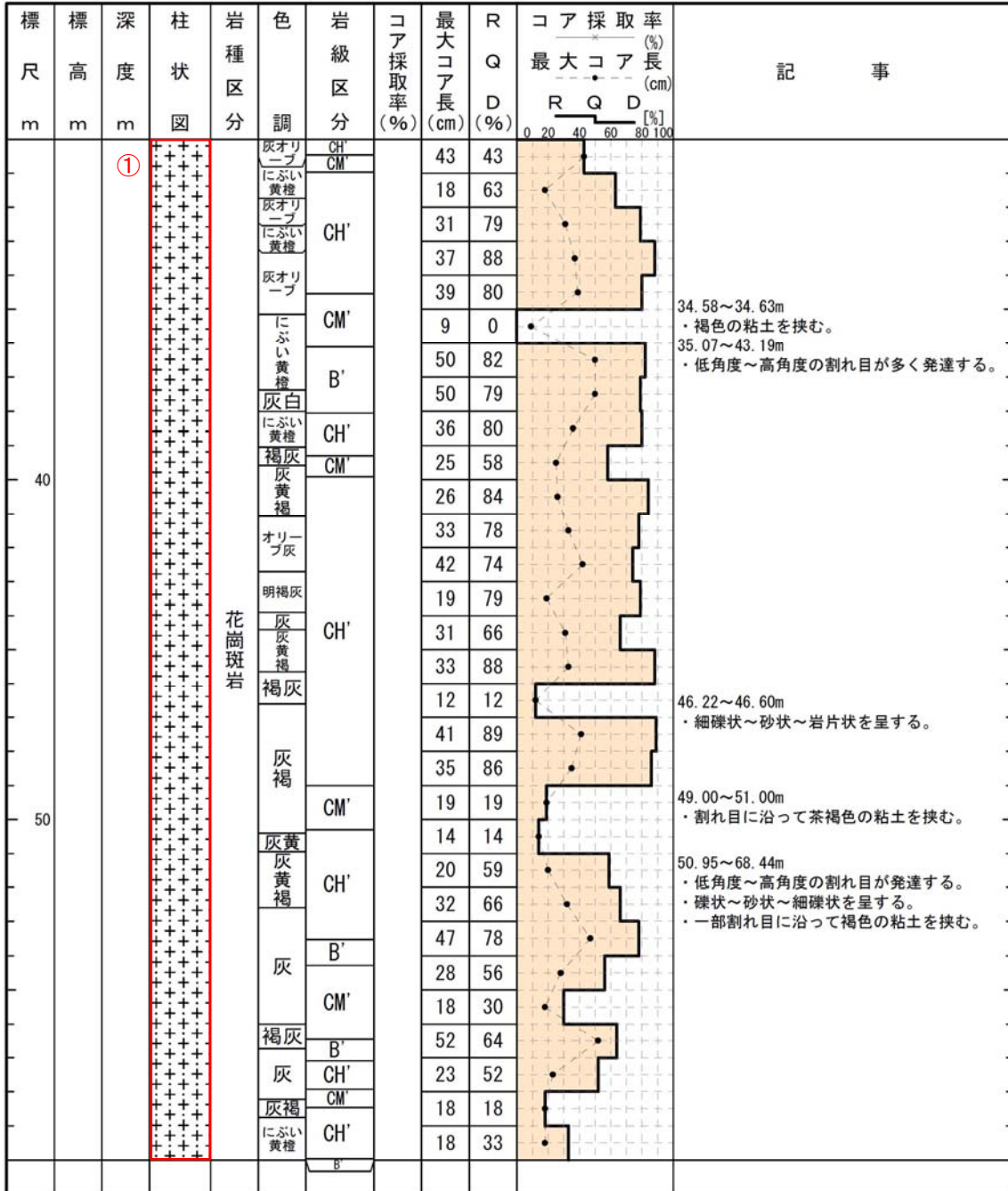


1-366(分類c)①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。

標 尺 (m)	標 高 度 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	岩 種 区 分	色 調	硬 軟 状 態	コ ア 形 状	割 れ 目 の 状 態	変 質	記 事	コ ア 採 取 率 ← (%) 最大コ ア長 cm R Q D ↳ [%]	岩 級 区 分	孔 内 水 位 (m) / 測 定 日 月	標準貫入 () 試験			原 位 置 置 試 験 (孔内水 平載 荷)	室 内 試 験	掘 進 月 日	掘 進 速 度 (cm / 時)	孔 径 (mm) / 孔 壁 保 護	コ ア チ ュー プ / ピ ット	給 回 送 水 圧 (MPa) (rpm) (MPa)	送 水 量 (MPa)	排 水 量 (L / 分)																																										
														(N 値 ~ 深 度) 図	N 値	深 度																																																			
30			花崗斑岩	にぶい黄土 Cg IVg	Bg IIIg	γ	IVg		γ	28.39~28.42m: 割れ目が密集し、角礫状を呈する。 28.50~28.53m: 割れ目が密集し、幅2~10mmで砂状を呈する。	17 32 47 57	CM'				4/23	81																																																		
																																		灰オリーブ Bg IIIg	β		30.51~30.58m: 砂~礫状を呈する。	77 83 91 100	CH'																												
																																		にぶい黄土 Bg IIIg	β			36.07~39.30m: 低角度の割れ目が主体となる。	31 37 38 30	CH'																											
																																																																			灰オリーブ Bg IIIg
																																		にぶい黄土 Cg IVg	Bg IIIg	β			26 26 33 42	CM'																											
																																																																			灰白 Bg IIIg
																																		にぶい黄土 Bg IIIg	β				85 85	CM'																											
																																																																			桐灰 Bg IVg
																																		灰黄褐 Bg IIIg	β				79 81	CH'																											
																																																																			オリブ灰 Bg IIIg
																																		灰 Bg IIIg	β				31 33 79	CH'																											
灰黄褐 Bg IIIg	γ				33 81	CH'																																																													
																																		桐灰 Cg IVg	β				41 45 86	CM'																											

H27-Br-4

柱状図(30.00m~60.00m)



1-366(分類c)①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	変質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D ↳ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入 (N値~深度) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給送水圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水量 (MPa)	排水量 (L/分)																																																																																																																																																	
															N	値																																																																																																																																																											
30			花崗斑岩	にぶい黄褐色	Bg	III g	IV g	γ	2	β	28.39~28.42m: 割れ目が密集し、角礫状を呈する。 28.50~28.53m: 割れ目が密集し、幅2~10mmで砂状を呈する。	0 50 100 CM'	CH'		0 10 20 30 40 50						4/23	81																																																																																																																																																					
																															17	32	47	57	58	63	68	73	78	83	88	93	98																																																																																																																																
																															40			花崗斑岩	にぶい黄褐色	Bg	III g	IV g	β	2	β	30.51~30.58m: 砂~礫状を呈する。	0 50 100 CM'	CH'		0 10 20 30 40 50					4/24	100			46.0	0.0	清水5	7																																																																																																																	
																																																											17	32	47	57	58	63	68	73	78	83	88	93	98																																																																																																				
																																																											50			花崗斑岩	にぶい黄褐色	Bg	III g	IV g	β	2	β	34.58~34.63m: 幅0~3mmの褐色粘土を挟在する。 35.07~35.74m: 割れ目が網目状に発達する。	0 50 100 CM'	CH'		0 10 20 30 40 50					4/25	91			38.2	0.0	清水5	5																																																																																					
																																																																																							17	32	47	57	58	63	68	73	78	83	88	93	98																																																																								
																																																																																							60			花崗斑岩	にぶい黄褐色	Bg	III g	IV g	β	2	β	36.07~39.30m: 低角度の割れ目が主体となる。	0 50 100 CM'	CH'		0 10 20 30 40 50					4/27	122			44.1	150	0.0	清水5	3																																																								
																																																																																																																				17	32	47	57	58	63	68	73	78	83	88	93	98																																											
																																																																																																																				70			花崗斑岩	にぶい黄褐色	Bg	III g	IV g	β	2	β	39.47~39.57m: 傾斜30~65°の割れ目が密に発達する。 40.21~40.23m: 傾斜45°の割れ目が集中する。	0 50 100 CM'	CH'		0 10 20 30 40 50					4/28	143			46.0	0.0	清水5	0																												
																																																																																																																																																17	32	47	57	58	63	68	73	78	83	88	93	98															
																																																																																																																																																80			花崗斑岩	にぶい黄褐色	Bg	III g	IV g	β	2	β	42.87~43.19m: 高角度の割れ目が集中する。	0 50 100 CM'	CH'		0 10 20 30 40 50					4/29	123			46.0	0.0	清水5	0
90			花崗斑岩	にぶい黄褐色	Bg	III g	IV g	β	2	β	46.22m: 幅2~10mmで細礫状~砂状を呈する。 46.38~46.60m: 岩片状を呈する。	0 50 100 CM'	CH'		0 10 20 30 40 50					4/30	119			46.0	0.0	清水5	0																																																																																																																																																
																												17	32	47																																																																																																																																													
																												100			花崗斑岩	にぶい黄褐色	Bg	III g	IV g	β	2	β	49.00~51.00m: 鉛直に近い割れ目が続く。一部に幅1~3mmの砂混じり茶褐色粘土を挟在する。	0 50 100 CM'	CH'		0 10 20 30 40 50																																																																																																																																
																																																								17	32	47																																																																																																																	
																																																								110			花崗斑岩	にぶい黄褐色	Bg	III g	IV g	β	2	β	50.95~51.10m: 傾斜50°の割れ目が集中し、一部礫状を呈する。	0 50 100 CM'	CH'		0 10 20 30 40 50																																																																																																				
																																																																																				17	32	47																																																																																					
																																																																																				120			花崗斑岩	にぶい黄褐色	Bg	III g	IV g	β	2	β	52.30m: 傾斜60°の割れ目に沿って幅3mmで砂状~細礫状を呈する。	0 50 100 CM'	CH'		0 10 20 30 40 50																																																																								
																																																																																																																17	32	47	57																																																								
																																																																																																																130			花崗斑岩	にぶい黄褐色	Bg	III g	IV g	β	2	β	54.74~56.27m: 傾斜20°と80°の割れ目が交差する。	0 50 100 CM'	CH'		0 10 20 30 40 50																																												
																																																																																																																																												17	32	47	57																												
																																																																																																																																												140			花崗斑岩	にぶい黄褐色	Bg	III g	IV g	β	2	β	56.30~57.27m: 高角度の割れ目が主体となる。	0 50 100 CM'	CH'		0 10 20 30 40 50																
																																																																																																																																																																								17	32	47	57
150			花崗斑岩	にぶい黄褐色	Bg	III g	IV g	β	2	β	62.00~62.41m: 傾斜65°の平行な割れ目が発達する。 62.21m: 幅1~2mmの褐色粘土を挟在する。	0 50 100 CM'	CH'		0 10 20 30 40 50																																																																																																																																																												
																																																																																																																																																																								17	32	47	57

H27-Br-4

柱状図(60.00m~70.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取率 (%)	最大 コア長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										最大 コア長 (cm)	R Q D [%]	長 (cm)	
		①		花崗斑岩	にぶい 黄橙 灰	B'		83	96				
					にぶい 褐 灰	CH'		58	80				
						CM'		17	27				
					にぶい 黄橙	CH'		18	23				
						CM'		17	45				
						CH'		4	0				
						CM'		32	32				
					褐灰 灰黄褐	B'		51	68				
					にぶい 黄橙	CH'		17	27				
		-46.69 70.00						16	16				

1-366(分類c)①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D ⌊ [%]	岩級区分	孔内水位 (m) / 測定月日	(標準貫入) 試験 (N値~深度) 図					原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)
														0	10	20	30	40											
		46.69	70.00	花崗斑岩					2	63.12~64.40m : 傾斜60° 程度の平行な割れ目が発達する。 66.58~68.88m : 傾斜60° の割れ目が発達する。 68.44~68.54m : 傾斜60° の割れ目が密に発達し、一部細礫状を呈する。								4/30	143			タテコアチューブ/ダイヤモンドビット	44.0	150	0.0	清水	0		

H27-Br-4

柱状図(60.00m~70.00m)

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取率 (%)	最大 コア長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記 事
										最大 コア長 (cm)	R Q D [%]	長 (cm)	
		① -46.69 70.00		花崗斑岩	にぶい 黄橙 灰	B'		83	96				
					にぶい 褐 灰	CH'		58	80				
						CM'		17	27				
					にぶい 黄橙	CH'		18	23				
						CH'		17	45				
						CM'		4	0				
						CH'		32	32				
					褐灰 灰黄褐	CM'		51	68				
						B'		17	27				
					にぶい 黄橙	CH'		16	16				

1-366 (分類c) ①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。

ボーリング柱状図

調査名

ボーリングNo.								9
----------	--	--	--	--	--	--	--	---

事業・工事名

ボーリング名	Br-9		調査位置		北緯	
発注機関					東経	
調査業者名				主任技師	調査期間	
孔口標高	44.21 m	角			現代場人	
総掘削長	80.00 m	度			コ鑑 定 者	
				使用機種	ハンマー落下用具	
				試験機	ポンプ	
				エンジン		

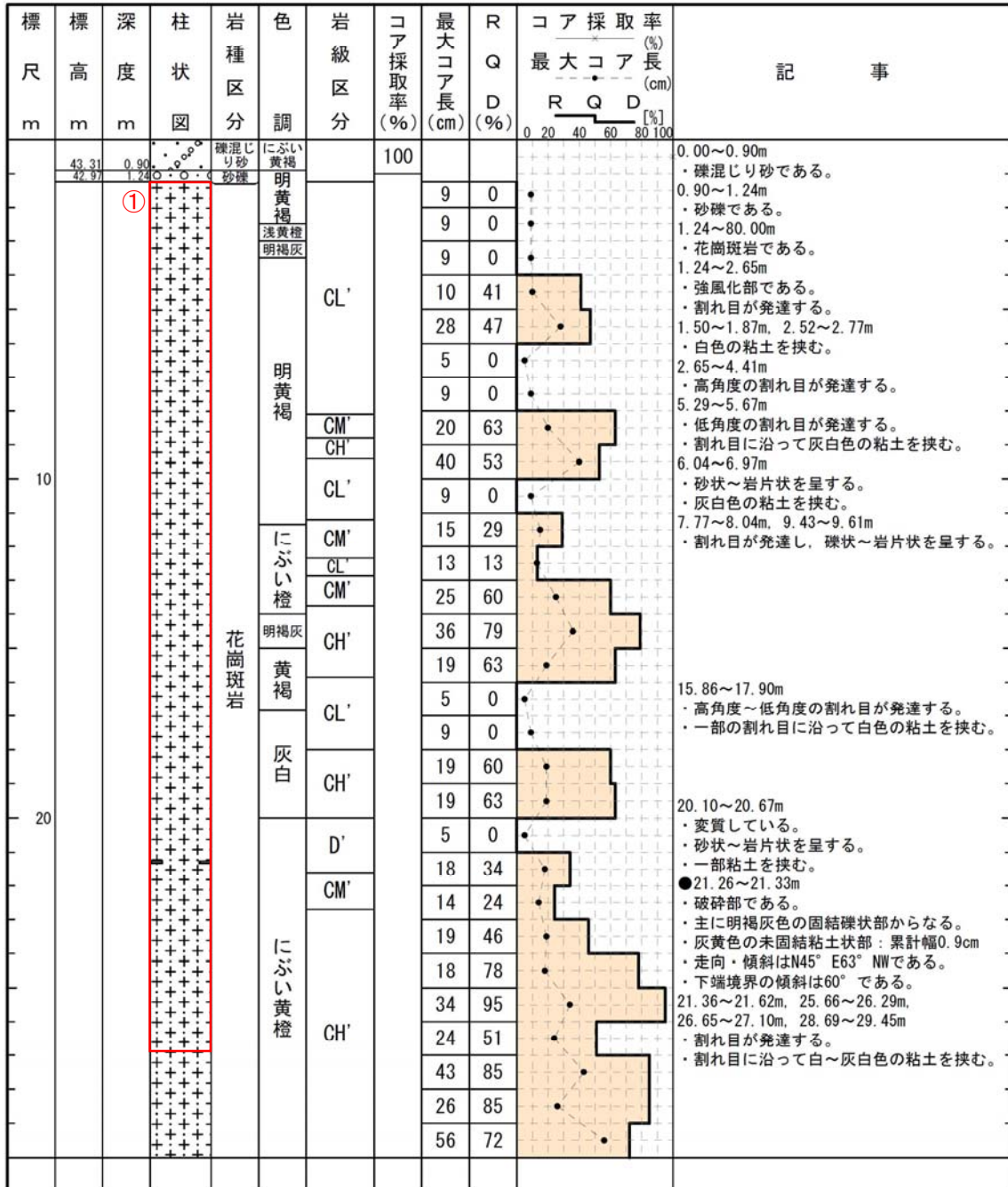
標準	標高	深度	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コアラ形状	割れ目の状態	風化質	変質	記	岩級	コー採取率	最大コアラ長	コー	標準貫入	試験	室	掘進	孔径	送水	回	送	排							
(m)	(m)	(m)									事	区	(%)	cm		(N値~深度)	図	(cm/時)	(mm)	(MPa)	(rpm)	(L/分)	(L/分)	(L/分)							
	43.31	0.90		明黄緑		硬	IV g	cg			0.00~0.90: 礫混じり砂。粗粒砂からなる蒸気と細礫を含む。植物根を含む。緩い。	3	9.9	100																	
	42.97	1.24		明黄緑		硬	IV g	cg			0.90~1.24m: 砂礫。	3	9.9	100																	
				明黄緑		硬	IV g	cg			1.24~80.00m: 花崗斑岩。1.24~2.65m: 強い風化を受け、割れ目が良く発達する。1.50~1.87m: 幅1~3mmの白色粘土を複数挟在する。2.28m: 幅3mmの淡褐色粘土を挟む。2.52~2.77m: 幅1~12mmの白色粘土を複数挟在する。2.95~4.41m: 高角度の割れ目が主体となる。一部に幅1~3mmの灰白色粘土を複数挟在する。3.48m: 幅1~4mmの褐色粘土を挟在する。5.29~5.67m: 低角度の割れ目が発達し、一部に幅1mm程度の灰白色粘土を挟在する。6.04~6.63m: 砂状を呈し、幅1~6mmの灰白色粘土を多数挟在する。6.63~6.97m: 岩片状を呈する。6.98m: 最大幅10mmの白色粘土を挟在する。7.18m: 幅1~2mmで灰白色粘土を挟在する。7.59m: 幅2~4mmの暗灰~褐色粘土を挟在する。7.77~8.04m: 割れ目が良く発達し、礫状~岩片状を呈する。8.53m: 幅1~3mmの固結した灰白色粘土を挟在する。9.43m: 幅1~3mmの固結した茶褐色粘土を挟在する。9.43~9.61m: 不規則な割れ目が発達し、岩片状~礫状を呈する。	3	9.9	100																	
				明黄緑		硬	IV g	cg			12.48~13.11m: 高角度の割れ目が主体となる。	3	9.9	100																	
				明黄緑		硬	IV g	cg			13.13~13.36m: 低角度の割れ目が主体となる。	3	9.9	100																	
				明黄緑		硬	IV g	cg			15.86~16.86m: 全体に褐色化する。一部の割れ目に幅0.5~6mmの白色粘土を挟在する。	3	9.9	100																	
				明黄緑		硬	IV g	cg			16.86~17.90m: 高角度の割れ目が優勢となる。低角度の割れ目に沿って最大幅3mmの白色粘土を挟在する。	3	9.9	100																	
				明黄緑		硬	IV g	cg			18.40m: 幅10~15mmで細礫状を呈する。	3	9.9	100																	
				明黄緑		硬	IV g	cg			20.10~20.67m: 変質が強く、砂状~岩片状を呈する。一部に粘土を挟在する。21.00m: 幅2mmの褐色粘土を挟む。	3	9.9	100																	
				明黄緑		硬	IV g	cg			●21.26~21.33m: 破砕帯。21.26~21.31m: 角礫状破砕部(Hi)。上端の傾斜は不明瞭。明褐色のシルト中に細礫を挟在する。21.31~21.33m: 礫混じり粘土状破砕部(Ho-2)。細礫混じり暗褐色粘土(幅10mm)。細礫混じり灰白色粘土(幅8mm)からなる。21.33mに暗褐色粘土と黄灰色粘土を挟む。下端の傾斜は60°。	3	9.9	100																	
				明黄緑		硬	IV g	cg			21.36~21.62m: 傾斜50°程度の割れ目が平行して発達し、一部に幅3mm程度の白色粘土を挟在する。上端に幅4mmの石英脈を挟在する。	3	9.9	100																	
				明黄緑		硬	IV g	cg			22.14m: 幅1~3mmの褐色粘土を挟在する。	3	9.9	100																	
				明黄緑		硬	IV g	cg			25.66~26.29m: 幅0~1mmの褐色及び灰白色粘土を挟在する割れ目が発達する。	3	9.9	100																	
				明黄緑		硬	IV g	cg			26.65~27.10m: 幅1~4mmの灰白色粘土を挟在する割れ目が発達する。	3	9.9	100																	

H27-Br-9

柱状図(0.00m~30.00m)

H27-Br-9

孔 口 標 高	T. P.	44.21m	掘 削 長	80.00m
---------	-------	--------	-------	--------



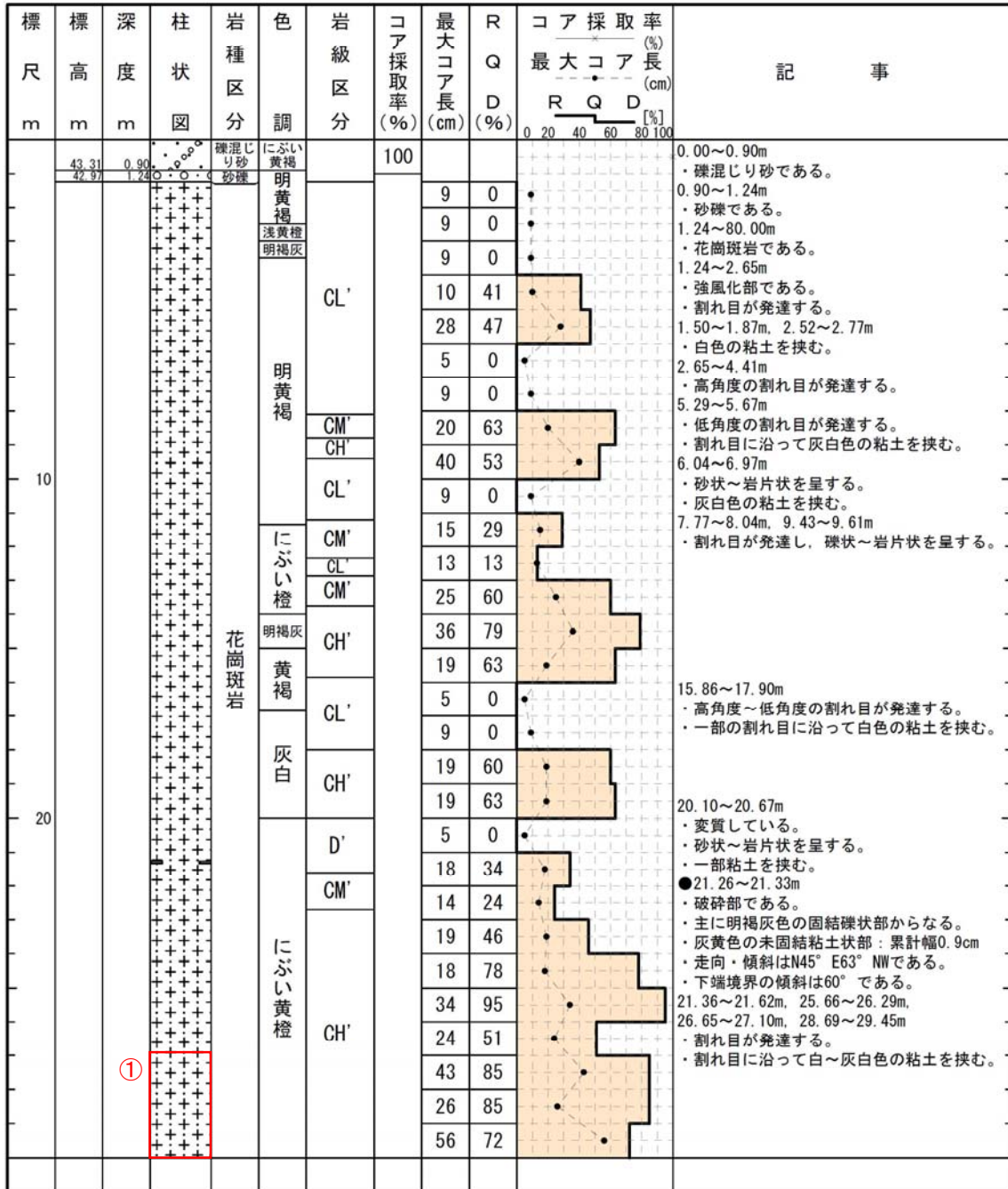
1-368(分類c)①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。

H27-Br-9

柱状図(0.00m~30.00m)

H27-Br-9

孔 口 標 高	T. P.	44.21m	掘 削 長	80.00m
---------	-------	--------	-------	--------

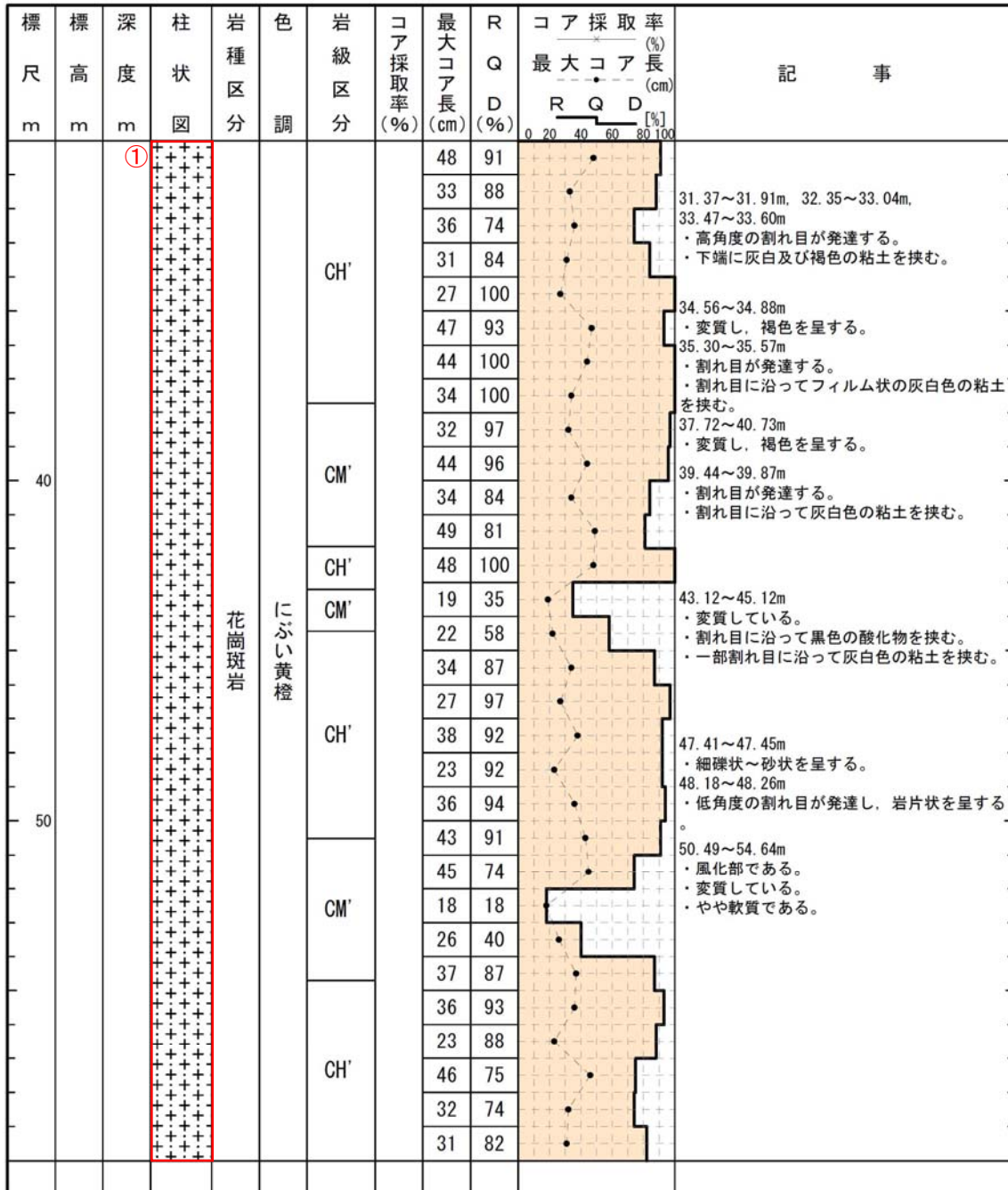


1-368(分類c)①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	岩級区分	標準貫入 (N値~深度) 試験		原位置試験 (孔内水平載重)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm)	コブ/チップ/ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)						
															N	値																	
		30	花崗斑岩 暗黄灰色			Bg			2	28.48m: 走向が異なる高角度の割れ目が複数発達し、割れ目に沿ってフィルム状~幅4mmの灰白色粘土を挟む。 28.69~29.45m: 高角度の割れ目が卓越する。一部に幅2mm程度までの灰白色粘土を挟在する。 31.37~31.91m: 高角度の割れ目が発達する。 32.35~33.04m: 高角度の割れ目が良く発達する。 33.47~33.60m: 高角度の割れ目が集中し、幅0.5mm程度の灰白色及び褐色粘土を挟在する。 34.56~34.88m: 変質により褐色を呈する。 35.30~35.57m: 傾斜90°程度の割れ目が集中して発達する。一部にフィルム状の灰白色粘土を挟在する。	43 [95] [95] [72] [91] [86] [74] [94] [100] [93] [100] [100] [97] [96] [81] [100]	CH'					5/26	75															
		40			Cg		Bg		1	2	37.72~40.73m: 変質により褐色を呈する。 39.44~39.87m: 幅3mm程度の灰白色粘土を挟在する割れ目が発達する。	43 [95] [95] [72] [91] [86] [74] [94] [100] [93] [100] [100] [97] [96] [81] [100]	CM'																				
		50			Bg		Bg		1	1	43.12~45.12m: 割れ目に沿った変質による褐色化が顕著になり、黒色酸化物を挟在する。一部に幅0.5mm程度の灰白色粘土を挟在する。	43 [95] [95] [72] [91] [86] [74] [94] [100] [93] [100] [100] [97] [96] [81] [100]	CM'																				
		55			Bg		Bg		1	1	47.41~47.45m: 細礫~砂状を呈する。 48.18~48.26m: 低角度の割れ目が集中し、岩片状を呈する。	43 [95] [95] [72] [91] [86] [74] [94] [100] [93] [100] [100] [97] [96] [81] [100]	CH'																				
		60			Bg		Bg		2	2	50.49~54.64m: 変質・風化によって褐色化し、やや軟質化する。51.78~53.00mには、ほぼ鉛直な割れ目が発達し、幅1~10mmの石英脈を挟在する。	43 [95] [95] [72] [91] [86] [74] [94] [100] [93] [100] [100] [97] [96] [81] [100]	CM'																				
		65			Bg		Bg		1	1	55.08~59.05m: 傾斜35~45°を主体とする割れ目が10~30cm間隔で発達する。一部に幅0.5~2mmの石英脈を挟在する。	43 [95] [95] [72] [91] [86] [74] [94] [100] [93] [100] [100] [97] [96] [81] [100]	CH'																				
		68			Bg		Bg		1	1	61.50~80.00m: 変質によって淡褐色を呈する。	43 [95] [95] [72] [91] [86] [74] [94] [100] [93] [100] [100] [97] [96] [81] [100]	CM'																				

H27-Br-9

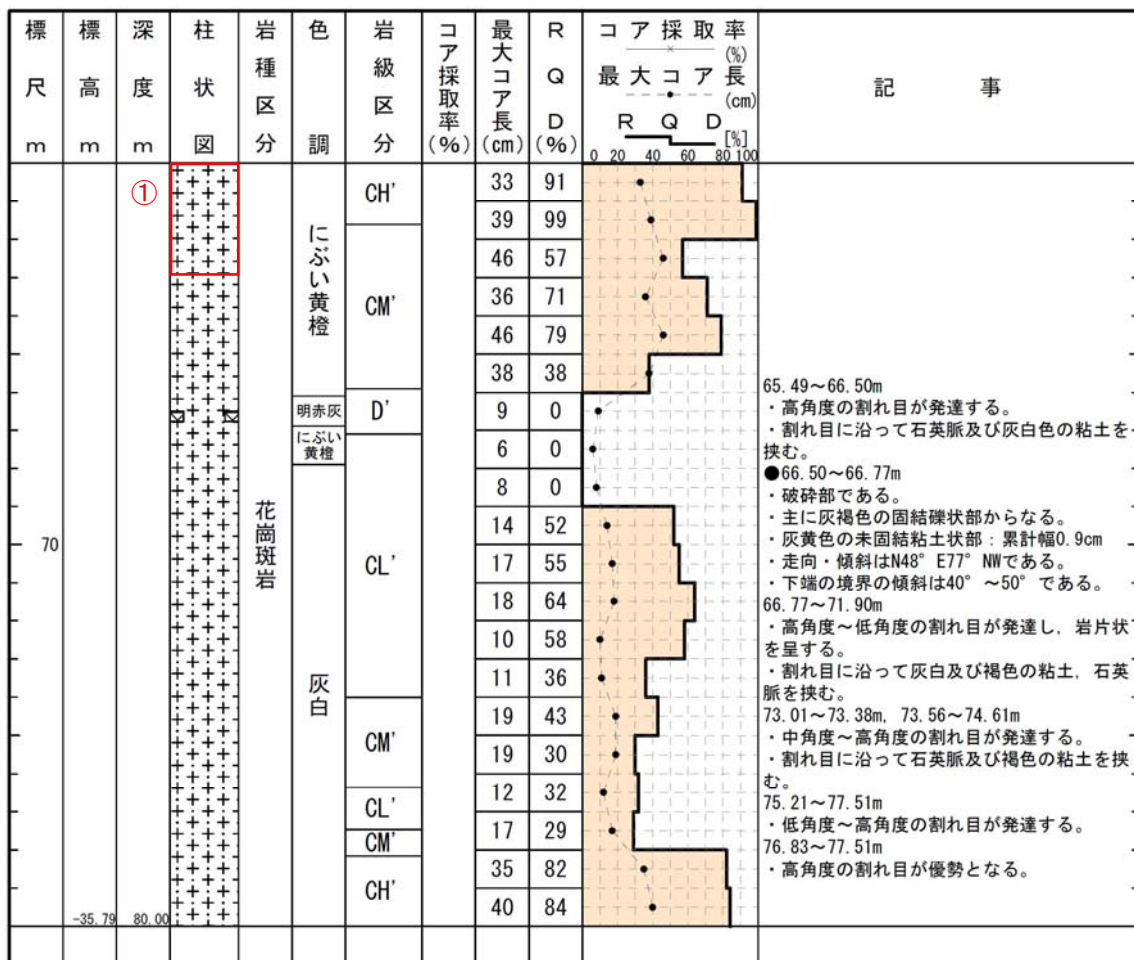
柱状図(30.00m~60.00m)



1-368(分類c)①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。

H27-Br-9

柱状図(60.00m~80.00m)

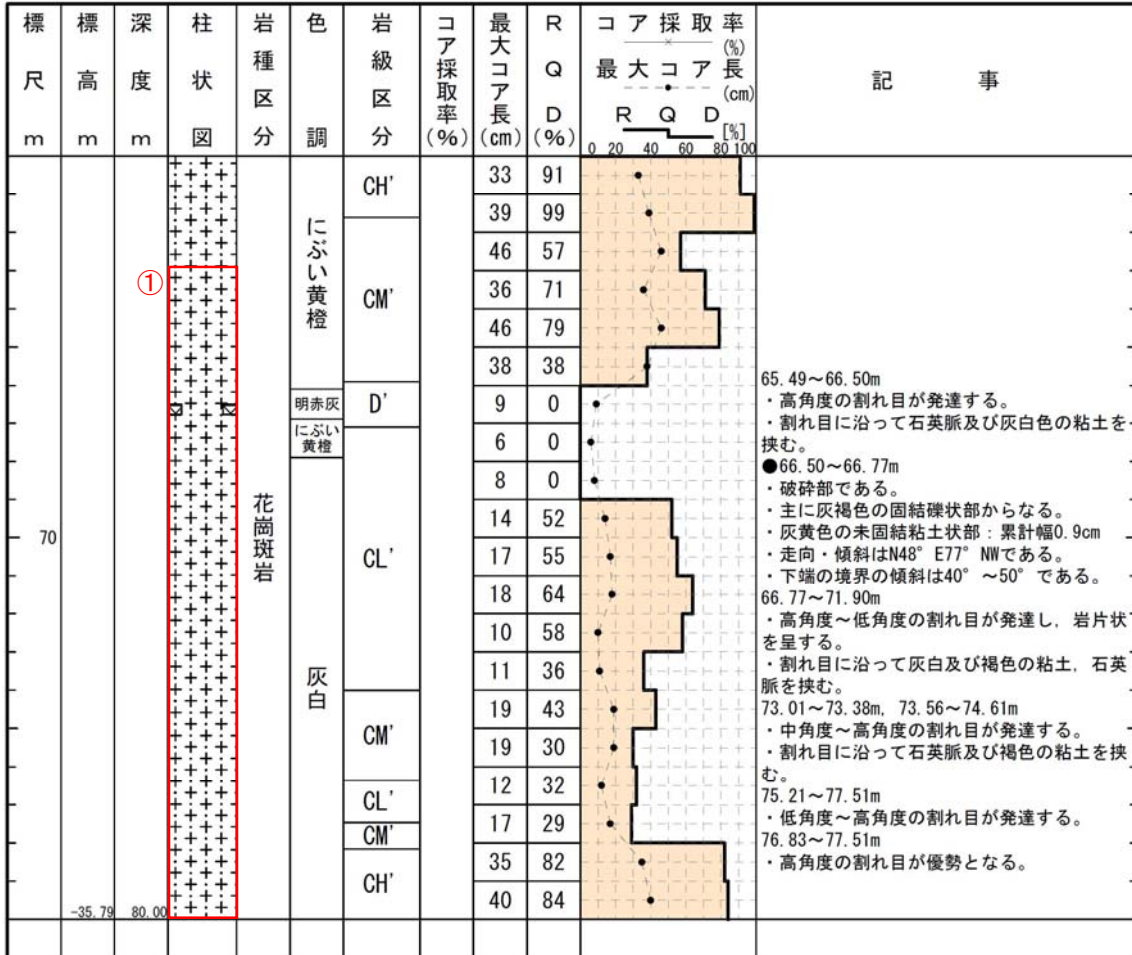


1-368(分類c)①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化質	記事	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位(測定月日)	標準貫入 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm/時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチューブ / ビット	給圧 (kN・MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L/分)	排水量 (L/分)						
														(N 値 ~ 深度)	図																	
70	-35.79	80.00		花崗斑岩	灰白	明赤灰 に ない 黄橙	Cg IIg bg γ 2			65.49~66.50m: 高角度の割れ目が卓越する。一部に最大幅2mmの石英脈。灰白色粘土を挟在する。 ●66.50~66.77m: 破砕帯。 66.50~66.54m: 粘土状破砕部(Hc-I)。傾斜は75~80°。灰黄色粘土からなる。 66.54~66.77m: 角礫状破砕部(Hj)。割れ目に沿ってシルトを挟む。下端の傾斜は40~50°。 66.77~69.59m: 高・低角度の割れ目が交差して発達し、岩片状を呈する。最大幅2mmの灰白色及び褐色粘土、幅1~3mmの石英脈を挟在する。 70.25~71.90m: 高角度の割れ目が卓越する。一部に幅2mmまでの灰白色粘土、幅4mmまでの石英脈を挟在する。 72.45~72.63m: 傾斜60°程度の割れ目が集中して発達する。 73.01~73.38m: 傾斜55~70°の平行な割れ目が発達する。一部に幅3mm以下の石英脈を挟在する。 73.50m: 幅10mmの石英脈を挟む。 73.50~74.61m: 高角度及び中角度の割れ目が発達する。一部に幅2mm程度の石英脈、褐色粘土を挟在する。 75.21~76.72m: 低角度の割れ目が優勢となる。 76.83~77.51m: 高角度の割れ目が優勢となる。	CM' D' CL' CM' CL' CM' CH			0	10	20	30	40	50			6/4	119		ダブルコアチューブ /ダイヤモンドビット	28.4	180					
							Dg IVg cg Eg Vg cg															19.8	120									
							Dg IVg															19.4		0.5	清水							
							Dg IVg CG IIIg Bg I g II g III g															28.4		150								
																						38.2		180								

H27-Br-9

柱状図(60.00m~80.00m)



1-368(分類c)①
 審査資料作成の際に模様を見直したため。

ボーリング柱状図

調査名

事業・工事名

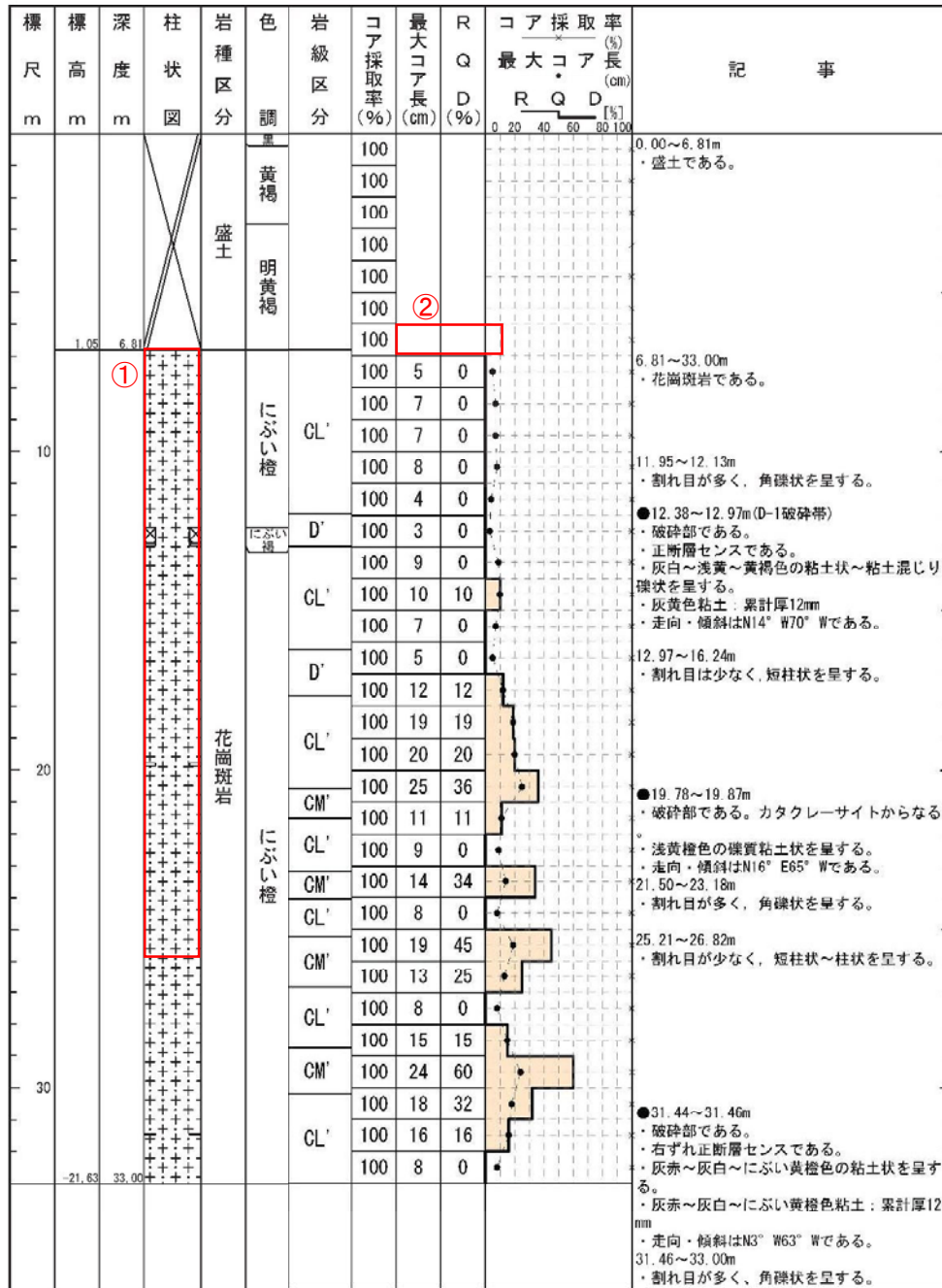
ボーリングNo.										1
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

ボーリング名	D1-2			調査位置				北 緯				
発注機関					調査期間				東 経			
調査業者名					主任技師				現 場 人		ボーリング責任者	
孔口標高	6.95 m	角	180° 上 90° 下 0°	方 向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	水平 0°	使用機種	試験機	ハンマー 落下用具		
総掘削長	33.00 m	度	30.0°						エンジン	ポンプ		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目形状	風化	変質	記 事	岩 級 区 分	コア採取率 → (%) 最大コア長 ← cm R Q D ↳ [%]	孔内水位 (N 値) 測定月日	(標準貫入) 試験					原位置試験 (孔内水深確認)	室内試験	掘進速度 (cm/時)	掘進月日	孔径 (mm)	コアチューニング ノズル/ビット	給 圧 (kN・MPa)	回 転 数 (rpm)	送 水 圧 (MPa)	排 水 量 (L/分)														
															(N値~深度) 図																												
		1.05		盛土	黒						0.00~6.81m: 盛土 0.00~0.31m: 砕石 岩種は細粒砂岩、泥岩、最大径30mm。 0.31~2.84m: 砂礫 礫は径2~10mmの細礫主体で、径60mmまでの角礫を含む。礫種は花崗斑岩、アフライト主体でまれに黒色の頁岩を含む。基質は細砂主体で不均質。細粒分はごく少量で細かい。 2.84~6.81m: シルト質砂礫 礫は最大160mmまでの花崗斑岩礫主体で、アフライト礫もみられる。シルト分を含み、上位層に比べてやや締まりが良い。 3.30~3.45m: 泥岩礫が混じる。 4.35m: 木片あり。20×50mm。		▽ 3.31 ▽ 3.39		3/16	115 / ケーシング	ダブルコアチューニング / ダイヤモンドビット	3.0	150	0.1	泥水3	3																					
		6.81		盛土	黄褐						6.81~10.58m: 花崗斑岩 (Gp) 6.81~10.58m: 傾斜40~60°と微細な割れ目主体。斜交する40~60°の割れ目も分布する。割れ目沿いの砂状化や、粘土の挟みみられる。 8.56m割れ目周縁幅2~3mmが淡緑色化し、微細な雲母が混出する。 11.53~11.95m: 土砂~岩片状。 11.95~12.13m: 割れ目沿いに幅1mmの軟弱な灰白色粘土脈が分布。 12.13~12.38m: 一部を除き、風化で割れ目は消滅する。		▽ 8.37 ▽ 8.38		3/18	115 / ケーシング	ダブルコアチューニング / ダイヤモンドビット	3.0	150	0.1	泥水3	3																					
		10		花崗斑岩	明黄褐						●12.38~12.97m: 破碎帯 (D-1) 12.38~12.80m: 粘土混り礫状破碎部 (Hj)。上端60°で幅1~3mmの白色粘土を伴い、下端45°で両端とも直線的。岩組織は残存する。岩片間に幅0.5~1mmの粘土を挟む。 12.86~12.87m: 粘土状破碎部 (Hc-1)。下端45°で直線的。幅5mm。灰黄色。 12.87~12.91m: 礫質粘土状破碎部 (Hb)。下端45°で不明瞭。幅35mm。 12.91~12.97m: 粘土混り礫状破碎部 (Hj)。下端45°で不明瞭。幅40mm軟化した岩片間に幅0.5~1mmの粘土を伴う。 12.97~16.24m: 上位に比べ割れ目は少なく、岩片~短柱状を呈する。傾斜40~60°の割れ目が主体で、一部で割れ目沿いに砂状化する。 13.73~13.77m: 傾斜55~65°の割れ目が2~10mm間隔で散在分布し、全体に軟化する。 16.24~17.66m: 著しく軟化するが岩組織と割れ目は残存する。 17.66~19.78m: 傾斜30~60°の割れ目を主体とし、岩片~短柱状を呈する。 18.77m: 傾斜55°で幅2mmの灰黄色粘土を挟む。		▽ 11.95 ▽ 11.97		3/19	115 / ケーシング	ダブルコアチューニング / ダイヤモンドビット	3.0	150	0.1	泥水4	4																					
		20		花崗斑岩	灰黄						●19.78~19.87m: 破碎帯 礫質粘土状破碎部 (Hb)。上端53°、下端63°で両端とも直線的。幅10~50mmと膨縮する。 19.87~21.50m: 傾斜60°の割れ目が数cm間隔で分布。一部粘土挟在。 21.50~23.18m: 割れ目が多くなるが、岩片は硬質。一部粘土化する。 21.50m: 傾斜50°の割れ目に幅2~3mmの軟弱粘土を挟む。 23.18~24.04m: 硬質で割れ目が少なく、一部に白~灰黄色粘土挟在。 24.04~25.22m: やや軟化する。傾斜20~60°の割れ目主体。 24.80~24.82m: 傾斜60°、幅15mmで粘土化する。		▽ 19.97 ▽ 19.99 ▽ 20.01 ▽ 20.02 ▽ 20.03 ▽ 20.04 ▽ 20.05 ▽ 20.06 ▽ 20.07 ▽ 20.08 ▽ 20.09 ▽ 20.10 ▽ 20.11 ▽ 20.12 ▽ 20.13 ▽ 20.14 ▽ 20.15 ▽ 20.16 ▽ 20.17 ▽ 20.18 ▽ 20.19 ▽ 20.20 ▽ 20.21 ▽ 20.22 ▽ 20.23 ▽ 20.24 ▽ 20.25 ▽ 20.26 ▽ 20.27 ▽ 20.28 ▽ 20.29 ▽ 20.30 ▽ 20.31 ▽ 20.32 ▽ 20.33 ▽ 20.34 ▽ 20.35 ▽ 20.36 ▽ 20.37 ▽ 20.38 ▽ 20.39 ▽ 20.40 ▽ 20.41 ▽ 20.42 ▽ 20.43 ▽ 20.44 ▽ 20.45 ▽ 20.46 ▽ 20.47 ▽ 20.48 ▽ 20.49 ▽ 20.50 ▽ 20.51 ▽ 20.52 ▽ 20.53 ▽ 20.54 ▽ 20.55 ▽ 20.56 ▽ 20.57 ▽ 20.58 ▽ 20.59 ▽ 20.60 ▽ 20.61 ▽ 20.62 ▽ 20.63 ▽ 20.64 ▽ 20.65 ▽ 20.66 ▽ 20.67 ▽ 20.68 ▽ 20.69 ▽ 20.70 ▽ 20.71 ▽ 20.72 ▽ 20.73 ▽ 20.74 ▽ 20.75 ▽ 20.76 ▽ 20.77 ▽ 20.78 ▽ 20.79 ▽ 20.80 ▽ 20.81 ▽ 20.82 ▽ 20.83 ▽ 20.84 ▽ 20.85 ▽ 20.86 ▽ 20.87 ▽ 20.88 ▽ 20.89 ▽ 20.90 ▽ 20.91 ▽ 20.92 ▽ 20.93 ▽ 20.94 ▽ 20.95 ▽ 20.96 ▽ 20.97 ▽ 20.98 ▽ 20.99 ▽ 21.00 ▽ 21.01 ▽ 21.02 ▽ 21.03 ▽ 21.04 ▽ 21.05 ▽ 21.06 ▽ 21.07 ▽ 21.08 ▽ 21.09 ▽ 21.10 ▽ 21.11 ▽ 21.12 ▽ 21.13 ▽ 21.14 ▽ 21.15 ▽ 21.16 ▽ 21.17 ▽ 21.18 ▽ 21.19 ▽ 21.20 ▽ 21.21 ▽ 21.22 ▽ 21.23 ▽ 21.24 ▽ 21.25 ▽ 21.26 ▽ 21.27 ▽ 21.28 ▽ 21.29 ▽ 21.30 ▽ 21.31 ▽ 21.32 ▽ 21.33 ▽ 21.34 ▽ 21.35 ▽ 21.36 ▽ 21.37 ▽ 21.38 ▽ 21.39 ▽ 21.40 ▽ 21.41 ▽ 21.42 ▽ 21.43 ▽ 21.44 ▽ 21.45 ▽ 21.46 ▽ 21.47 ▽ 21.48 ▽ 21.49 ▽ 21.50 ▽ 21.51 ▽ 21.52 ▽ 21.53 ▽ 21.54 ▽ 21.55 ▽ 21.56 ▽ 21.57 ▽ 21.58 ▽ 21.59 ▽ 21.60 ▽ 21.61 ▽ 21.62 ▽ 21.63 ▽ 21.64 ▽ 21.65 ▽ 21.66 ▽ 21.67 ▽ 21.68 ▽ 21.69 ▽ 21.70 ▽ 21.71 ▽ 21.72 ▽ 21.73 ▽ 21.74 ▽ 21.75 ▽ 21.76 ▽ 21.77 ▽ 21.78 ▽ 21.79 ▽ 21.80 ▽ 21.81 ▽ 21.82 ▽ 21.83 ▽ 21.84 ▽ 21.85 ▽ 21.86 ▽ 21.87 ▽ 21.88 ▽ 21.89 ▽ 21.90 ▽ 21.91 ▽ 21.92 ▽ 21.93 ▽ 21.94 ▽ 21.95 ▽ 21.96 ▽ 21.97 ▽ 21.98 ▽ 21.99 ▽ 22.00 ▽ 22.01 ▽ 22.02 ▽ 22.03 ▽ 22.04 ▽ 22.05 ▽ 22.06 ▽ 22.07 ▽ 22.08 ▽ 22.09 ▽ 22.10 ▽ 22.11 ▽ 22.12 ▽ 22.13 ▽ 22.14 ▽ 22.15 ▽ 22.16 ▽ 22.17 ▽ 22.18 ▽ 22.19 ▽ 22.20 ▽ 22.21 ▽ 22.22 ▽ 22.23 ▽ 22.24 ▽ 22.25 ▽ 22.26 ▽ 22.27 ▽ 22.28 ▽ 22.29 ▽ 22.30 ▽ 22.31 ▽ 22.32 ▽ 22.33 ▽ 22.34 ▽ 22.35 ▽ 22.36 ▽ 22.37 ▽ 22.38 ▽ 22.39 ▽ 22.40 ▽ 22.41 ▽ 22.42 ▽ 22.43 ▽ 22.44 ▽ 22.45 ▽ 22.46 ▽ 22.47 ▽ 22.48 ▽ 22.49 ▽ 22.50 ▽ 22.51 ▽ 22.52 ▽ 22.53 ▽ 22.54 ▽ 22.55 ▽ 22.56 ▽ 22.57 ▽ 22.58 ▽ 22.59 ▽ 22.60 ▽ 22.61 ▽ 22.62 ▽ 22.63 ▽ 22.64 ▽ 22.65 ▽ 22.66 ▽ 22.67 ▽ 22.68 ▽ 22.69 ▽ 22.70 ▽ 22.71 ▽ 22.72 ▽ 22.73 ▽ 22.74 ▽ 22.75 ▽ 22.76 ▽ 22.77 ▽ 22.78 ▽ 22.79 ▽ 22.80 ▽ 22.81 ▽ 22.82 ▽ 22.83 ▽ 22.84 ▽ 22.85 ▽ 22.86 ▽ 22.87 ▽ 22.88 ▽ 22.89 ▽ 22.90 ▽ 22.91 ▽ 22.92 ▽ 22.93 ▽ 22.94 ▽ 22.95 ▽ 22.96 ▽ 22.97 ▽ 22.98 ▽ 22.99 ▽ 23.00 ▽ 23.01 ▽ 23.02 ▽ 23.03 ▽ 23.04 ▽ 23.05 ▽ 23.06 ▽ 23.07 ▽ 23.08 ▽ 23.09 ▽ 23.10 ▽ 23.11 ▽ 23.12 ▽ 23.13 ▽ 23.14 ▽ 23.15 ▽ 23.16 ▽ 23.17 ▽ 23.18 ▽ 23.19 ▽ 23.20 ▽ 23.21 ▽ 23.22 ▽ 23.23 ▽ 23.24 ▽ 23.25 ▽ 23.26 ▽ 23.27 ▽ 23.28 ▽ 23.29 ▽ 23.30 ▽ 23.31 ▽ 23.32 ▽ 23.33 ▽ 23.34 ▽ 23.35 ▽ 23.36 ▽ 23.37 ▽ 23.38 ▽ 23.39 ▽ 23.40 ▽ 23.41 ▽ 23.42 ▽ 23.43 ▽ 23.44 ▽ 23.45 ▽ 23.46 ▽ 23.47 ▽ 23.48 ▽ 23.49 ▽ 23.50 ▽ 23.51 ▽ 23.52 ▽ 23.53 ▽ 23.54 ▽ 23.55 ▽ 23.56 ▽ 23.57 ▽ 23.58 ▽ 23.59 ▽ 23.60 ▽ 23.61 ▽ 23.62 ▽ 23.63 ▽ 23.64 ▽ 23.65 ▽ 23.66 ▽ 23.67 ▽ 23.68 ▽ 23.69 ▽ 23.70 ▽ 23.71 ▽ 23.72 ▽ 23.73 ▽ 23.74 ▽ 23.75 ▽ 23.76 ▽ 23.77 ▽ 23.78 ▽ 23.79 ▽ 23.80 ▽ 23.81 ▽ 23.82 ▽ 23.83 ▽ 23.84 ▽ 23.85 ▽ 23.86 ▽ 23.87 ▽ 23.88 ▽ 23.89 ▽ 23.90 ▽ 23.91 ▽ 23.92 ▽ 23.93 ▽ 23.94 ▽ 23.95 ▽ 23.96 ▽ 23.97 ▽ 23.98 ▽ 23.99 ▽ 24.00 ▽ 24.01 ▽ 24.02 ▽ 24.03 ▽ 24.04 ▽ 24.05 ▽ 24.06 ▽ 24.07 ▽ 24.08 ▽ 24.09 ▽ 24.10 ▽ 24.11 ▽ 24.12 ▽ 24.13 ▽ 24.14 ▽ 24.15 ▽ 24.16 ▽ 24.17 ▽ 24.18 ▽ 24.19 ▽ 24.20 ▽ 24.21 ▽ 24.22 ▽ 24.23 ▽ 24.24 ▽ 24.25 ▽ 24.26 ▽ 24.27 ▽ 24.28 ▽ 24.29 ▽ 24.30 ▽ 24.31 ▽ 24.32 ▽ 24.33 ▽ 24.34 ▽ 24.35 ▽ 24.36 ▽ 24.37 ▽ 24.38 ▽ 24.39 ▽ 24.40 ▽ 24.41 ▽ 24.42 ▽ 24.43 ▽ 24.44 ▽ 24.45 ▽ 24.46 ▽ 24.47 ▽ 24.48 ▽ 24.49 ▽ 24.50 ▽ 24.51 ▽ 24.52 ▽ 24.53 ▽ 24.54 ▽ 24.55 ▽ 24.56 ▽ 24.57 ▽ 24.58 ▽ 24.59 ▽ 24.60 ▽ 24.61 ▽ 24.62 ▽ 24.63 ▽ 24.64 ▽ 24.65 ▽ 24.66 ▽ 24.67 ▽ 24.68 ▽ 24.69 ▽ 24.70 ▽ 24.71 ▽ 24.72 ▽ 24.73 ▽ 24.74 ▽ 24.75 ▽ 24.76 ▽ 24.77 ▽ 24.78 ▽ 24.79 ▽ 24.80 ▽ 24.81 ▽ 24.82 ▽ 24.83 ▽ 24.84 ▽ 24.85 ▽ 24.86 ▽ 24.87 ▽ 24.88 ▽ 24.89 ▽ 24.90 ▽ 24.91 ▽ 24.92 ▽ 24.93 ▽ 24.94 ▽ 24.95 ▽ 24.96 ▽ 24.97 ▽ 24.98 ▽ 24.99 ▽ 25.00		3/20	86	ダブルコアチューニング / ダイヤモンドビット	3.0	150	0.1	泥水5	5																					
				花崗斑岩	灰黄						●19.78~19.87m: 破碎帯 礫質粘土状破碎部 (Hb)。上端53°、下端63°で両端とも直線的。幅10~50mmと膨縮する。 19.87~21.50m: 傾斜60°の割れ目が数cm間隔で分布。一部粘土挟在。 21.50~23.18m: 割れ目が多くなるが、岩片は硬質。一部粘土化する。 21.50m: 傾斜50°の割れ目に幅2~3mmの軟弱粘土を挟む。 23.18~24.04m: 硬質で割れ目が少なく、一部に白~灰黄色粘土挟在。 24.04~25.22m: やや軟化する。傾斜20~60°の割れ目主体。 24.80~24.82m: 傾斜60°、幅15mmで粘土化する。		▽ 25.49 ▽ 25.50		3/21	85	ダブルコアチューニング / ダイヤモンドビット	3.0	150	0.1	泥水6	6																					
				花崗斑岩	灰黄						●19.78~19.87m: 破碎帯 礫質粘土状破碎部 (Hb)。上端53°、下端63°で両端とも直線的。幅10~50mmと膨縮する。 19.87~21.50m: 傾斜60°の割れ目が数cm間隔で分布。一部粘土挟在。 21.50~23.18m: 割れ目が多くなるが、岩片は硬質。一部粘土化する。 21.50m: 傾斜50°の割れ目に幅2~3mmの軟弱粘土を挟む。 23.18~24.04m: 硬質で割れ目が少なく、一部に白~灰黄色粘土挟在。 24.04~25.22m: やや軟化する。傾斜20~60°の割れ目主体。 24.80~24.82m: 傾斜60°、幅15mmで粘土化する。		▽ 25.49 ▽ 25.50		3/22	80	ダブルコアチューニング / ダイヤモンドビット	3.0	150	0.1	泥水6	6																					
				花崗斑岩	灰黄						●19.78~19.87m: 破碎帯 礫質粘土状破碎部 (Hb)。上端53°、下端63°で両端とも直線的。幅10~50mmと膨縮する。 19.87~21.50m: 傾斜60°の割れ目が数cm間隔で分布。一部粘土挟在。 21.50~23.18m: 割れ目が多くなるが、岩片は硬質。一部粘土化する。 21.50m: 傾斜50°の割れ目に幅2~3mmの軟弱粘土を挟む。 23.18~24.04m: 硬質で割れ目が少なく、一部に白~灰黄色粘土挟在。 24.04~25.22m: やや軟化する。傾斜20~60°の割れ目主体。 24.80~24.82m: 傾斜60°、幅15mmで粘土化する。		▽ 25.49 ▽ 25.50		3/22	95	ダブルコアチューニング / ダイヤモンドビット	3.0	150	0.1	泥水6	6																					

H24-D1-2

孔口標高	T.P.	6.95m	掘削長	33.00m
------	------	-------	-----	--------



- 2-1 (分類c) ①
申請書作成の際に模様を見直したため。
- 2-2, 2-3 (分類c) ②
基盤上限の1m未満の区間を省いたため。

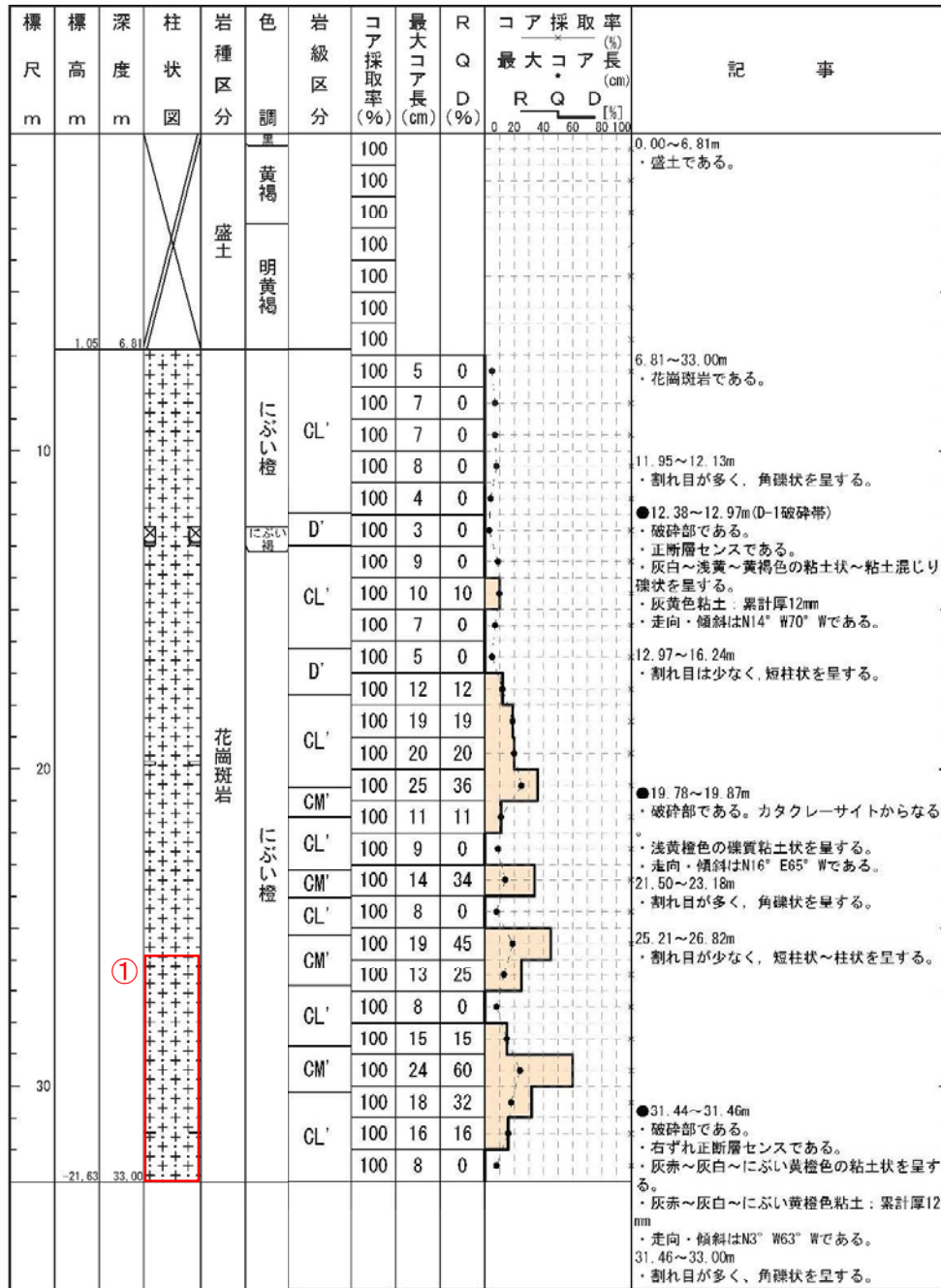
6-7-4-1015

第7.4.4.168図 D-1 破砕帯 ボーリング調査結果 (2号炉原子炉建屋付近) コア柱状図 (H24-D1-2孔)

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	記号	コア採取率 → (%) 最大コア長 cm R Q D └ [%]	岩級区分	孔内水位 / 測定月日	(標準貫入) 試験		原位置試験 (孔内水平載荷)	室内試験	掘進月日	掘進速度 (cm / 時)	孔径 (mm) / 孔壁保護	コアチップ / ビット	給圧 (kN · MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	送水量 (L / 分)	排水量 (L / 分)				
														(N 値 ~ 深度) 図	(N 値)															
30	-21.63	33.00		花崗斑岩														3/22	95	86	ダブルコアチップ / ダイヤモンドビット	3.0	150	0.1	泥水6	6				
									2	26.67m : 傾斜55°の割れ目に幅1mmの白色粘土を挟む。 27.30~27.32m : 上下端60°の割れ目に沿って軟質となる。 28.42~28.46m : 上端65°, 下端55°の割れ目に沿って細片化する。下端部が淡緑化し雲母が風出。 30.20~31.44m : 互いに交差する傾斜30~60°の割れ目が分布し、短柱状コアが主体となる。岩片は硬質。 30.68~30.75m : 上下端60°の割れ目間で、割れ目に白色粘土が挟在。 ●31.44~31.46m : 破砕帯 粘土状破砕部 (Hc-1)。上下端35°で直線的。幅10~12mm。径1~2mmの石英を含む。 31.46~33.00m : 傾斜30~60°の割れ目。微細な割れ目が1~3cm間隔で分布し、岩片状を呈する。割れ目の一部には白~赤灰色の粘土を伴う。	CM' CL' CM' CL'										3/23	145			ダブルコアチップ / ダイヤモンドビット	2.5	150	0.1	泥水5	5

H24-D1-2

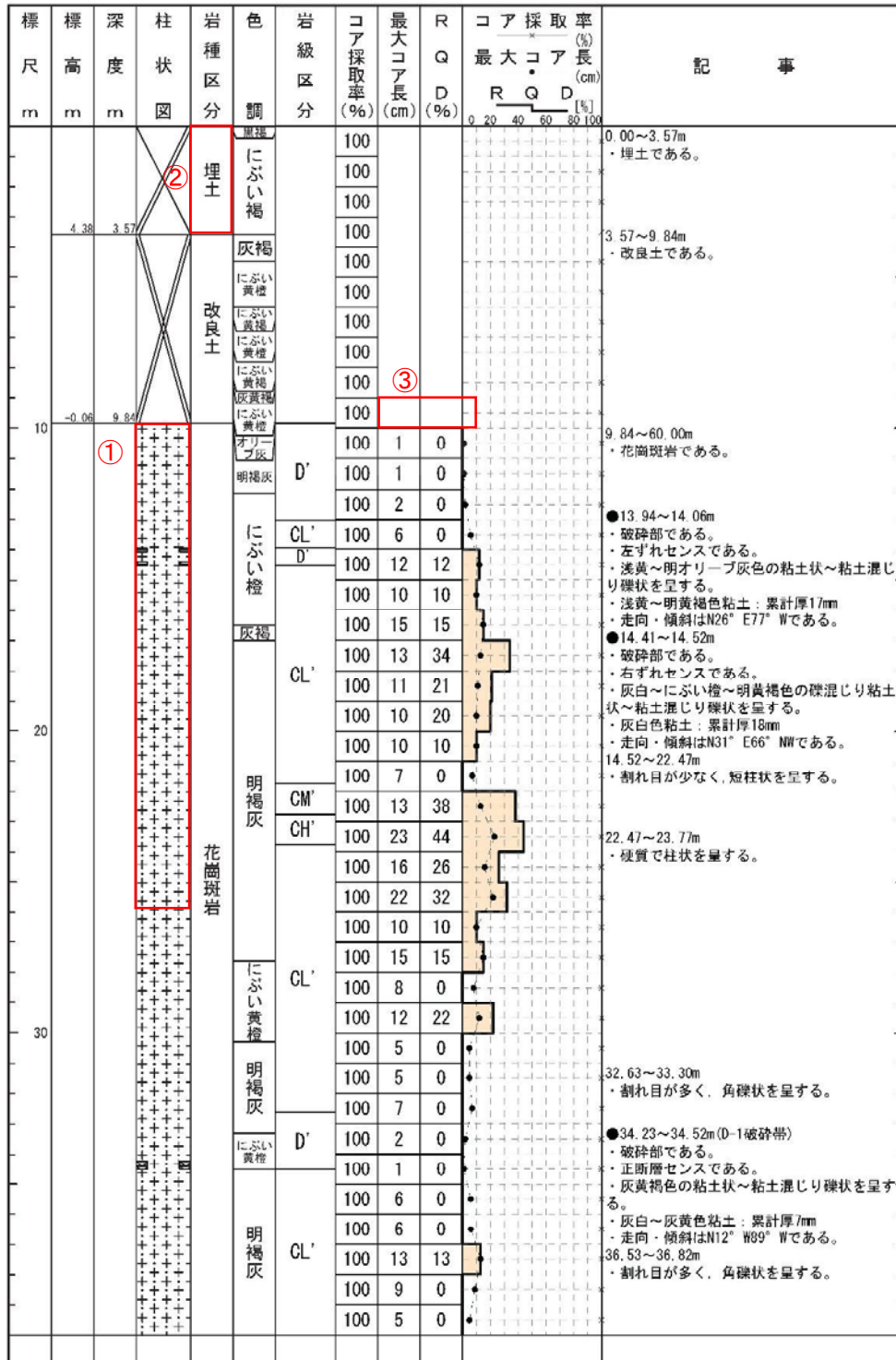
孔口標高	T.P.	6.95m	掘削長	33.00m
------	------	-------	-----	--------



2-1(分類c)①
申請書作成の際に模様を見直したため。

H24-D1-3

孔口標高	T.P.	6.90m	掘削長	60.00m
------	------	-------	-----	--------



- 2-4(分類c)①
申請書作成の際に模様を見直したため。
- 2-5(分類c)②
表現を統一したため。
- 2-6, 2-7(分類c)③
基盤上限の1m未満の区間を省いたため。

第7.4.4.169図 (1) D-1 破砕帯 ボーリング調査結果 (2号炉原子炉建屋付近) コア柱状図 (H24-D1-3孔)

6-7-4-1016

H24-D1-3

孔口標高	T.P.	6.90m	掘削長	60.00m
------	------	-------	-----	--------

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状 図	岩種 区分	色調	岩級 区分	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	コア採取率 (%)			記事
										R	Q	D	
		4.38		埋土	にぶい褐	100							0.00~3.57m ・埋土である。
		3.57				100							
				改良土	灰褐	100							3.57~9.84m ・改良土である。
					にぶい黄褐色	100							
					にぶい黄褐色	100							
					にぶい黄褐色	100							
					にぶい黄褐色	100							
					にぶい黄褐色	100							
10		-0.06		花崗斑岩	明褐色	D'	100	1	0				9.84~60.00m ・花崗斑岩である。
		9.84			明褐色	D'	100	1	0				
					にぶい橙	CL'	100	6	0				●13.94~14.06m ・破砕部である。 ・左ずれセンスである。 ・浅黄~明オリーブ灰色の粘土状~粘土混じり礫状を呈する。 ・浅黄~明黄褐色粘土：累計厚17mm ・走向・傾斜はN26° E77° Wである。
					にぶい橙	D'	100	12	12				
					にぶい橙	D'	100	10	10				●14.41~14.52m ・破砕部である。 ・右ずれセンスである。 ・灰白~にぶい橙~明黄褐色の礫混じり粘土状~粘土混じり礫状を呈する。 ・灰白色粘土：累計厚18mm ・走向・傾斜はN31° E66° NWである。
					明褐色	CL'	100	13	34				
					明褐色	CL'	100	11	21				14.52~22.47m ・割れ目が少なく、短柱状を呈する。
					明褐色	CL'	100	10	20				
					明褐色	CM'	100	7	0				22.47~23.77m ・硬質で柱状を呈する。
					明褐色	CH'	100	13	38				
				にぶい黄褐色	CL'	100	23	44				●32.63~33.30m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。	
				にぶい黄褐色		100	16	26					
				にぶい黄褐色		100	22	32					
				にぶい黄褐色		100	10	10					
				明褐色	D'	100	15	15				●34.23~34.52m(D-1破砕帯) ・破砕部である。 ・正断層センスである。 ・灰黄褐色の粘土状~粘土混じり礫状を呈する。	
				明褐色		100	8	0					
				にぶい黄褐色	明褐色	100	12	22				●36.53~36.82m ・割れ目が多く、角礫状を呈する。	
				明褐色		100	5	0					
				明褐色		100	5	0					
				明褐色		100	7	0					
				明褐色		100	2	0					
				にぶい黄褐色	CL'	100	6	0					
				明褐色		100	1	0					
				明褐色		100	6	0					
				明褐色		100	6	0					
				明褐色		100	13	13					
				明褐色	100	9	0						
				明褐色	100	5	0						

2-4(分類c)①
申請書作成の際に模様を見直したため。

6-7-4-1016

